

第2学年

シラバス

2026

Syllabus

日本歯科大学新潟生命歯学部

# 基本理念

本学は、高等の教育機関として、広く知識を授けると共に、深く歯・顎・口腔の医学を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させることを目的とし、もって人類の文化の発展と福祉に寄与し、国民の健康な生活に貢献することを使命とする（学則第1条）。

# 教育の目標

- 1) 幅広い教養と倫理観を持った医療人を育成する。
- 2) 問題を発見し解決する能力を持った医療人を育成する。
- 3) コミュニケーション能力のすぐれた医療人を育成する。
- 4) 歯科医学の最新の知識を生涯学び続ける能力を持った医療人を育成する。
- 5) 科学的根拠に立脚した医療を実践できる医療人を育成する。
- 6) 専門に偏らない幅広い知識と技能を有する医療人を育成する。
- 7) 高齢者の介護福祉など地域医療に貢献できる医療人を育成する。
- 8) 口腔疾患を全身的関連で把握することのできる医療人を育成する。
- 9) 健康増進と疾病の予防に貢献できる医療人を育成する。
- 10) 世界をリードする国際性を有する医療人を育成する。

## ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

修業年限以上在籍し，所定の単位数を修得するとともに，以下の能力を身につけた者に学士の学位を授与する。

- 生命体との関連性に幅広い知識を有し，必要に応じて応用できる能力
- 幅広い教養と倫理観を持つプロフェッショナリズムを備えた医療人として行動できる能力
- 根拠に立脚した歯科医学知識を生涯学び続け，患者の問題を発見し解決する能力
- 高いコミュニケーション能力を身につけ，患者および医療系多職種と良好な連携が構築できる能力
- 専門に偏らない幅広い知識を身につけ，その基本的技能を実践する能力
- 超高齢社会に対応した地域包括ケアを実践できる能力
- 医療人として国際社会において幅広く活動できる能力
- 生涯にわたり自らの能力向上のため研鑽する能力

## カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

建学の精神である「自主独立」のもと，ディプロマポリシー（学位授与方針）に掲げる人材を育成するために，以下の通りカリキュラムを編成している。

- ディプロマ・ポリシー達成のため，シラバスに全授業科目の到達目標，学習方略，評価方法を明記し，学習計画を提示します。
- 歯科医学と生命体との関連性を念頭においた一貫教育を実施します。
- 初期教育として歯科医学生に必要な自然科学，人文・社会科学，語学教育，情報科学教育を行うとともに，医療人の基礎となるコミュニケーション能力，倫理観，プロフェッショナリズムに関する教育を実施します。
- 医療英語コミュニケーション学習や姉妹校への短期留学により，医療従事者としての国際感覚を醸成します。
- PBLチュートリアルにより，論理的思考に基づく問題解決能力，科学的探究心を養成します。
- 歯学教育モデル・コア・カリキュラムを基本とした基礎医学，臨床歯科医学に関する教育を実施するとともに，臨床能力の習得をめざし基礎と臨床を統合した教育を実施します。

- 診療参加型臨床実習の準備教育として、臨床実習前に臨床歯科学の講義による知識の習得のみならず、臨床基礎実習（シミュレーション実習）による技能・態度の習得を目指した教育，ならびに医療スタッフの一員として参加するために必要な社会歯科学の教育を実施します。
- 学生が医療スタッフとして参加し，その一員として診療業務を分担しながら，歯科医師としての知識・思考法・技能・態度の基本的な内容を学ぶため診療参加型臨床実習を実施します。
- 超高齢者社会のニーズに対応できる歯科医師を目指して，訪問歯科診療の臨床実習を実施します。
- 全身管理および他職種連携を常に念頭においた臨床実習を実施します。
- 教育課程の進級審査において，シラバスに目標として掲げられた能力を適正に評価します。

# シラバス

1. シラバスとは  
履修する上での必要な要件を詳細に示した授業計画をいう。
  
2. シラバスの役割
  - 1) 授業科目についての詳細な内容と計画が示されている。
  - 2) 学生の教室外における予習復習の指針となる。
  - 3) 試験に際しては、試験範囲等勉強の指針となる。
  - 4) 学生に履修科目選択のための情報を提供する。
  
3. シラバスの構成
  - 1) 一般目標 (GIO)  
学習により期待される成果を示す。
  - 2) 行動目標 (SBOs)  
学習者の到達すべき行動目標を示す。
  - 3) 学習方略  
目標に到達するために必要な学習方法を示す。
  - 4) 評価方法  
目標まで達成されたかどうかを判定するための評価方法を示す。
  - 5) 授業内容  
授業によって学生が何を学習できるかを示す。
  - 6) 準備学習  
受講における予習・復習の具体的な内容を示す。
  - 7) オフィスアワー  
質問や相談に応じるために設定した曜日・時間・場所等を示す。

## 授業科目一覧表

No.	科 目	前 期	後 期
1	医学概論・歯科医学史		※ ※ ※
2	臨床心理学	※ ※ ※	
3	原子核と放射線	※ ※ ※	
4	物質の構造と反応	※ ※ ※	
5	生命の連続性と遺伝子	※ ※ ※	
6	実用医学英語Ⅱ	※ ※ ※	
7	英語会話	※ ※ ※	※ ※ ※
8	社会歯科入門		※ ※ ※
9	基礎口腔保健学		※ ※ ※
10	生 化 学	※ ※ ※	
11	口腔生化学		※ ※ ※
12	解剖学	※ ※ ※	※ ※ ※
13	解剖学実習		※ ※ ※
14	口腔解剖学	※ ※ ※	
15	口腔解剖学実習	※ ※ ※	
16	発生生物学	※ ※ ※	
17	組 織 学	※ ※ ※	
18	口腔組織学		※ ※ ※
19	生 理 学	※ ※ ※	※ ※ ※
20	感染微生物学	※ ※ ※	※ ※ ※
21	病 理 学		※ ※ ※
22	薬物療法学	※ ※ ※	
23	歯科薬物療法学		※ ※ ※
24	歯科理工学	※ ※ ※	※ ※ ※
25	歯科理工学実習		※ ※ ※
26	専門歯科治療概論		※ ※ ※
27	医療統計学		※ ※ ※
28	生体機能調節学	※ ※ ※	
29	顎口腔運動制御学		※ ※ ※
30	唾液と唾液腺		※ ※ ※
31	健康科学Ⅱ		※ ※ ※
32	基礎医学演習	※ ※ ※	※ ※ ※
科 目 総 数		18 ※	19 ※

※「医学概論・歯科医学史」は編入生のみに実施

## 新潟生命歯学部 授業科目等

授業科目	単位数	計	授業科目	単位数	計
医学概論・歯科医学史	1.50	1.50	解剖学	3.00	9.75
早期臨床実習Ⅰ・Ⅱ	1.00	1.00	解剖学実習	2.00	
臨床から振り返る基礎学	1.50	1.50	口腔解剖学	1.50	
初年次セミナー	1.50	1.50	口腔解剖学実習	1.00	
プロフェッション	2.00	2.00	発生理学	0.75	
社会学	1.50	1.50	人類学	1.50	
自由科目	経済学	1.50	組織学	1.50	4.00
	ドイツの生活と情報		1.50	口腔組織学	
青年心理学	1.50	2.25	組織・口腔組織学実習	1.00	4.00
臨床心理学	0.75		生理学	3.00	
原子核と放射線	1.50	4.50	生理学実習	1.00	5.50
物質の構造と反応	1.50		感染微生物学	3.00	
生命の連続性と遺伝子	1.50		生体防御学	1.50	
熱と物質の物理	3.00	3.00	感染微生物学・生体防御学実習	1.00	4.00
基礎科学補講Ⅰ(物理)	0.00		病理学	1.50	
基礎科学演習(物理)	0.00	3.00	口腔病理学	1.50	4.00
生体物質の化学	3.00		病理診断学実習	1.00	
基礎科学補講Ⅱ(化学)	0.00		薬物療法学	1.50	
基礎科学演習(化学)	0.00	3.00	歯科薬物療法学	1.50	4.00
細胞の生物学	3.00		歯科薬物療法学実習	1.00	
基礎科学補講Ⅱ(生物)	0.00	3.00	歯科薬剤学	1.50	1.50
基礎科学演習(生物)	0.00		歯科理工学	4.50	5.50
自然現象の数学	3.00	3.00	歯科理工学実習	1.00	
環境学の基礎	1.50	1.50	歯科放射線学	3.00	3.00
歯学入門実習	2.00	2.00	歯科麻酔と救急処置	3.00	3.00
国語表現法	3.00	3.00	口腔顎顔面外科手術学	1.50	3.10
総合英語	1.50	5.25	口腔外科学・全身管理学実習	1.60	
実用医学英語Ⅰ	1.50		保存修復学	3.00	4.60
実用医学英語Ⅱ	0.75		保存修復学実習	1.60	
英語会話	1.50	1.50	歯内療法学	3.00	4.60
基礎独語	1.50	1.50	歯内療法学実習	1.60	
情報科学の実習	1.00	1.00	歯周疾患治療学	3.00	4.00
医療倫理	0.75	0.75	歯周疾患治療学実習	1.00	
医療法学	1.50	1.50	有床義歯学Ⅰ	1.50	3.00
社会歯科入門	0.75	0.75	有床義歯学Ⅱ	1.50	
歯科医療コミュニケーション実習	0.80	0.80	有床義歯学実習	3.20	3.20
ファンダメンタルスキル実習Ⅰ・Ⅱ	0.75	0.75	歯科矯正学	3.00	4.00
健康科学Ⅰ	1.50	1.50	歯科矯正学実習	1.00	
健康科学Ⅱ	0.75	0.75	小児歯科学	3.00	4.00
歯科法医学	0.75	0.75	小児歯科学実習	1.00	
医療情報・医療管理学	0.75	0.75	歯冠補綴架工義歯学	3.00	6.20
基礎口腔保健学	1.50	3.50	歯冠補綴架工義歯学実習	3.20	
地域口腔保健学	1.50		口腔顎顔面外科学	4.50	6.00
口腔保健学実習	0.50		口腔顎顔面外科診断治療学	1.50	
生化学	1.50	3.50	高齢者歯科学	1.50	1.50
口腔生化学	1.50		障害者歯科学	0.75	0.75
分子生命科学実習	0.50		歯科心身医学	0.75	0.75

授 業 料 目	単位数	計
専門歯科治療概論	1.50	1.50
医 療 統 計 学	0.75	0.75
生 体 機 能 調 節 学	1.50	1.50
地域包括ケア学Ⅰ	1.50	1.50
地域包括ケア学Ⅱ	1.50	1.50
地域包括ケア学実習	0.80	0.80
材 料 科 学	1.50	1.50
顎口腔運動制御学	0.75	0.75
唾 液 と 唾 液 腺	0.75	0.75
臨床診査・検査学	1.50	1.50
口 腔 腫 瘍 学	1.50	1.50
歯 性 感 染 症	0.75	0.75
顎咬合診断・口腔インプラント学	1.50	2.30
口腔インプラント学実習	0.80	
歯科医学入門演習	2.00	4.00
歯科症候学演習	2.00	
歯科医のための内科学	3.00	3.00
外 科 学	1.50	1.50
耳 鼻 咽 喉 科 学	1.50	1.50
臨床（病院）実習	15.00	15.00
基礎医学演習	1.00	1.00
総合基礎医学演習	1.00	1.00
総合歯科医学演習	1.00	1.00
臨床歯学探究	1.00	1.00
総合科目①②③	6.00	6.00
包括歯科医学	2.00	2.00
合 計		202.35



## 第2学年 授業科目 目次

### － 前 期 －

臨床心理学	12
原子核と放射線	14
物質の構造と反応	16
生命の連続性と遺伝子	18
実用医学英語Ⅱ	20
英語会話	22
生化学	24
解剖学	26
口腔解剖学	28
口腔解剖学実習	30
発生学	32
組織学	34
生理学	36
感染微生物学	38
薬物療法学	40
歯科理工学	42
生体機能調節学	44
基礎医学演習	46

### － 後 期 －

英語会話	52
社会歯科入門	54
基礎口腔保健学	56
口腔生化学	58
解剖学	60
解剖学実習	62
口腔組織学	66
生理学	68
感染微生物学	70
病理学	72
歯科薬物療法学	76
歯科理工学	78
歯科理工学実習	82
専門歯科治療概論	84
医療統計学	86
顎口腔運動制御学	88
唾液と唾液腺	90
健康科学Ⅱ	92
基礎医学演習	94



## 第2学年 前期授業科目 目次

臨床心理学	12
原子核と放射線	14
物質の構造と反応	16
生命の連続性と遺伝子	18
実用医学英語Ⅱ	20
英語会話	22
生化学	24
解剖学	26
口腔解剖学	28
口腔解剖学実習	30
発生学	32
組織学	34
生理学	36
感染微生物学	38
薬物療法学	40
歯科理工学	42
生体機能調節学	44
基礎医学演習	46

# 臨床心理学

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
成田 恭代	2	前期	火曜日	14:40～16:00	512 番教室

## 科目の到達目標 (GIO)

医療人として患者のありように寄り添う力を養うため、および、学生自身が豊かな対人関係の中で心身ともに健康な人生を送るために、臨床心理学の基礎的な考え方や心に関する知識を習得する。

	著者・编者	書名	版	出版社
教科書	馬場禮子	臨床心理学概説	改訂版	放送大学教育振興会
参考書				

## 学習方略 (重複可)

- 講義     示説     グループ討議 (PBL, TBL を含む)     実習  
 その他 (                      )

## 成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (50%)     論述試験 (20%)     口頭試験 (   %)     レポート (10%)  
 実地試験 (   %)     ポートフォリオ (   %)     シミュレーションテスト (   %)  
 観察記録 (   %)     態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (20%)

## 成績評価方法

授業内で取り扱った内容に関する期末試験 (多肢選択式 (50%) と論述式 (20%) の組み合わせにて実施) と、授業に対する意欲感・出欠状況・参加度 (20%), および小レポート (10%) により評価を行う。

## オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

非常勤のため、教務部に問い合わせる。

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
4月14日	成田 恭代	臨床心理学とは こころの病気の基礎知識	臨床心理学の歴史と現在の心理臨床に関する状況を把握し、代表的な精神疾患について理解する。
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書第1～3章を読み、要点を把握する。	
4月21日	成田 恭代	こころの構造と働き	精神分析理論を軸にこころの仕組みと働きを理解する。
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書第4章を読み、要点を把握する。	
5月12日	成田 恭代	臨床心理の見立て	心理臨床におけるアセスメントについて理解する。(インテーク面接および心理査定について)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書第5～7章を読み、要点を把握する。	
5月19日	成田 恭代	心理療法	心理臨床における基本的な治療態度と姿勢について学ぶ。
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書第8・9章を読み、要点を把握する。	
5月26日	成田 恭代	ダイバーシティ ～発達障害を題材として	発達障害 (ASD・ADHD・LD) を題材として、人のこころの多様性について考えを深める。
	準備学習と時間	準備学習: 30分 ダイバーシティや発達障害に関するニュースを調べ、自分の考えをノートにまとめる。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
6 月 2 日	成田 恭代	こころの健康とストレス	こころの健康の仕組みについて学び、ストレスとの付き合い方について考えを深める。
	準備学習と時間	準備学習：30分 自分がストレスを感じる事や、自分なりのストレス対処についてノートに書きだす。	
6 月 9 日	成田 恭代	人間の心の発達と課題	ライフサイクルの視点で人生の各段階における課題を知り、自分自身についての考えを深める。
	準備学習と時間	準備学習：30分 自分の幼少期～これまでを振り返り、各発達段階において考えた事や困った事やをノートに書きだす。	

# 原子核と放射線

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
小野 裕明	2	前期	金曜日	14:40 ~ 16:00	512 番教室

## 科目の到達目標 (GIO)

歯科医療に必要な放射線診断や先進医療機器の原理と放射線の人体への影響を理解するために必要な、原子核の構造や放射線の発生過程など物理学的な知識を習得する。

	著者・编者	書名	版	出版社
教科書	村田浩 他著	医歯系の物理学	2	東京教学社
参考書	西臺武弘	放射線医学物理学	3	文光堂

## 学習方略 (重複可)

- 講義     示説     グループ討議 (PBL, TBL を含む)     実習  
 その他 (問題演習)

## 成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (90%)     論述試験 ( %)     口頭試験 ( %)     レポート ( %)
- 実地試験 ( %)     ポートフォリオ ( %)     シミュレーションテスト ( %)
- 観察記録 ( %)     態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (10%)

## 成績評価方法

筆記試験 (90%) と、毎回の演習問題を含めた授業に対する関心・意欲・態度 (10%) により評価を行う。

## オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日: 火曜日 時間帯: 12:00 ~ 12:45 場所: 物理学研究室 (2号館3階)  
メールアドレスは初回授業で提示する。

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
4月10日	小野 裕明	電磁気現象と電磁波	1) 電場と磁場の関係を説明する。 2) 電子加速と制御の原理を説明する。(D-2-5-5) 3) 電磁波と放射線の関係を説明する。 4) 電磁気学の医学への応用を説明する。
			準備学習と時間 準備学習: 15分 1年生で学習した電磁気学の講義資料やノートを確認する。
4月17日	小野 裕明	原子構造と同位体	1) 原子構造を説明する。(A-1-1-1) 2) 放射性同位体について説明する。(A-1-1-1) 3) 元素記号表と原子構造の関係を説明する。(A-1-1-1) 4) 電子の特徴を説明する。
			準備学習と時間 準備学習: 15分 教科書 p273, 282-283 を確認し, 演習問題を解く。
4月24日	小野 裕明	光電効果と光量子仮説	1) 光の粒子性を説明する。 2) 光電効果を説明する。(D-2-5-5) 3) 光子のエネルギーを記述する。 4) コンプトン散乱を説明する。(D-2-5-5)
			準備学習と時間 準備学習: 15分 教科書 p255-259 を確認し, 演習問題を解く。
5月8日	小野 裕明	電子軌道と原子スペクトル	1) 原子の電子軌道の特徴を説明する。(A-1-1-1) 2) 電子軌道の量子化について説明する。 3) 原子スペクトルと電子軌道の関係を説明する。 4) ボーア半径を計算する。
			準備学習と時間 準備学習: 15分 教科書 p260-263 を確認し, 演習問題を解く。

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
5月15日	小野 裕明	電子の波動性	1) 電子の波動性を説明する。 2) 電子のド・ブROI波長を計算する。 3) 電子顕微鏡の原理を説明する。
	準備学習と時間	準備学習: 15分 教科書 p266-267 を確認し、演習問題を解く。	
5月22日	小野 裕明	原子核の構造と核反応	1) 原子核の構造を説明する。(A-1-1-1) 2) 原子核の結合エネルギーと核反応の関係を説明する。 3) 核分裂で放出されるエネルギーを計算する。 4) 核融合反応を説明する。
	準備学習と時間	準備学習: 15分 教科書 p273-278 を確認し、演習問題を解く。	
5月29日	小野 裕明	磁気モーメントと核磁気共鳴	1) 原子・電子・原子核の磁気モーメントを分類する。(D-2-5-9) 2) 電子スピン共鳴現象を説明する。 3) 磁気共鳴現象を説明する。(D-2-5-9) 4) MRI の原理を説明する。(D-2-5-9)
	準備学習と時間	準備学習: 15分 教科書 p278-281 を確認し、演習問題を解く。	
6月5日	小野 裕明	X線の発生原理	1) X線の発生機構を説明する。(D-2-5-4, 5, 9) 2) X線管の原理を説明する。(D-2-5-4, 5) 3) 固有X線と制動X線の違いを説明する。(D-2-5-4, 5) 4) X線スペクトルを説明する。(D-2-5-4, 5)
	準備学習と時間	準備学習: 15分 教科書 p286-289 を確認し、演習問題を解く。	
6月19日	小野 裕明	X線と物質との相互作用	1) X線と物質との相互作用を記述する。(D-2-5-4, 5) 2) 電子対生成を説明する。(D-2-5-4, 5) 3) X線の減衰と放射線防護の関係を説明する。(D-2-5-4, 5)
	準備学習と時間	準備学習: 15分 教科書 p289-292 を確認し、演習問題を解く。	
6月26日	小野 裕明	放射線量と単位	1) 放射線の種類を分類する。(D-2-5-1) 2) 放射線の線量を説明する。(D-2-5-1, 2) 3) 半減期を使って線量を計算する。(D-2-5-1) 4) 放射能や放射線量の単位を説明する。(D-2-5-1, 2)
	準備学習と時間	準備学習: 15分 教科書 p296-303 を確認し、演習問題を解く。	
7月3日	小野 裕明	放射線・核エネルギーの応用利用と核安全保障	1) 放射線の生活・産業への応用利用を説明する。 2) 原子力発電の原理について説明する。 3) 核安全保障について説明する。(D-2-5-2, 3)
	準備学習と時間	準備学習: 15分 原子核と核反応の講義内容を再度確認し、演習問題を解く。	
7月10日	小野 裕明	放射線の医学応用 1	1) 放射線の人体への影響と防護について説明する。(D-2-5-2, 3) 2) X線画像診断装置の原理を説明する。(D-2-5-4, 5) 3) 歯科用X線画像診断装置の原理を説明する。(D-2-5-4, 5, 9) 4) CT と MRI の違いを説明する。(D-2-5-9)
	準備学習と時間	準備学習: 15分 X線の発生原理, NMRの原理を再度確認し、演習問題を解く。	
7月17日	小野 裕明	放射線の医学応用 2	1) 核医学検査の手法を分類する。(D-2-5-9) 2) PET と SPECT の違いを説明する。(D-2-5-9) 3) 粒子線を使ったガン治療について説明する。 4) 高度な放射線治療機器について理解する。(D-2-5-9)
	準備学習と時間	準備学習: 15分 X線の発生原理, NMRの原理を再度確認し、演習問題を解く。	
7月24日	小野 裕明	問題演習	1) 演習問題を解く。
	準備学習と時間	準備学習: 15分 演習問題を解く。	

# 物質の構造と反応

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
種村 潔	2	前期	木曜日	13:00～14:20	512 番教室

## 科目の到達目標 (GIO)

歯科医学を学ぶ上で必要な有機化学の基礎を身につけるために、有機化合物の構造と反応について理解を深める。

	著者・編者	書名	版	出版社
教科書	山口良平・山本行男 田村 類 著	ベーシック有機化学	第2版	化学同人
参考書				

## 学習方略 (重複可)

- 講義     示説     グループ討議 (PBL, TBL を含む)     実習  
 その他 (問題演習)

## 成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (40%)     論述試験 (40%)     口頭試験 ( %)     レポート ( %)
- 実地試験 ( %)     ポートフォリオ ( %)     シミュレーションテスト ( %)
- 観察記録 ( %)     態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (20%)

## 成績評価方法

多肢選択・穴埋め形式による筆記試験 (40%), 論述形式による筆記試験 (40%), 授業参加状況と授業態度を含む平常点 (20%) により評価を行う。

## オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日: 月曜日 時間帯: 16:00～17:00 場所: 化学研究室 (2号館3階) 事前にメールで予約のこと。  
 メールでの質問等は随時受け付ける。【ga-kagaku(at)ngt.ndu.ac.jp】

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
4月9日	種村 潔	生体構成物質 (1) 単糖類	1) 単糖類の命名法を説明する。(A-1-1-2, A-1-2-2) 2) 単糖類の構造と性質を説明する。(A-1-1-2, A-1-2-2)
		準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p197-200 を読み, 要点を確認する。
4月16日	種村 潔	生体構成物質 (2) 二糖類・多糖類	1) 二糖類の命名法・構造・性質を説明する。(A-1-1-2, A-1-2-2) 2) 多糖類の命名法・構造・性質を説明する。(A-1-1-2, A-1-2-2)
		準備学習と時間	準備学習: 20分 教科書 p200-202 を読み, 要点を確認する。
4月23日	種村 潔	生体構成物質 (3) アミノ酸	1) アミノ酸の命名法・構造・性質を説明する。(A-1-1-2, A-1-2-1) 2) アミノ酸の反応を説明する。(A-1-1-2, A-1-2-1)
		準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p211-214 を読み, 要点を確認する。
5月7日	種村 潔	生体構成物質 (4) タンパク質	1) タンパク質の性質を説明する。(A-1-1-2, A-1-2-1) 2) ペプチド結合を説明する。(A-1-1-2, A-1-2-1) 3) タンパク質の高次構造を説明する。(A-1-1-2, A-1-2-1)
		準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p214-215 を読み, 要点を確認する。
5月20日 (水) 3限	種村 潔 5月14日(木) 3限と入替	生体構成物質 (5) 脂質	1) 脂質の構造と性質を説明する。(A-1-1-2, A-1-2-3)
		準備学習と時間	準備学習: 20分 教科書 p203-204 を読み, 要点を確認する。

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
5月21日	種村 潔	アルデヒド・ケトン (1)	1) アルデヒド・ケトンの命名法を説明する。(A-1-1-2)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p135-145 を読み, 要点を確認する。	
5月28日	種村 潔	アルデヒド・ケトン (2)	1) アルデヒド・ケトンの構造, 性質, 反応を説明する。(A-1-1-2)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p169-174 を読み, 要点を確認する。	
6月11日	種村 潔	カルボン酸とその誘導体 (1)	1) カルボン酸の命名法を説明する。(A-1-1-2) 2) カルボン酸の性質と反応を説明する。(A-1-1-2)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p149-154 を読み, 要点を確認する。	
6月18日	種村 潔	カルボン酸とその誘導体 (2)	1) 酸塩化物・エステル・酸無水物・酸アミドの命名法を説明する。(A-1-1-2) 2) 酸塩化物・エステル・酸無水物・酸アミドの反応を説明する。(A-1-1-2)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p155-165 を読み, 要点を確認する。	
6月25日	種村 潔	アミン	1) アミンの命名法を説明する。(A-1-1-2) 2) アミンの構造, 性質, 反応を説明する。(A-1-1-2)
	準備学習と時間	準備学習: 20分 教科書 p183-194 を読み, 要点を確認する。	
7月2日	種村 潔	芳香族化合物の反応 (1)	1) 芳香族化合物の命名法を説明する。(A-1-1-2) 2) 芳香族求電子置換反応を説明する。(A-1-1-2)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p85-89 を読み, 要点を確認する。	
7月9日	種村 潔	芳香族化合物の反応 (2)	1) 芳香族求核置換反応を説明する。(A-1-1-2)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p89-94 を読み, 要点を確認する。	
7月16日	種村 潔	フェノール・キノン (1)	1) フェノールの命名法を説明する。(A-1-1-2) 2) フェノールの反応を説明する。(A-1-1-2)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p115-119 を読み, 要点を確認する。	
7月23日	種村 潔	フェノール・キノン (2) 複素環化合物	1) キノンの命名法と反応を説明する。(A-1-1-2) 2) 重合禁止剤を説明する。(A-1-1-2, B-1-2) 3) 核酸を構成する塩基の種類を説明する。(A-1-1-2, A-1-3-2) 4) 複素環化合物の命名法と反応を説明する。(A-1-1-2)
	準備学習と時間	準備学習: 20分 教科書 p120, 124, 85, 202-203 を読み, 要点を確認する。	

# 生命の連続性と遺伝子

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
岡 俊哉	2	前期	月曜日	13:00 ~ 14:20	512 番教室

## 科目の到達目標 (GIO)

広い生物学的視野に立って歯学の基礎系分野を学ぶために、生命の連続性と遺伝子に関する知識を修得する。

	著者・編者	書名	版	出版社
教科書	和田 勝	基礎から学ぶ生物学・細胞生物学	4	羊土社
参考書	中村圭子・松原謙一 監訳	細胞の分子生物学	6	ニュートンプレス

## 学習方略 (重複可)

- 講義     示説     グループ討議 (PBL, TBL を含む)     実習  
 その他 (課題等)

## 成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (100%)     論述試験 ( %)     口頭試験 ( %)     レポート ( %)
- 実地試験 ( %)     ポートフォリオ ( %)     シミュレーションテスト ( %)
- 観察記録 ( %)     態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (最大 30%)

## 成績評価方法

一般目標で示した項目について多選択肢形式の試験で評価する。講義ノート提出, 課題提出, 毎回の講義の際のポストテスト, 授業に対する関心・意欲・態度を含めて最大 30%まで加味する。

## オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

メールでの質問は随時。対面での質問は月, 水, 金曜日 17時から18時を基本とするが, 事前にメールでの問い合わせを推奨する。

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
4月13日	岡 俊哉	細胞の一生	1) 細胞の一生と細胞死について述べる。A-1-4-5 2) 分化, 脱分化について説明する。A-1-4-4 3) 分化能について説明する。A-1-4-4 4) 生殖の概念と類型について説明する。A-2-1-1
	準備学習と時間	準備学習: 15分 行動目標を念頭に教科書 p256-264 に目を通しておく。	
4月20日	岡 俊哉	細胞分裂の類型と細胞周期	1) 体細胞と生殖細胞を説明する。A-1-4-4 2) 体細胞と生殖細胞の核相について述べる。A-1-4-4 3) 細胞分裂の類型を説明し, 各類型の特徴を列挙する。A-1-4-4 4) 細胞周期の概念を述べ, 各時期の特徴を説明する。A-1-4-4
	準備学習と時間	準備学習: 15分 行動目標を念頭に教科書 p175-189 を通読する。	
5月11日	岡 俊哉	分裂装置と分裂のメカニズム	1) 体細胞分裂の過程を説明する。A-1-4-4 2) 分裂装置とその構成要素を図示し, 説明する。A-1-4-1 3) 後期における分裂メカニズムを説明する。A-1-4-4 4) 終期における分裂メカニズムを説明する。A-1-4-4
	準備学習と時間	準備学習: 15分 行動目標を念頭に教科書 p170, 175-177 を通読する。	
5月14日 (木) 3限 時間 変更	岡 俊哉 5月20日3限 (月曜授業) と入替	DNAの半保存的複製	1) DNAの分子構造の特徴を述べる。A-1-3-2 2) DNA複製に関する3つの理論的可能性を列挙する。A-1-3-3 3) DNA複製に関する実験法を理解する。A-1-3-3 4) 実験結果から半保存的複製が正しいことを説明する。A-1-3-3
	準備学習と時間	準備学習: 15分 行動目標を念頭に教科書 p169-174 を通読する。	
5月18日	岡 俊哉	DNAの複製機構	1) 原核生物におけるDNA複製の特徴を列挙する。A-1-3-3 2) in vitroにおけるDNA複製の要件を述べる。A-1-3-3 3) 非対称的DNA複製を図解する。A-1-3-3 4) DNA複製に関わる諸因子を説明する。A-1-3-3
	準備学習と時間	準備学習: 15分 行動目標を念頭に教科書 p169-174 を通読する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
5月25日	岡 俊哉	DNAの損傷と修復	1) DNAの分子的損傷誘因を列挙する。A-5-1-1 2) 代表的な因子と分子損傷を列挙・説明する。A-5-1-1 3) 損傷修復のしくみを列挙・説明する。A-5-1-1
	準備学習と時間	準備学習：15分 行動目標を念頭に教科書 p178-185 を通読する。	
6月4日 (木) 月曜 授業	岡 俊哉	DNAの損傷とがん	1) DNAの損傷を列挙する。A-5-1-1 2) DNAの損傷とがん化要因を列挙する。A-5-6-1
	準備学習と時間	準備学習：15分 行動目標を念頭に教科書 p270-273 を通読する。	
6月8日	岡 俊哉	老化 講義前半のまとめ	1) 老化と遺伝子の関連を列挙する。A-2-3-2 2) 老化と遺伝子の関連を説明する。A-2-3-2 3) 学習した内容を概観し、要点を再確認する。
	準備学習と時間	準備学習：15分 行動目標を念頭に教科書 p264-266 を通読する。	
6月15日	岡 俊哉	減数分裂の特徴と遺伝的意義	1) 減数分裂の構成、特徴を説明する。A-1-4-4 2) 減数分裂の遺伝的意義を説明する。A-2-1-1 3) 生活史と減数分裂の関係について述べる。A-2-1-1 4) 減数分裂前期の特徴を説明する。A-2-1-1
	準備学習と時間	準備学習：15分 行動目標を念頭に教科書 p186-190 を通読する。	
6月22日	岡 俊哉	生殖細胞の特徴と受精	1) 生殖子の概念を説明する。A-2-1-1 2) 精子と卵の細胞学的特徴を説明する。A-2-1-1 3) 精子形成と卵子形成の過程を説明する。A-2-1-1 4) 受精の生物学的意義を述べ、受精の機構を説明する。A-2-1-1
	準備学習	準備学習：15分 行動目標を念頭に教科書 p190-196 を通読する。	
6月29日	岡 俊哉	遺伝の法則と染色体	1) 遺伝に関する基礎用語を整理し、その意味を確認する。A-1-3-1 2) メンデルの法則を減数分裂や受精と関連付けて述べる。A-1-3-1 3) 連鎖を減数分裂や受精と関連付けて述べる。A-1-3-1 4) 遺伝子組み換えの概念を述べる。A-1-3-1
	準備学習と時間	準備学習：15分 行動目標を念頭に教科書 p33-39 を通読する。	
7月6日	岡 俊哉	染色体型と核型	1) 染色体の一般的構造、染色体型を説明する。A-1-3-2 2) テロメアを説明する。A-1-3-2 3) ヒトを例にとり、核型、性染色体、常染色体を説明する。A-1-3-2 4) 分染法と分染された染色体の特徴を列挙する。A-1-3-5
	準備学習と時間	準備学習：15分 行動目標を念頭に教科書 p66-68, 260-261 を通読する。	
7月13日	岡 俊哉	染色体異常とその成因	1) 構造異常の類型を列挙し説明する。A-1-3-4 2) 構造異常の成因を説明する。A-1-3-4 3) 数的異常の類型を示し説明する。A-1-3-4 4) 数的異常の成因を説明する。A-1-3-4
	準備学習と時間	準備学習：15分 行動目標を念頭に教科書 p178-183 など関連事項を予習する。	
7月27日	岡 俊哉	ヒトの染色体異常と疾患	1) ヒトの染色体構造異常を例示し、疾患と共に説明する。A-1-3-4 2) 性染色質の特徴を説明する。A-1-3-2 3) X染色体不活性化を説明する。A-1-3-2
	準備学習と時間	準備学習：15分 行動目標を念頭に前回講義内容を復習する。	

# 実用医学英語Ⅱ

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
影山 幾男	2	前期	木曜日	10:40 ~ 12:00	512 番教室

## 科目の到達目標 (GIO)

国際社会で活躍する歯科医師となるために、実用的に必要な医学英語を習得する。

著者・編者	書名	版	出版社
影山幾男・羽村 章	歯科学学生のための医学英語	第2版	学建書院
教科書			
参考書			

## 学習方略 (重複可)

- 講義     示説     グループ討議 (PBL, TBL を含む)     実習  
 その他 (                      )

## 成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (80%)     論述試験 (15%)                       口頭試験 (   %)     レポート (   %)  
 実地試験 (   %)     ポートフォリオ (   %)     シミュレーションテスト (   %)  
 観察記録 (   %)     態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (5%)

## 成績評価方法

一般目標で示した項目についての多肢選択形式筆記試験 (80%) と論述試験 (15%) により評価を行う。授業態度 (5%) も評価する。

## オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

非常勤講師の為、教務部に相談する事。

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
4月9日	影山 幾男	Dental Terminology	1) 基本的な医学英語の単語を説明する。 2) 基本的な医学英語の文章を理解する。 3) 基本的な医学英語の文章を記述する。
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p1-14 を読み、要点を確認する。	
4月16日	影山 幾男	Toothache	1) 基本的な医学英語の単語を説明する。 2) 基本的な医学英語の文章を理解する。 3) 基本的な医学英語の文章を記述する。
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p15-24 を読み、要点を確認する。	
4月23日	影山 幾男	Severe Dental Anxiety	1) 基本的な医学英語の単語を説明する。 2) 基本的な医学英語の文章を理解する。 3) 基本的な医学英語の文章を記述する。
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p25-34 を読み、要点を確認する。	
5月7日	影山 幾男	Oral Hygiene	1) 基本的な医学英語の単語を説明する。 2) 基本的な医学英語の文章を理解する。 3) 基本的な医学英語の文章を記述する。
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p35-42 を読み、要点を確認する。	
5月14日	影山 幾男	Periodontal Disease	1) 基本的な医学英語の単語を説明する。 2) 基本的な医学英語の文章を理解する。 3) 基本的な医学英語の文章を記述する。
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p43-50 を読み、要点を確認する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
5月21日	影山 幾男	Dental Implants	1) 基本的な医学英語の単語を説明する。 2) 基本的な医学英語の文章を理解する。 3) 基本的な医学英語の文章を記述する。
	準備学習と時間	準備学習：30分 教科書 p51-58 を読み、要点を確認する。	
5月28日	影山 幾男	Cleft Lip	1) 基本的な医学英語の単語を説明する。 2) 基本的な医学英語の文章を理解する。 3) 基本的な医学英語の文章を記述する。
	準備学習と時間	準備学習：30分 教科書 p59-68 を読み、要点を確認する。	
6月11日	影山 幾男	Leukoplakia	1) 基本的な医学英語の単語を説明する。 2) 基本的な医学英語の文章を理解する。 3) 基本的な医学英語の文章を記述する。
	準備学習と時間	準備学習：30分 教科書 p69-76 を読み、要点を確認する。	
6月18日	影山 幾男	Herpes Simplex	1) 基本的な医学英語の単語を説明する。 2) 基本的な医学英語の文章を理解する。 3) 基本的な医学英語の文章を記述する。
	準備学習と時間	準備学習：30分 教科書 p77-86 を読み、要点を確認する。	
6月25日	影山 幾男	The Temporomandibular Joint	1) 基本的な医学英語の単語を説明する。 2) 基本的な医学英語の文章を理解する。 3) 基本的な医学英語の文章を記述する。
	準備学習と時間	準備学習：30分 教科書 p87-96 を読み、要点を確認する。	
7月2日	影山 幾男	Dental Topic 1	1) 難しい医学英語の単語を説明する。 2) 難しい医学英語の単語を説明する。 3) 難しい医学英語の単語を説明する。
	準備学習と時間	準備学習：30分 配布資料 p1-15 を読み、要点を確認する。	
7月9日	影山 幾男	Dental Topic 2	1) 難しい医学英語の単語を説明する。 2) 難しい医学英語の単語を説明する。 3) 難しい医学英語の単語を説明する。
	準備学習と時間	準備学習：30分 配布資料 p16-30 を読み、要点を確認する。	
7月16日	影山 幾男	Dental Topic 3	1) 難しい医学英語の単語を説明する。 2) 難しい医学英語の単語を説明する。 3) 難しい医学英語の単語を説明する。
	準備学習と時間	準備学習：30分 配布資料 p31-45 を読み、要点を確認する。	
7月23日	影山 幾男	Test Preparation	試験対策 Test Preparation
	準備学習と時間	準備学習：30分 今までの総まとめ	

# 英語会話

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
ティモシー・フィニー	2	前期	金曜日	13:00 ~ 14:20	512 番教室

## 科目の到達目標 (GIO)

To continue using speaking, listening and reading skills in order to communicate with friends, strangers and patients. 患者, 友人, 初対面の人と英語でコミュニケーションするために, スピーキング, リスニング, リーディング能力の向上をめざす。

著者・编者	書名	版	出版社
教科書			
参考書			

## 学習方略 (重複可)

- 講義     示説     グループ討議 (PBL, TBL を含む)     実習  
 その他 (                      )

## 成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (40%)     論述試験 (   %)     口頭試験 (20%)     レポート (20%)  
 実地試験 (   %)     ポートフォリオ (   %)     シミュレーションテスト (   %)  
 観察記録 (   %)     態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (20%)

## 成績評価方法

学期に2回筆記試験を行う。筆記試験は多肢選択形式, 空所補充等の形式で実施する。学期の最後にグループで, 対話の台本を作成し, パワーポイントのスライドとともにパフォーマンステストを行う。

## オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

非常勤のため教務部に問い合わせる。

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
4月10日	Timothy Finney	Practicing greetings and personal information through role-play and other activities.	英語でコミュニケーションする。
	準備学習と時間	準備学習: 15分 ・自己紹介の内容を考える。	
4月17日	Timothy Finney	Practicing small talk. Group work.	英語でコミュニケーションする。
	準備学習と時間	準備学習: 30分 ・先週の内容を復習し, 問題に答えられるようにする。	
4月24日	Timothy Finney	Discussing personal interests.	英語でコミュニケーションする。
	準備学習と時間	準備学習: 30分 ・事前に Web で示される問題に関して準備する。	
5月8日	Timothy Finney	Listening practice. Speaking practice.	英語でコミュニケーションする。
	準備学習と時間	準備学習: 30分 ・事前に Web で示される問題に関して準備する。	
5月15日	Timothy Finney	Reading and discussion of newspaper article.	1) 英語で新聞記事を読み, 討議する。
	準備学習と時間	準備学習: 30分 ・事前に Web で示される問題に関して準備する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
5月22日	Timothy Finney	Newspaper activities continued plus test.	1) 英語で新聞記事を読み, 討議する。
	準備学習と時間	準備学習: 30分 ・先週の内容を復習し, 問題に答えられるようにする。	
5月29日	Timothy Finney	Talking about Japanese culture and presentation preparation.	英語でコミュニケーションする。プレゼンの準備をはじめ。
	準備学習と時間	準備学習: 15分 パフォーマンステストの準備をする。	
6月5日	Timothy Finney	Presentation preparation.	1) 日本文化についての英語でプレゼンの準備をする。
	準備学習と時間	準備学習: 30分 パフォーマンステストのための英文作成とスライド作成をする。	
6月19日	Timothy Finney	Final Preparation of Japanese culture presentations. Check completed scripts.	1) 日本文化についての英語でプレゼンの準備をする。
	準備学習と時間	準備学習: 60分 パフォーマンステストのための英文作成とスライド作成をする。完成原稿を締め切りまでに講師に送る。	
6月26日	Timothy Finney	Group presentations	1) 日本文化について英語でプレゼンをする。
	準備学習と時間	準備学習: 30分 パフォーマンステストの準備。英文の暗記。	
7月3日	Timothy Finney	Group presentations continued.	1) 日本文化について英語でプレゼンをする。
	準備学習と時間	準備学習: 30分 パフォーマンステストの準備。英文の暗記。	
7月10日	Timothy Finney	Speaking activities	英語でコミュニケーションする。
	準備学習と時間	準備学習: 15分	
7月17日	Timothy Finney	Review of semester and test preparation	
	準備学習と時間	準備学習: 30分 筆記試験に向けて準備する。	
7月24日	Timothy Finney	Final test	
	準備学習と時間	準備学習: 30分 筆記試験に向けて準備する。	

# 生化学

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
竹澤 晴香	2	前期	木曜日	14:40～16:00	512 番教室

## 科目の到達目標 (GIO)

基礎医学を修得するため、生体を構成する物質のうち、タンパク質、糖質および脂質について化学的・物理的性質および代謝調節機序を知り、分子レベルで生命現象を理解する。

	著者・編者	書名	版	出版社
教科書	林 典夫・廣野治子 (監修)	シンプル生化学	改訂第7版	南江堂
参考書	池尾 隆・加藤靖正 他 前野正夫・磯川桂太郎 / 著	スタンダード 生化学・口腔生化学 はじめの一歩の生化学・分子生物学	第4版 第3版	学建書院 羊土社

## 学習方略 (重複可)

- 講義     示説     グループ討議 (PBL, TBL を含む)     実習  
 その他 (自己学習)

## 成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (75%)     論述試験 (15%)     口頭試験 ( %)     レポート (10%)  
 実地試験 ( %)     ポートフォリオ ( %)     シミュレーションテスト ( %)
- 観察記録 ( %)     態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) ( %)

## 成績評価方法

科目の到達目標 (GIO) で示した項目についての多選択肢形式 (75%) および記述式 (15%) 筆記試験と、毎回の講義内容の練習問題・課題提出 (10%) により評価を行う。

## オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日：木曜日 時間：16:30～18:00 (在室時) 場所：生化学研究室 (5号館3階)  
 ※事前にメール等で要予約【ga-seika(at)ngt.ndu.ac.jp】

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
4月9日	竹澤 晴香	生命現象と生体物質	真核細胞の全体像と細胞膜, 核, 細胞小器官及び細胞骨格の構造と機能を理解している。(A-1-4-1)
		準備学習と時間	準備学習: 30分 ダウンロードした講義資料と教科書 p1-18 を読み, 要点を確認する。
4月16日	竹澤 晴香	タンパク質 (1)	アミノ酸とタンパク質の構造, 機能及び代謝を理解している。(A-1-2-1)
		準備学習と時間	準備学習: 30分 ダウンロードした講義資料と教科書 p49-55 を読み, 要点を確認する。
4月23日	竹澤 晴香	タンパク質 (2)	アミノ酸とタンパク質の構造, 機能及び代謝を理解している。(A-1-2-1)
		準備学習と時間	準備学習: 30分 ダウンロードした講義資料と教科書 p55-63 を読み, 要点を確認する。
5月7日	竹澤 晴香	タンパク質 (3)	酵素の機能と調節, 主な代謝異常を理解している。(A-1-2-5)
		準備学習と時間	準備学習: 30分 ダウンロードした講義資料と教科書 p73-78 を読み, 要点を確認する。
5月14日	竹澤 晴香	タンパク質 (4)	酵素の機能と調節, 主な代謝異常を理解している。(A-1-2-5)
		準備学習と時間	準備学習: 30分 ダウンロードした講義資料と教科書 p78-88 を読み, 要点を確認する。

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
5月21日	竹澤 晴香	タンパク質 (5)	酵素の機能と調節, 主な代謝異常を理解している。(A-1-2-5) ビタミン, ミネラルの種類と作用を理解している。(A-1-2-6)
5月28日	森田 貴雄	核 酸	核酸の構造, 機能及び代謝を理解している。(A-1-3-2)
6月11日	竹澤 晴香	糖質 (1)	糖質の構造, 機能及び代謝を理解している。(A-1-2-2)
6月18日	竹澤 晴香	糖質 (2)	糖質の構造, 機能及び代謝を理解している。(A-1-2-2) 電子伝達系と酸化リン酸化を理解している。(A-1-2-4) 酸化ストレス (フリーラジカル, 活性酸素) の発生と作用を理解している。(A-1-2-7)
6月25日	竹澤 晴香	糖質 (3)	糖質の構造, 機能及び代謝を理解している。(A-1-2-2) 空腹時, 飢餓時, 食後, 過食時及び運動時における代謝を理解している。(A-1-2-9)
7月2日	今井あかね	脂質 (1)	脂質の構造, 機能及び代謝を理解している。(A-1-2-3)
7月9日	今井あかね	脂質 (2)	脂質の構造, 機能及び代謝を理解している。(A-1-2-3)
7月16日	今井あかね	代謝の相互作用	空腹時, 飢餓時, 食後, 過食時及び運動時における代謝を理解している。(A-1-2-9)
7月23日	今井あかね	栄養の化学 メタボリック症候群	栄養素の相互変換とエネルギー代謝 (エネルギーの定義, 食品中のエネルギー値, エネルギー消費量, 推定エネルギー必要量) を理解している。(A-1-2-8) ビタミン, ミネラルの種類と作用を理解している。(A-1-2-6)

# 解剖学

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
河上 淳一	2	前期	月曜日	9:00～10:20	512 番教室

## 科目の到達目標 (GIO)

歯科医師に必要な人体の形態と構造を理解するために、各器官系別に基本的な解剖学的知識を習得する。

	著者・編者	書名	版	出版社
教科書	前田健康, 天野 修, 他 編	口腔解剖学	第3版	医歯薬出版
参考書	平田幸男 訳	解剖学アトラス	原著第10版	文光堂

## 学習方略 (重複可)

- 講義     示説     グループ討議 (PBL, TBL を含む)     実習  
 その他 (                      )

## 成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (70%)     論述試験 (   %)     口頭試験 (   %)     レポート (   %)  
 実地試験 (   %)     ポートフォリオ (   %)     シミュレーションテスト (   %)  
 観察記録 (   %)     態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (30%)

## 成績評価方法

行動目標で示した項目についての定期試験 (70%) ならびに第1～14回の内容の復習小テスト (30%) (筆記) により評価を行う。なお、定期試験はマークシートを使用した多肢選択方式で実施する。

## オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日: 水曜日 時間: 16:30～18:00 場所: 解剖学第1講座 (河上 4号館3階301)  
事前の予約は必要なく、自由に来室可。

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
4月13日	河上 淳一	総論・身体の部位と方向用語 骨学 (1) 頭蓋骨の概要	1) 身体を構成する主要な骨を列挙する。(A-3-1-2-1) 2) 身体を構成する主要な骨の方向用語を正確に説明する。(A-3-1-2-1) 3) 骨の基本構造を説明する。(A-3-1-2-2) 4) 頭蓋骨の構成を説明する。(E-2-1)-①)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p1-6 を読み、要点を確認する。	
4月20日	河上 淳一	骨学 (3) 頭蓋骨の形態	1) 頭蓋骨の構成と構造を説明する。(A-3-2-2)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p106-136 を読み、要点を確認する。	
5月11日	河上 淳一	骨学 (5) 頭蓋骨の形態	1) 頭蓋骨の構成と構造を説明する。(A-3-2-2)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p106-136 を読み、要点を確認する。	
5月18日	河上 淳一	筋学 (1) 総論, 表情筋	1) 生体を構成する主要な筋を列挙する。(A-3-2-3)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p20-22, 140-149 を読み、要点を確認する。	
5月20日	河上 淳一	筋学 (3) 頸部の筋	1) 生体を構成する主要な筋を列挙する。(A-3-2-3)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p140-149 を読み、要点を確認する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
5月25日	河上 淳一	筋学 (5) 背部の筋	1) 骨格筋の構造と機能を説明する。(A-3-1-3-3) 2) 生体を構成する主な筋を列挙する。(A-3-1-3-3)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p22-33 を読み, 要点を確認する。	
6月4日	河上 淳一	筋学 (6) 上下肢の筋	1) 骨格筋の構造と機能を説明する。(A-3-1-3-3) 2) 生体を構成する主な筋を列挙する。(A-3-1-3-3)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p22-33 を読み, 要点を確認する。	
6月8日	河上 淳一	末梢神経 (1) 脳神経 (I, II, III, IV, VI)	1) 末梢神経系の種類, 走行及び支配領域を理解している。(A-3-1-5-1)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p178-193 を読み, 要点を確認する。	
6月15日	河上 淳一	末梢神経 (2) 脳神経 (V, VIII)	1) 末梢神経系の種類, 走行及び支配領域を理解している。(A-3-1-5-1)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p178-193 を読み, 要点を確認する。	
6月22日	河上 淳一	末梢神経 (4) 脳神経 (IX, X)	1) 末梢神経系の種類, 走行及び支配領域を理解している。(A-3-1-5-1)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p178-193 を読み, 要点を確認する。	
6月29日	河上 淳一	末梢神経 (6) 脊髄神経 (頸神経叢)	1) 体性神経系の構造と機能を理解している。(A-3-1-5-3) 2) 自律神経系 (交感神経系と副交感神経系) の構造と機能を理解している。(A-3-1-5-3)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p193-195 を読み, 要点を確認する。	
7月6日	鳥海 拓	中枢神経 (1)	1) 中枢神経系 (高次脳, 脳幹, 脊髄) の構造と機能を説明する。(A-3-1-5-4) 2) 脳室循環を説明する。(A-3-1-5-4)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p66-79 を読み, 要点を確認する。	
7月13日	鳥海 拓	中枢神経 (3)	1) 間脳の構造と機能を説明する。(A-3-1-5-4) 2) 中脳, 橋, 延髄の構造と機能を説明する。(A-3-1-5-4) 3) 小脳の構造と機能を説明する。(A-3-1-5-4)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p66-79 を読み, 要点を確認する。	
7月27日	鳥海 拓	感覚器 (2)	1) 視覚器の構造と機能を説明する。(A-3-1-6-1) 2) 平衡聴覚器の構造と機能を説明する。(A-3-1-6-1)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p199-204 を読み, 要点を確認する。	

# 口腔解剖学

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
鳥海 拓	2	前期	木曜日	9:00～10:20	512 番教室

## 科目の到達目標 (GIO)

患者ごとに適した歯科医療を提供するために、「口腔」という単位を常に意識しながら、歯の基本的な形態および機能的な特徴を修得すると共にバリエーションについても理解する。

	著者・編者	書名	版	出版社
教科書	近藤信太郎 他	歯の解剖学	第4版	わかば出版
参考書	井出吉信 監修 前田健康ら(編)	口腔顎顔面解剖ノート 口腔解剖学	第2版 第3版	学建書院 医歯薬出版

## 学習方略 (重複可)

- 講義     示説     グループ討議 (PBL, TBL を含む)     実習  
 その他 (講義時間中のワーク)

## 成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (70%)     論述試験 ( %)     口頭試験 ( %)     レポート (10%)  
 実地試験 ( %)     ポートフォリオ ( %)     シミュレーションテスト ( %)
- 観察記録 ( %)     態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (20%)

## 成績評価方法

行動目標で示した項目について、多選択肢形式の定期試験 (70%), 復習小テスト (※) (筆記) を含めた授業に対する関心・意欲・態度を総合的に判断した平常点 (20%), および講義時間中に作成した展開図の提出 (10%) で評価を行う。

※ 4月16日から7月9日の講義冒頭に実施する (鳥海講義担当のみ)。

範囲は前の回の講義内容である。例) 4月16日実施の復習小テストは4月9日の講義内容に関することを問う。

## オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日: 水曜日 時間: 16:30-17:30 場所: 解剖学第1講座教授室 (鳥海 4号館3階301)  
事前の予約は必要なく、自由に来室可。

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
4月9日	鳥海 拓	歯の解剖学総論	1) 歯とはなにか, 歯の外形・内景 (歯髓腔)・固定を説明する。(A-3-4-2, A-3-4-4) 2) 歯の種類・記号・歯式・方向用語を説明する。(A-3-4-2) 3) ミュールライターの三徴候を説明する。(A-3-4-2)
		※6月18日の講義までは毎回, 歯の模型 <ANA3001-UL-JCP-ALM28> を持参すること。	
準備学習と時間		準備学習: 30分 「歯の解剖学」第4版) p1-13, 37-40, 124-125 を読み, 要点を確認する。	
4月16日	鳥海 拓	前歯 (切歯と犬歯) の形態	1) 切歯における共通の特徴を説明する。(A-3-4-2) 2) 上・下顎切歯の形態を説明する。(A-3-4-2) 3) 犬歯における共通の特徴を説明する。(A-3-4-2) 4) 上・下顎犬歯の形態を説明する。(A-3-4-2)
		準備学習と時間	準備学習: 30分 「歯の解剖学」 p41-49 を読み, 要点を確認する。
4月23日	鳥海 拓	歯の計測法と展開図 (1)	1) 歯軸を理解し, ノギスを用いて歯を計測する。(A-3-4-2) 2) 上顎右側中切歯で展開図の描き方を説明する。(A-3-4-2)
		※歯の模型とともに購入したノギスを持参すること。	
準備学習と時間		準備学習: 30分 「歯の解剖学」 p41-43, 137-138 を読み, 歯の計測方法と展開図の書き方を確認する。	
5月7日	鳥海 拓	小白歯の形態	1) 小白歯における共通の特徴を説明する。(A-3-4-2) 2) 上顎小白歯の形態を説明する。(A-3-4-2) 3) 下顎小白歯の形態を説明する。(A-3-4-2)
		準備学習と時間	準備学習: 30分 「歯の解剖学」 p49-55 を読み, 要点を確認する。

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
5月14日	鳥海 拓	歯の計測法と展開図 (2)  ※歯の模型とともに購入したノギスを持参すること。  展開図提出	1) 歯軸を理解し、ノギスを用いて歯を計測する。(A-3-4-2) 2) 上顎右側第一小臼歯の展開図を描く。(A-3-4-2)
		準備学習と時間	準備学習：30分 「歯の解剖学」 p51-52, 137-138 を読み、歯の計測方法と展開図の書き方を確認する。
5月21日	鳥海 拓	大臼歯の形態	1) 上顎大臼歯における共通の特徴を説明する。(A-3-4-2) 2) 上顎第一・第二大臼歯の形態を説明する。(A-3-4-2) 3) 下顎大臼歯における共通の特徴を説明する。(A-3-4-2)
		準備学習と時間	準備学習：30分 「歯の解剖学」 p55-63 を読み、要点を確認する。
5月28日	鳥海 拓	歯の計測法と展開図 (3)  ※歯の模型とともに購入したノギスを持参すること。  展開図提出	1) 歯軸を理解し、ノギスを用いて歯を計測する。(A-3-4-2) 2) 上顎右側第一大臼歯の展開図を描く。(A-3-4-2)
		準備学習と時間	準備学習：30分 「歯の解剖学」 p55-59, 137-138 を読み、歯の計測方法と展開図の書き方を確認する。
6月2日 1限	鳥海 拓 6月11日(木) 1限と入替	歯の異常	1) 歯の形態異常とその特徴を説明する。(A-3-4-6) 2) 歯の形成異常とその特徴を説明する。(A-3-4-3)
		準備学習と時間	準備学習：30分 「歯の解剖学 第4版」 p92-96 を読み、要点を確認する。
6月9日 1限	鳥海 拓 6月18日(木) 1限と入替	歯の鑑別	1) 歯種の鑑別を説明する。(A-3-4-2) 2) 上下・左右の鑑別を説明する。(A-3-4-2) 3) 順位の鑑別を説明する。(A-3-4-2)
		準備学習と時間	準備学習：30分 「歯の解剖学 第4版」 p123-127 を読み、要点を確認する。
6月25日	鳥海 拓	口腔 (1)	1) 口腔の区分と構成要素を説明する。(A-3-3-1) 2) 口腔粘膜の分類と特徴を説明する。(A-3-3-2)
		準備学習と時間	準備学習：30分 「口腔解剖学」 p208-212 を読み、要点を確認する。
7月2日	鳥海 拓	口腔 (2)	1) 軟口蓋を構成する筋の解剖学的特徴と脈管神経を説明する。 (A-3-3-4, A-3-2-5, A-3-2-6) 2) 内舌筋と外舌筋の解剖学的特徴と脈管神経を説明する。 (A-3-3-3, A-3-2-5, A-3-2-6)
		準備学習と時間	準備学習：30分 「口腔解剖学」 p212-217 を読み、要点を確認する。
7月9日	鳥海 拓	歯列と咬合	1) 歯列と咬合を説明する。(A-3-3-5) 2) 個々の歯の顎骨への植立を説明する。(A-3-3-5)
		準備学習と時間	準備学習：30分 「歯の解剖学 第4版」 p85-91 を読み、要点を確認する。
7月16日	黒木 淳子	乳歯	1) 乳歯の形態と特徴を説明する。(A-3-4-4) 2) 乳歯の歯髓腔の形態を説明する。(A-3-4-4)
		準備学習と時間	準備学習：30分 講義資料をダウンロードして「歯の解剖学 第4版」 p78-84 を読み、要点を確認する。
7月23日	網干 博文 (日本大学 特任教授)	特別講義：歯科情報による 個人識別	1) 災害や事件等での個人識別における歯科医師の役割を説明する。 (PR-01, SO-06, C-4-4-1) 2) 災害や事件等での身元確認法を説明する。(C-4-4-2)
		準備学習と時間	準備学習：30分 「歯科法医学が社会とどのように関わっているか」を各自で調べ、ノートにまとめる。

# 口腔解剖学実習

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
河上 淳一	2	前期	水曜日	9:00～12:00	病院地下 解剖学実習室

## 科目の到達目標 (GIO)

頭部顔面、口腔領域の解剖学的構造を立体的に理解するために、骨および脳の標本を用いた観察・スケッチ、模型を用いた筋の再現、天然歯の鑑別、および歯型彫刻を行い、歯科医学の基礎となる口腔解剖学の基本的な知識・技能を修得する。

	著者・編者	書名	版	出版社
教科書	解剖学第1講座編 井出吉信 監修	口腔解剖学実習書 (プリント配布) 口腔顎顔面解剖ノート	第2版	学建書院
参考書	前田健康, 天野修, 編 近藤信太郎 他 平田幸男訳	口腔解剖学 (骨学, 筋学分野の参考書) 歯の解剖学 (歯の解剖学分野の参考書) 解剖学アトラス (脳分野の参考書)	第3版 第4版 原著第10版	医歯薬出版 わかば出版 文光堂

## 学習方略 (重複可)

講義  示説  グループ討議 (PBL, TBLを含む)  実習  その他 ( )

## 成績評価と基準 (比重や割合)

客観試験 ( %)  論述試験 ( %)  口頭試験 ( %)  レポート (20%)  
 実地試験 (40%)  ポートフォリオ ( %)  シミュレーションテスト ( %)  
 観察記録 ( %)  態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) ( %)

## 成績評価方法

行動目標で示した項目について、以下により評価する。  
 実習の成果物 (スケッチ, 粘土による筋の表現, 展開図, 歯型彫刻) (50%), 実習に対する準備状況 (準備学習の課題を含む)・関心・意欲・態度 (出欠状況を含む) (10%), および実習試験 (※) (40%)

(※) 骨, 筋, 脳の分野はスポッター試験, 歯の解剖学分野は天然歯の鑑別と下顎右側第一大臼歯の展開図の試験

## オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日: 水曜日 時間: 16:30～17:30 場所: 解剖学第1講座第1研究室 (河上 4号館3階301)  
 事前の予約は必要なく, 自由に来室可。

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
4月8日	鳥海 拓 河上 淳一 長谷川雅子	オリエンテーション (512教室で実施)  骨学実習 (1) (実習室で実施)	1) 実習で標本と模型を取り扱う際の行動倫理を説明する。(PR-03) 2) 骨の部位を指す用語を説明する。(A-3-1-2-1) 3) ヒトの乾燥頭蓋骨標本を観察し, 頭蓋を構成する骨を分類して列記する。(A-3-1-2-1) 4) 正面観を観察し, スケッチする。(A-3-1-2-1)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 「口腔顎顔面解剖ノート」p1-10の空欄に語句を記入し, 要点を確認する。	
4月15日	河上 淳一 鳥海 拓 長谷川雅子	骨学実習 (2)	1) 内頭蓋底を観察し, 詳細にスケッチする。(A-3-2-2)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 「口腔顎顔面解剖ノート」p11-12の空欄に語句を記入し, 実習プリントとともに要点を確認する。	
4月22日	河上 淳一 鳥海 拓 長谷川雅子	骨学実習 (3)	1) 外頭蓋底を観察し, 詳細にスケッチする。(A-3-2-2)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 「口腔顎顔面解剖ノート」p13-16の空欄に語句を記入し, 実習プリントとともに要点を確認する。	
5月13日	河上 淳一 鳥海 拓 長谷川雅子	骨学実習 (4)	1) 全身の骨格標本を観察し, 性別を推定する。(A-3-1-2-1)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 「口腔顎顔面解剖ノート」p17-24の空欄に語句を記入し, 実習プリントとともに要点を確認する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
5月27日	河上 淳一 鳥海 拓 長谷川雅子	筋学実習 (1)	1) 頭蓋模型教材と粘土を用い、咀嚼筋の頭蓋骨の付着を表現する。(A-3-2-3)
		準備学習と時間	準備学習: 30分 「口腔解剖学」p125-127を読み、「口腔顎顔面解剖ノート」p45-48の空欄に語句を記入し、実習プリントとともに要点を確認する。
6月3日	河上 淳一 鳥海 拓 長谷川雅子	筋学実習 (2)	1) 頭蓋模型教材と粘土を用い、舌骨上筋群の頭蓋骨の付着を表現する。(A-3-2-3)
		準備学習と時間	準備学習: 30分 「口腔解剖学」p127-128を読み、「口腔顎顔面解剖ノート」p49-54の空欄に語句を記入し、実習プリントとともに要点を確認する。
6月10日	鳥海 拓 河上 淳一 長谷川雅子	歯の解剖学実習 (1) 上顎右側中切歯の歯型彫刻	1) 歯型彫刻に必要な器具を適切に使用する。 2) 上顎右側中切歯の形態と特徴を歯型彫刻する。(A-3-4-2)
		準備学習と時間	準備学習: 30分 「口腔顎顔面解剖ノート」p221-222の空欄に語句を記入し、実習書の該当箇所とともに要点を確認する。
6月17日	鳥海 拓 河上 淳一 長谷川雅子	歯の解剖学実習 (2) 上顎右側第一小臼歯の歯型彫刻	1) 歯型彫刻に必要な器具を適切に使用する。 2) 上顎右側第一小臼歯の形態と特徴を歯型彫刻する。(A-3-4-2)
		準備学習と時間	準備学習: 30分 「口腔顎顔面解剖ノート」p225-227の空欄に語句を記入し、実習書の該当箇所とともに要点を確認する。
6月24日	鳥海 拓 河上 淳一 長谷川雅子	歯の解剖学実習 (3) 下顎右側第一大臼歯の歯型彫刻	1) 歯型彫刻に必要な器具を適切に使用する。 2) 下顎右側第一大臼歯の形態と特徴を歯型彫刻する。(A-3-4-2)
		準備学習と時間	準備学習: 30分 「歯の解剖学 第4版」p60-63, および実習書の該当箇所をよく読み、要点を確認する。
7月1日	鳥海 拓 河上 淳一 長谷川雅子	歯の解剖学実習 (4) 歯の鑑別	1) 模型歯を観察して歯を鑑別する。(A-3-4-2) 2) ヒトの天然歯を鑑別してグループ内で発表する。(A-3-4-2)
		準備学習と時間	準備学習: 30分 「歯の解剖学 第4版」p87-91, 123-127を読み、要点を確認する。
7月8日	鳥海 拓 河上 淳一	脳実習 (1) 脳の血管系の剖出, 脳外側面(溝・回), 脳底面, 脳神経の出入部位の観察	1) 脳と脊髄の基本的構造と機能を説明する。(A-3-1-5-4) 2) 脳に分布する主な動脈と静脈を説明する。(A-3-1-5-4) 3) 脳神経の種類, 走行, 線維構築および支配領域を説明する。(A-3-2-6)
		準備学習と時間	準備学習: 30分 配布した実習書の該当箇所を読み, 図の穴埋めをして要点を確認する。
7月15日	鳥海 拓 河上 淳一	脳実習 (2) 小脳, 脳幹の剖出ならびに観察	1) 中脳, 橋, 延髄, 小脳の基本的構造と機能を説明する。(A-3-1-5-4)
		準備学習と時間	準備学習: 30分 配布した実習書の該当箇所を読み, 図の穴埋めをして要点を確認する。
7月22日	鳥海 拓 河上 淳一	脳実習 (3) 大脳内側の剖出ならびに観察	1) 大脳を正中断した基本的構造を説明する。(A-3-1-5-4) 2) 大脳の動脈分布を説明する。(A-3-1-5-4) 3) 第三脳室とその周辺構造を説明する。(A-3-1-5-4) 4) 帯状回と海馬傍回の構造を説明する。(A-3-1-5-4)
		準備学習と時間	準備学習: 30分 配布した実習書の該当箇所を読み, 図の穴埋めをして要点を確認する。
7月29日	鳥海 拓 河上 淳一	実習試験 ※詳細は追って連絡する。	1) 骨学, 筋学, 歯の解剖学, および脳に関する実習試験を通し, これまでの学修成果を確認する。
		準備学習と時間	準備学習: 60分 第1回-第13回までの準備学習および実習内容を総復習する。

# 発生学

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
鳥海 拓	2	前期	水曜日	14:40～16:00	512 番教室

## 科目の到達目標 (GIO)

生命の連続性とひとつの受精卵から個体が形態形成される過程を理解するために、人体の基本的な発生学的知識を修得する。

	著者・編者	書名	版	出版社
教科書	T.W.Sadler 山田重人・安田峯生 訳	ラングマン 人体発生学	第12版	メディカルサイエンス インターナショナル
参考書	塩田浩平 著	カラー図解 人体発生学講義ノート	第3版	金芳堂

## 学習方略 (重複可)

- 講義     示説     グループ討議 (PBL, TBL を含む)     実習  
 その他 ( )

## 成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (70%)     論述試験 ( %)     口頭試験 ( %)     レポート ( %)  
 実地試験 ( %)     ポートフォリオ ( %)     シミュレーションテスト ( %)  
 観察記録 ( %)     態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (30%)

## 成績評価方法

行動目標で示した項目について、多選択肢形式の定期試験 (70%) と復習小テスト (※) (筆記) を含めた講義に対する関心・意欲・態度 (30%) により評価を行う。

※ 6月17日以降の講義冒頭に実施する。範囲は前の回の講義内容である。例) 6月17日実施の復習テストは6月3日の講義内容に関することを問う。

## オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日: 水曜日 時間: 16:30-17:30 場所: 解剖学第1講座教授室 (鳥海 4号館3階301)  
事前の予約は必要なく、自由に来室可。

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
6月3日	鳥海 拓	初期発生 (1)	1) 生殖細胞形成を説明する。(A-2-1-1) 2) 受精の過程 (着床を含む) と意義を説明する。(A-2-1-1) 3) 多能性幹細胞の概略を説明する。(A-2-1-5)
		準備学習と時間	準備学習: 30分 「人体発生学」 p17-36, 39-52 を読み、要点を確認する。
6月17日	鳥海 拓	初期発生 (2)	1) 胚盤形成と胚葉を説明する。(A-2-1-1) 2) 神経管と神経堤の形成を説明する。(A-2-1-4)
		準備学習と時間	準備学習: 30分 「人体発生学」 p55-60, 65-75, 79-86 を読み、要点を確認する。
6月24日	鳥海 拓	咽頭弓 (鰓弓) と頭頸部の発生	1) 咽頭弓 (鰓弓) の形成と要素を説明する。(A-2-1-2) 2) 咽頭溝 (鰓溝) と咽頭嚢の形成を説明する。(A-2-1-2) 3) 軟骨内骨化と膜内骨化を説明する。(A-3-1-2-4)
		準備学習と時間	準備学習: 30分 「人体発生学」 p155-159, 299-307 を読み、要点を確認する。
7月1日	鳥海 拓	顔面と口蓋の形成	1) 顔面の突起と形成過程を説明する。(A-2-4-3, A-2-4-5) 2) メッケル軟骨と下顎骨の発生を説明する。(A-2-1-2, A-2-4-1) 3) 一次口蓋と二次口蓋の発生を説明する。(A-2-4-1, A-2-4-5) 4) 顎顔面領域の形成異常を説明する。(A-2-4-4)
		準備学習と時間	準備学習: 30分 「人体発生学」 p315-321 を読み、要点を確認する。

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
7月8日	鳥海 拓	口腔諸器官の発生	1) 舌の形成を説明する。(A-2-4-1, A-3-3-3) 2) 唾液腺の発生を説明する。(A-2-4-1) 3) 甲状腺と下垂体の発生を説明する。(A-2-4-1)
		準備学習と時間	準備学習: 30分 「人体発生学」 p312-315, 346-347 を読み, 要点を確認する。
7月15日	鳥海 拓	心臓の構造	1) 心臓の構造と機能を説明する。(A-3-1-4-1) 2) 体循環と肺循環の経路を説明する。(A-3-1-4-2)
		準備学習と時間	準備学習: 30分 「口腔解剖学第3版」 p40-46, 52-60 (心臓の発生は除く) を読み, 要点を確認する。
7月22日	鳥海 拓	心臓の発生	1) 心臓の発生を説明する。(A-3-1-4-1) 2) 胎児循環を説明する。(A-3-1-4-2)
		準備学習と時間	準備学習: 30分 「口腔解剖学第3版」 p52-55 を読み, 要点を確認する。
7月29日	鳥海 拓	動脈の発生	1) 大動脈弓の発生過程を説明する。(A-3-1-4-1, A-3-1-4-2) 2) 反回神経の位置の左右差を説明する。(A-3-1-4-1, A-3-1-5-1)
		準備学習と時間	準備学習: 30分 「人体発生学」 p216-220, 223-231 を読み, 要点を確認する。

# 組織学

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
横須賀 宏之	2	前期	金曜日	9:00～10:20	512 番教室

## 科目の到達目標 (GIO)

生体は様々な機能を有する細胞が目的に合って集合したものであることを理解するために、組織・器官の概念およびそれらの構造と機能に関する基礎的知識を習得し、臨床分野の基盤となることを認識する。

著者・編者	書名	版	出版社
教科書 牛木辰男 (著)	入門組織学	改訂 2 版	南江堂
参考書			

## 学習方略 (重複可)

- 講義     示説     グループ討議 (PBL, TBL を含む)     実習  
 その他 (                      )

## 成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (85%)     論述試験 (10%)     口頭試験 (   %)     レポート (   %)  
 実地試験 (   %)     ポートフォリオ (   %)     シミュレーションテスト (   %)  
 観察記録 (   %)     態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (5%)

## 成績評価方法

一般目標で示した内容について、多選択肢形式 (85%) および論述式筆記 (10%) の定期試験と、毎回の講義の際のソクラテス小テスト (5%) で、授業に対する関心・意欲・態度を評価する。

## オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日：水曜日    時間帯：15:00～16:30 受付    場所：解剖第2講座 第1研究室 (4号館3階)

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
4月10日	熊倉 雅彦	細胞 (1)：細胞の構造と機能	1) 真核細胞の全体像と細胞膜, 核, 細胞小器官及び細胞骨格の構造と機能を理解している。A-1-4-1
	準備学習と時間	準備学習：10分 教科書 p3-15 を一読する。	
4月17日	熊倉 雅彦	細胞 (2)：細胞の活動と一生	1) 細胞内外間の物質の移動のしくみを理解している。A-1-4-2 2) 細胞周期, 細胞分裂及び主な細胞分化のしくみを理解している。A-1-4-4 3) 細胞死の種類と基本的機序を理解している。A-1-4-5
	準備学習と時間	準備学習：10分 教科書 p15-28 を一読する。	
4月24日	横須賀宏之	組織学総論 組織の概念 上皮組織 (1) 構造と機能 1	1) 組織は細胞と細胞間質から成ることを説明する。 2) 上皮組織の基本構造, 形態, 機能及び分布をを説明する。(A-3-1-1-1)
	準備学習と時間	準備学習：10分 教科書 p1-2, p29, p36-39 を一読する。	
5月8日	横須賀宏之	上皮組織 (2) 構造と機能 2	1) 上皮細胞間接着装置の種類を分類し, 構造と機能を説明する。(A-1-5-1) 2) 上皮細胞頂部の特殊な構造と機能を説明する。 3) 上皮の基底膜の構造と機能を説明する。
	準備学習と時間	準備学習：10分 教科書 p30-36 を一読する。	
5月15日	横須賀宏之	上皮組織 (3) 腺組織の構造と機能	1) 外分泌腺と内分泌腺の一般構造を比較する。(A-3-1-1-3) 2) 腺の構造と分布及び分泌機構を説明する。(A-3-1-1-3)
	準備学習と時間	準備学習：10分 教科書 p39-44 を一読する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
5月22日	横須賀宏之	支持組織 (1) 結合組織の構造と機能	1) 支持組織の分類と構成する細胞と細胞間質を説明する。(A-3-1-2-2) 2) 結合組織の基本構造を説明する。(A-3-1-2-2) 3) 結合組織の細胞要素, 線維要素を説明する。(A-3-1-2-2) 4) 結合組織の種類を説明する。 5) 膜の基本構造を説明し, 粘膜と皮膚の構造を説明する。 (A-3-1-1-2, A-3-1-1-3)
	準備学習と時間	準備学習: 15分 教科書 p45-57 を一読する。	
5月29日	横須賀宏之	支持組織 (2) 軟骨組織の構造と機能	1) 軟骨の組織構造と構成する細胞を説明する。(A-3-1-2-3) 2) 硝子軟骨, 弾性軟骨, 線維軟骨の特徴を説明する。
	準備学習と時間	準備学習: 5分 教科書 p58-61 を一読する。	
6月5日	横須賀宏之	支持組織 (3) 骨組織の構造と機能	1) 骨組織の基本構造を説明する。(A-3-1-2-3) 2) 骨組織の細胞の形態的特徴を説明する。(A-3-1-2-3) 3) 骨基質の特徴を説明する。(A-3-1-2-3) 4) 骨化の機序と成長様式を説明する。(A-3-1-2-4) 5) 骨の改造現象を説明する。(A-3-1-2-5)
	準備学習と時間	準備学習: 10分 教科書 p61-67 を一読する。	
6月19日	横須賀宏之	筋組織 (1) 筋組織の種類と機能	1) 筋組織の分類と分布を説明する。(A-3-1-3-1) 2) 骨格筋の組織構造の特徴を説明する。 3) 心筋の組織構造の特徴を説明する。 4) 平滑筋の組織構造の特徴を説明する。
	準備学習と時間	準備学習: 15分 教科書 p69-82 を一読する。	
6月26日	横須賀宏之	筋組織 (2) 筋収縮の機序	1) 筋細胞の構造を説明する。(A-3-1-3-2) 2) 筋収縮と制御機構を説明する。(A-3-1-3-2) 3) 骨格筋収縮の特徴を説明する。 4) 心筋収縮の特徴を説明する。 5) 平滑筋収縮の特徴を説明する。
	準備学習と時間	準備学習: 5分 教科書 p69-82 を一読する。	
7月3日	横須賀宏之	神経組織 (1) 神経細胞の 構造と機能	1) 神経組織の基本構造を説明する。(A-3-1-5-1, 2, 3, 4) 2) ニューロンの構造と機能を説明する。(A-3-1-5-6) 3) シナプス伝達の機序と神経伝達物質を説明する。(A-3-1-5-8)
	準備学習と時間	準備学習: 15分 教科書 p83-93 を一読する。	
7月10日	横須賀宏之	神経組織 (2) 支持細胞の種類, 構造と機能	1) 中枢・末梢, 各神経系のグリアの種類, 構造と機能を説明する。 (A-3-1-5-6)
	準備学習と時間	準備学習: 5分 教科書 p94-101 を一読する。	
7月17日	横須賀宏之	支持組織 (4) 血液 組織学総論まとめ (各論) 3. 血管とリンパ管の組織 構造	1) 血液の構成要素と役割を説明する。A-3-1-4-5 2) 組織学総論の総まとめを学習する。 3) 血管の組織構造を説明する。A-3-1-4-3 4) リンパ管の組織構造を説明する。A-3-1-4-6
	準備学習と時間	準備学習: 20分 教科書 p119-131, 103-110 を一読する。	
7月24日	横須賀宏之	5. 泌尿器 腎臓-尿管-膀胱-尿道の 組織学的構造	1) 腎臓, 尿管, 膀胱及び尿道の組織学的構造を説明する。(A-3-1-10-1)
	準備学習と時間	準備学習: 20分 教科書 p211-226 を一読する。	

# 生理学

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
佐藤 義英	2	前期	火曜日	9:00～10:20	512 番教室

## 科目の到達目標 (GIO)

臨床歯科医学を理解するために、末梢・中枢神経、筋、感覚の役割とメカニズムに関する知識を習得し、それに基づいて口腔機能の役割とメカニズムについて理解する。

	著者・编者	書名	版	出版社
教科書	岩田幸一・井上富雄・船橋誠・加藤隆史 (編集)	基礎歯科生理学	第7版	医歯薬出版
参考書	吉垣純子・石井久淑 編著	ビジュアル生理学・口腔生理学	第4版	学建書院

## 学習方略 (重複可)

- 講義     示説     グループ討議 (PBL, TBL を含む)     実習  
 その他 (ソクラテス演習問題)

## 成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (80%)     論述試験 (20%)     口頭試験 ( %)     レポート ( %)
- 実地試験 ( %)     ポートフォリオ ( %)     シミュレーションテスト ( %)
- 観察記録 ( %)     態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (減点式)

## 成績評価方法

到達目標 (GIO) で示した項目についての客観試験 (多選択肢形式試験, 80%) と論述試験 (筆記試験, 20%) により評価を行う。遅刻, 欠席を含む態度は減点式とする。

## オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日: 火曜日 時間帯: 12:00～12:30 場所: 生理学講座教授室 (5号館3階)

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
4月14日	佐藤 義英	興奮性組織 (1) 細胞膜と膜輸送	1) 真核細胞の全体像と細胞膜, 核, 細胞小器官及び細胞骨格の構造と機能を説明する。(A-1-4-1) 2) 細胞内外間の物質の移動のしくみを説明する。(A-1-4-2)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p6-8, 16-18 の要点を確認する。	
4月21日	佐藤 義英	興奮性組織 (2) 興奮性膜	1) 細胞内外液のイオン組成と静止膜電位を説明する。(A-1-4-3) 2) 神経の活動電位の発生を説明する。(A-3-1-5-7)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p16-25 の要点を確認する。	
5月12日	佐藤 義英	興奮性組織 (3) 興奮伝導	1) 神経の活動電位の発生と伝導の機序を説明する。(A-3-1-5-7) 2) 末梢神経系の種類と機能を説明する。(A-3-1-5-2, 3) 3) ニューロンとグリアの機能を説明する。(A-3-1-5-6)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p27-34 の要点を確認する。	
5月19日	佐藤 義英	興奮性組織 (4) シナプス伝達 1	1) シナプス伝達の機序を説明する。(A-3-1-5-8)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p35-38 の要点を確認する。	
5月26日	佐藤 義英	興奮性組織 (5) シナプス伝達 2	1) シナプス伝達の機序と神経伝達物質を説明する。(A-3-1-5-8)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p39-42 の要点を確認する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
6月11日 1限	高橋 睦 6月2日(火) 1限と入替	感覚機能 (2) 痛覚	1) 疼痛の種類, 発生機序及び制御機構を説明する。(A-3-1-6-4)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p206-207, 210-213 の要点を確認する。	
6月16日	黒瀬 雅之 (岩手 医科大学)	感覚機能 (3) 聴覚, 平衡感覚	1) 聴覚を説明する。(A-3-1-6-1) 2) 平衡感覚を説明する。(A-3-1-6-1)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p200-206 の要点を確認する。	
6月18日 1限	高橋 睦 6月9日(火) 1限と入替	感覚機能 (5) 口腔・顔面・舌感覚	1) 口腔, 顎顔面領域の体性感覚と疼痛の発生機序及び制御機構を説明する。 (A-3-3-9)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p301-310 の要点を確認する。	
6月23日	高橋 睦	感覚機能 (7) 味覚 (2)	1) 味覚を説明する。(A-3-3-3)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p326-342 の要点を確認する。	
6月23日 3限	高橋 睦 6月30日(火) 1限と入替	感覚機能 (8) 歯の感覚	1) 歯髄の構造と機能を説明する。(A-3-4-5) 2) 歯周組織の機能を説明する。(A-3-4-7)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p310-321 の要点を確認する。	
7月7日	佐藤 義英	運動機能 (1) 脊髄反射	1) 脊髄の機能を説明する。(A-3-1-5-4) 2) 反射の発現と制御機構を説明する。(A-3-1-5-5)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p223-229 の要点を確認する。	
7月14日	石井 久淑 (北海道 医療大学)	運動機能 (2) 骨格筋の収縮	1) 筋組織の分類と分布を説明する。(A-3-1-3-1) 2) 筋収縮の機序を説明する。(A-3-1-3-2)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p42-47 の要点を確認する。	
7月21日	佐藤 義英	運動機能 (3) 運動ニューロン, 大脳皮質, 下行性伝導路, 姿勢の調節	1) 運動ニューロンの機能を説明する。(A-3-1-5-6) 2) 随意運動の発現と制御機構を説明する。(A-3-1-5-5) 3) 高次脳の機能と下行性伝導路を説明する。(A-3-1-5-4)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p221-223, 229-237, 246-252 の要点を確認する。	
7月28日	佐藤 義英	運動機能 (4) 平滑筋の収縮, 大脳基底核 睡眠	1) 筋収縮の機序を説明する。(A-3-1-3-2) 2) 随意運動の発現と制御機構を説明する。(A-3-1-5-5) 3) 睡眠の特徴を説明する。(A-3-1-5-4)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p48-49, p237-240, 265-271 の要点を確認する。	

# 感染微生物学

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
三上 正人	2	前期	金曜日	10:40 ~ 12:00	512 番教室

## 科目の到達目標 (GIO)

感染症に対応できる歯科医師となるために、微生物の種類と特性、感染症の概念とその予防・対処方法を理解する。

著者・編者	書名	版	出版社
教科書 小熊恵二 他	シンプル微生物学	改訂第6版	南江堂
参考書 石原和幸 他	口腔微生物学	第8版	学建書院

## 学習方略 (重複可)

- 講義     示説     グループ討議 (PBL, TBL を含む)     実習  
 その他 (                      )

## 成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (80%)     論文試験 (   %)     口頭試験 (   %)     レポート (   %)  
 実地試験 (   %)     ポートフォリオ (   %)     シミュレーションテスト (   %)  
 観察記録 (   %)     態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (20%)

## 成績評価方法

一般目標で示した項目についての多選択肢形式, 空所補充形式の筆記試験 (80%) と, 毎回の講義の際の小テストを含めた授業に対する関心・意欲・態度 (20%) により評価を行う。

## オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日: 金曜日 時間: 17:00 ~ 18:00 場所: 微生物学実習室 (4号館2階)  
 ※事前にメールで要予約 (メールアドレスは授業中に提示する。)

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
4月10日	三上 正人	微生物学序論 細菌学総論 (1) 細菌の分類・形態・構造	1) 病原微生物の種類を説明する。(A-4-1-1) 2) 病原微生物学の歴史を説明する。(A-4-1-1) 3) 細菌の分類と命名法を説明する。(A-4-1-1) 4) 細菌の形態と構造を説明する。(A-4-1-1)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 シンプル微生物学 p1-21 を読み, 要点を確認する。	
4月17日	三上 正人	細菌学総論 (2) 細菌の増殖と代謝	1) 細菌の観察法を説明する。(A-4-1-1) 2) 細菌の増殖に関わる因子を説明する。(A-4-1-1) 3) 細菌の代謝を説明する。(A-4-1-1)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 シンプル微生物学 p21-33 を読み, 要点を確認する。	
4月24日	三上 正人	細菌学総論 (3) 細菌遺伝子の発現, 変異, 修復および伝達	1) 細菌の遺伝子発現調節機構を説明する。(A-4-1-1) 2) 細菌の遺伝子変異と修復機構を説明する。(A-4-1-1) 3) 細菌の遺伝子伝達機構を説明する。(A-4-1-1)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 シンプル微生物学 p33-44 を読み, 要点を確認する。	
5月8日	三上 正人	細菌学総論 (4) 感染と発症	1) 感染症の発症様式を説明する。(A-4-1-2, 5) 2) 感染症の伝播と経過を説明する。(A-4-1-2) 3) 感染症の成立要因を説明する。(A-4-1-2) 4) 新興・再興感染症を説明する。(A-4-1-4)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 シンプル微生物学 p44-57 を読み, 要点を確認する。	
5月15日	三上 正人	細菌学各論 (1) グラム陽性球菌	1) グラム陽性球菌の分類と特徴を説明する。(A-4-1-1, 5) 2) グラム陽性球菌による感染症と感染機構を説明する。(A-4-1-2, 5, 9) 3) 感染症の診断, 予防, 治療を説明する。(A-4-1-3)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 シンプル微生物学 p127-137 を読み, 要点を確認する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
5月22日	三上 正人	細菌学各論 (2) グラム陰性通性嫌気性桿菌・腸内細菌科	1) 腸内細菌科の細菌の分類と特徴を説明する。(A-4-1-1, 5) 2) 腸内細菌科の細菌による感染症と感染機構を説明する。(A-4-1-2, 5) 3) 感染症の診断, 予防, 治療を説明する。(A-4-1-3)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 シンプル微生物学 p137-149 を読み, 要点を確認する。	
5月29日	三上 正人	細菌学各論 (3) ビブリオ科・エロモナス科・パストレルラ科およびらせん菌群	1) 腸内細菌科以外のグラム陰性通性嫌気性桿菌の分類と特徴を説明する。(A-4-1-1) 2) 腸内細菌科以外のグラム陰性通性嫌気性桿菌の感染症と感染機構を説明する。(A-4-1-2) 3) 感染症の診断, 予防, 治療を説明する。(A-4-1-3)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 シンプル微生物学 p149-162 を読み, 要点を確認する。	
6月2日 3限	三上 正人 6月5日(金) 2限と入替	細菌学各論 (4) グラム陰性好気性桿菌および球菌	1) グラム陰性好気性菌の分類と特徴を説明する。(A-4-1-1) 2) グラム陰性好気性菌による感染症と感染機構を説明する。(A-4-1-2, 9) 3) 感染症の診断, 予防, 治療を説明する。(A-4-1-3)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 シンプル微生物学 p162-177 を読み, 要点を確認する。	
6月9日 3限	三上 正人 6月19日(金) 2限と入替	細菌学各論 (5) グラム陽性桿菌	1) グラム陽性桿菌の分類と特徴を説明する。(A-4-1-1) 2) グラム陽性桿菌による感染症と感染機構を説明する。(A-4-1-2) 3) 感染症の診断, 予防, 治療を説明する。(A-4-1-3)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 シンプル微生物学 p177-184 を読み, 要点を確認する。	
6月26日	三上 正人	細菌学各論 (6) 偏性嫌気性菌	1) 偏性嫌気性菌の分類と特徴を説明する。(A-4-1-1) 2) 偏性嫌気性菌による感染症と感染機構を説明する。(A-4-1-2) 3) 感染症の診断, 予防, 治療を説明する。(A-4-1-3)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 シンプル微生物学 p184-196 を読み, 要点を確認する。	
7月3日	三上 正人	細菌学各論 (7) マイコバクテリウム属, アクチノマイセス属, スピロヘータ	1) マイコバクテリウム感染症の感染機構と症状を説明する。(A-4-1-2) 2) アクチノマイセス感染症の感染機構と症状を説明する。(A-4-1-2, 5) 3) スピロヘータ感染症の感染機構と症状を説明する。(A-4-1-2) 4) 感染症の診断, 予防, 治療を説明する。(A-4-1-3)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 シンプル微生物学 p196-211 を読み, 要点を確認する。	
7月10日	三上 正人	細菌学各論 (8) マイコプラズマ, リケッチア, クラミジア	1) マイコプラズマ感染症の感染機構と症状を説明する。(A-4-1-2) 2) リケッチア感染症の感染機構と症状を説明する。(A-4-1-2) 3) クラミジア感染症の感染機構と症状を説明する。(A-4-1-2) 4) 感染症の診断, 予防, 治療を説明する。(A-4-1-3)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 シンプル微生物学 p211-228 を読み, 要点を確認する。	
7月17日	三上 正人	ウイルス学総論 (1) ウイルスの構造・分類・増殖	1) ウイルスの構造と分類を説明する。(A-4-1-1) 2) ウイルスの増殖様式を説明する。(A-4-1-1) 3) ウイルスの遺伝子変異を説明する。(A-4-1-1)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 シンプル微生物学 p233-245 を読み, 要点を確認する。	
7月24日	三上 正人	ウイルス学総論 (2) ウイルス感染と生体応答	1) ウイルスの病原性を説明する。(A-4-1-2) 2) ウイルス感染に対する免疫応答を説明する。(A-4-2-1)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 シンプル微生物学 p245-265 を読み, 要点を確認する。	

# 薬物療法学

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
二宮 一智	2	前期	月曜日	10:40 ~ 12:00	512 番教室

## 科目の到達目標 (GIO)

適正な薬物療法を実践するために、生体と薬物の相互作用を学び、薬物治療の基本原則を理解する。

	著者・編者	書名	版	出版社
教科書	鈴木邦明 監修	現代歯科薬理学	7	医歯薬出版
参考書	石田 甫 ほか	歯科薬理学	5	医歯薬出版

## 学習方略 (重複可)

- 講義     示説     グループ討議 (PBL, TBL を含む)     実習  
 その他 ( )

## 成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (80%)     論文試験 ( %)     口頭試験 ( %)     レポート (10%)  
 実地試験 ( %)     ポートフォリオ ( %)     シミュレーションテスト ( %)
- 観察記録 ( %)     態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (10%)

## 成績評価方法

客観試験 (80%), レポート (10%), 態度 (10%) を総合して評価する。

## オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日：月曜日 時間：16:00 ~ 17:00 場所：薬理学講座教授室 (8号館3階)

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
4月13日	福井佳代子	[薬理作用, 用量と薬理作用] 薬物療法を適切に行うための基本となる薬物の用量区分 (有効量, 中毒量), 作用強度と安全性を示す指標 (ED50, LD50, 安全域) を理解する。	1) 薬理作用の基本形式と分類を説明する。(A-6-2)-1) 2) 薬物の作用機序を説明する。(A-6-2)-2) 3) 薬理作用を規定する要因 (用量と反応, 反応) を説明する。(A-6-2)-3) 4) 薬物の用量区分 (有効量, 中毒量) を説明する。(A-6-2-4) 5) 作用強度と安全性を示す指標である ED50 と LD50 を説明する。(A-6-2-4) 6) 作用強度と安全性を示す指標である安全域を説明する。(A-6-2-4)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 テキストの第1章と2章を確認する。	
4月20日	福井佳代子	[臨床薬理学] 新しい医薬品を開発するためのプロセスを理解する。	1) 医薬品の開発プロセスについて説明できる。(A-6-1-2) 2) 治療薬物モニタリング (TDM) を説明する。(A-6-2-4) 3) 処方と処方箋の書き方を説明する。(D-4-1-2) 4) 医療上の事故等の事例 (薬害) の原因を分析できる。(C-3-2-5) 5) 医薬品の副作用被害救済制度等を理解できる。(C-3-2-6)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 テキストの第11章を確認する。	
5月11日	福井佳代子	[薬物と医薬品, ゲノム薬理学とiPS細胞] 薬物療法を学ぶにあたり, 医薬品の分類, 薬・劇薬・麻薬の表示と保管, 日本薬局方を理解する。最新の薬理学の動向を理解する。	1) 医薬品の分類を説明する。(A-6-1)-1) 2) 薬物と医薬品との関係を説明する。(A-6-1-1) 3) 毒薬, 劇薬および麻薬の表示と保管を説明する。(A-6-1-1) 4) 日本薬局方を説明する。(C-4-2-4) 5) 最新の薬理学の動向を説明する。(A-6-1-2)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 テキストの第10章と12章を確認する。	
5月18日	福井佳代子	[神経伝達物質とオタコイド (1)] 薬物療法に重要な生理活性物質, サイトカイン, 成長因子の特徴, 種類, 作用を理解する。	1) 神経伝達物質の特徴, 種類, 作用機序を説明する。(A-6-2)-2) 2) ヒスタミン, セロトニン, プロスタグランジン等の作用機序, 分布, 性状, 体内動態, 炎症反応との関連を説明する。(A-6-2)-2) 3) サイトカインの特徴, 種類, 作用機序を説明する。(A-6-2)-2) 4) 成長因子の特徴, 種類, 作用機序を理解する。(A-6-2)-2)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 テキストの第14章を確認する。	
5月20日 (水)	福井佳代子	[神経伝達物質とオタコイド (2)] 抗炎症薬の理解にとって重要な炎症反応に密接に関連する生理活性物質であるオタコイドの体内動態および薬理作用を理解する。	1) ブラジキニン, アンジオテンシン等の作用機序を説明する。(A-6-2)-2) 2) ブラジキニン, アンジオテンシン等の分布, 性状を説明する。(A-6-2)-2) 3) ブラジキニン, アンジオテンシン等の体内動態を説明する。(A-6-3)-2) 4) ブラジキニン, アンジオテンシン等と炎症反応との関連を説明する。(A-6-2)-2) 5) NO, 血小板活性化因子, エンドセリン, ナトリウム利尿ペプチドを説明する。(A-6-2)-2)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 テキストの第14章を確認する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
5月25日	二宮 一智	[薬理作用の機序 (2)] 総論として薬物の作用点別の作用機序を理解し、各論における個々の薬物の作用機序の理解を助ける。	1) 薬物による細胞機能の変化の集積が薬理作用であることを説明する。(A-6-2-1, 2, 3) 2) 細胞膜受容体の構造と情報伝達機構を説明する。(C-6-2)-2) 3) 細胞質および核内受容体の特徴と遺伝子の転写因子としての作用を説明する。(A-6-2)-2) 4) 受容体を介さない薬理作用を説明する。(A-6-2)-2)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 テキストの第13章を確認する。	
6月4日(木)	二宮 一智	[薬物動態 (1): 投与経路, 吸収と分布] 薬物療法の原理を理解するために重要な薬物動態のうち、血中への薬物の移行(吸収)と組織への移行(分布)について理解する。	1) 薬物動態(吸収, 分布, 代謝, 排泄)を説明する。(A-6-3-2) 2) 薬物の吸収過程に影響を与える因子について説明する。 3) 血中における薬物存在様式としてタンパク質結合型薬物と遊離型薬物およびイオン型薬物と非イオン型薬物について説明する。 4) 薬物の分布に影響する要因として、血管透過性, 組織血流量, タンパク結合率, 組織親和性について説明する。
	準備学習と時間	準備学習: 30分 テキストの第3章から4章を確認する。	
6月8日	筒井 健夫 (生命歯学部)	[薬物の効果に影響する諸因子, 薬物連用] 薬物療法を適切に行うための基本となる薬物の作用を規定する要因について理解する。 薬物の連用の影響(耐性, 蓄積, 依存性)と併用による効果(協力, 拮抗, 相互作用)について理解する。	1) 薬理作用を規定する要因について説明する。(A-6-3-2) 2) 薬物の効果に影響する諸因子のうち生体側の因子を列挙し, 説明する。 3) 薬物の効果に影響する諸因子のうち薬物側と製剤側の因子について説明する。 4) 薬物の併用(協力作用, 拮抗作用, 相互作用)を説明する。(A-6-2-5, A-6-4-4) 5) 耐性, 脱感作とタキフィラキシーについて説明する。(A-6-4-3) 6) 身体依存と精神依存について説明する。
	準備学習と時間	準備学習: 30分 テキストの第5章と6章を確認する。	
6月15日	二宮 一智	[薬物動態 (2) 代謝と排泄] 薬物療法の原理を理解するために重要な薬物動態のうち、体内における薬物の変化(代謝)と体内からの消失(排泄)について理解する。	1) 薬物動態(吸収, 分布, 代謝, 排泄)を説明する。(A-6-3-2) 2) 薬物代謝過程(第1相反応: 酸化, 還元, 加水分解反応と第2相反応: 抱合反応)について説明する。 3) 薬物代謝酵素(チトクロムP-450)の分布, 性状, 誘導, 阻害について説明する。 4) 排泄過程を腎臓(尿), 肝臓(胆汁), 肺(呼吸), 唾液腺(唾液), 乳腺(乳汁)について説明する。(A-6-4-5)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 テキストの第3章と4章を確認する。	
6月22日	二宮 一智	[薬物の副作用, 有害作用, 相互作用と適用上の注意] 薬物の一般的副作用・有害作用を理解し, その予防対策に関する基本的事項を理解する。薬物併用時の相互作用を理解する。さらに医薬品の適用上の注意を理解する。	1) 薬物の一般的副作用・有害作用について説明する。(A-6-4-1) 2) 薬物の口唇, 口腔, 顎顔面領域に現れる副作用・有害作用を説明する。(A-6-4-2) 3) 薬物の一般的有害作用の原因とその分類を説明する。 4) 薬物による歯肉増殖症, 口腔乾燥症, 流涎, 歯の形成障害と着色, 味覚障害, 口唇異常感, 口内炎について説明する。 5) 妊婦, 小児, 高齢者, 全身の疾患患者への薬物投与法を説明する。
	準備学習と時間	準備学習: 30分 テキストの第7, 8, 9章を確認する。	
6月29日	原 基	[交感神経作用薬] 歯科临床上, 知っておかなければならない交感神経作用薬の種類, 特徴, 作用機序, 適応症, 副作用を理解する。	1) 交感神経作用薬の種類と特徴を説明する。 2) 交感神経作用薬の作用機序を説明する。(C-6-2)-2) 3) 交感神経作用薬の適応症を説明する。 4) 交感神経作用薬の副作用を説明する。(C-6-4)-1)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 テキストの第17章を確認する。	
7月6日	原 基	[副交感神経作用薬] 歯科临床上, 知っておかなければならない副交感神経作用薬と運動神経作用薬の種類, 特徴, 作用機序, 適応症, 副作用を理解する。	1) 副交感神経作用薬および運動神経作用薬の種類と特徴を説明する。 2) 副交感神経作用薬および運動神経作用薬の作用機序を説明する。(C-6-2)-2) 3) 副交感神経作用薬および運動神経作用薬の適応症を説明する。 4) 副交感神経作用薬および運動神経作用薬の副作用を説明する。(C-6-4)-1)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 テキストの第17章を確認する。	
7月13日	原 基	[局所麻酔薬] 歯科临床上で汎用される局所麻酔薬の種類, 種類, 作用機序, 副作用, 適用法, 麻酔効果に影響を及ぼす因子を理解する。	1) 局所麻酔薬の種類, 種類を説明する。 2) 局所麻酔薬の作用機序を説明する。(C-6-2)-2) 3) 局所麻酔薬の副作用を説明する。(C-6-4)-1 4) 局所麻酔薬の適用法と麻酔効果に影響を及ぼす因子を説明する。
	準備学習と時間	準備学習: 30分 テキストの第18章を確認する。	
7月27日	二宮 一智	[講義のまとめ] 模擬試験問題を解き, 今までの講義内容の理解度を各自認識し, 理解不足の項目を各自で勉強し直して期末試験に備える。	
	準備学習と時間	準備学習: 30分 ノート等に目を通して一通りこれまでの授業内容を把握する。	

# 歯科理工学

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
五十嵐 健輔	2	前期	水曜日	13:00 ~ 14:20	512 番教室

## 科目の到達目標 (GIO)

歯科材料を適切に選択し、取り扱うことのできる歯科医師となるために、歯科修復物に要求される性質・特性を理解する。さらに、修復物を製作するための成形・加工技術と特徴を理解する。

	著者・編者	書名	版	出版社
教科書	日本歯科理工学会 編	歯科理工学教育用語集	第4版	医歯薬出版
参考書	宮坂 平, 遠藤一彦, 玉置幸道, 服部雅之 編, 大熊一夫 他著	基礎歯科理工学	第1版	医歯薬出版
	新谷明一, 中嶋 裕, 宮崎 隆, 米山隆之, 大熊一夫 他編	スタンダード歯科理工学	第8版	学建書院

## 学習方略 (重複可)

- 講義     示説     グループ討議 (PBL, TBL を含む)     実習  
 その他 (                      )

## 成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (45%)     論述試験 (45%)     口頭試験 ( %)     レポート ( %)
- 実地試験 ( %)     ポートフォリオ ( %)     シミュレーションテスト ( %)
- 観察記録 ( %)     態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (10%)

## 成績評価方法

行動目標で示した項目についての客観試験 (45%), 論述試験 (45%) と, 毎回の講義の際の小テストを含めた授業に対する関心・意欲・態度 (10%) により評価を行う。

## オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日: 木曜日 時間帯: 17:00 ~ 18:00 場所: 歯科理工学教授室 (5号館3階)  
 事前にメールで要予約 (メールアドレスは開講日に通知する)

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
4月8日	大熊 一夫	歯科修復と材料・技術	1) 種々の歯科修復物に使用される材料の種類を述べる。(B-2-1) 2) 修復法と使用歯科材料の種類と特徴の概要を説明する。(B-2-1) 3) 修復物および義歯製作に伴う操作と主な材料について述べる。(D-5-3-1-2, D-5-3-2-2)
	準備学習と時間	準備学習: 20分 基礎歯科理工学の歯科材料の用途別分類 p5-8, 歯科技術概論 p9-11, 歯科材料の科学 p12-13 を参考に講義テーマについて学習する。	
4月15日	五十嵐健輔	印象採得と模型の作製 (1)	1) 基本的な印象採得の方法を説明する。 2) 印象材に求められる性質を説明する。(B-2-1, B-2-2) 3) 印象材の細部再現性と寸法精度を説明する。(B-2-1, B-2-2) 4) 印象材の弾性的性質を説明する。(B-2-1, B-2-2)
	準備学習と時間	準備学習: 20分 基礎歯科理工学の印象材 p30-54 を参考に, なぜ印象採得を行うか, その方法について学習する。	
4月22日	五十嵐健輔	印象採得と模型の作製 (2)	1) 基本的な模型作製の方法を説明する。 2) 模型材に求められる性質を説明する。(D-5-3-1-5, D-5-3-2-5) 3) 模型材の細部再現性と寸法精度を説明する。(D-5-3-1-5, D-5-3-2-5) 4) 模型の欠陥と原因を説明する。(D-5-3-1-5, D-5-3-2-5)
	準備学習と時間	準備学習: 20分 基礎歯科理工学の模型材 p54-60 を参考に, 模型がなぜ必要かについて学習する。	
5月13日	五十嵐健輔	重 合	1) 重合で硬化する歯科材料を列挙する。(B-3-1, D-5-3-2-2) 2) 加熱重合の方法を説明する。(B-3-1) 3) 常温重合の方法を説明する。(B-3-1) 4) 光重合の方法を説明する。(B-3-1)
	準備学習と時間	準備学習: 20分 基礎歯科理工学の歯科技術概論 p9, 歯科技術各論 p168-172 を参考に講義テーマについて学習する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
5月27日	五十嵐健輔	歯科精密鑄造	1) 鑄造修復物の各作製行程について述べる。(B-3-1, D-5-3-1-9) 2) 鑄造について説明する。(B-3-1, D-5-3-1-9) 3) 鑄造に使用される材料および所要性質について述べる。(B-3-1, D-5-3-1-9) 4) 埋没材の熱膨張について述べる。(B-3-1, D-5-3-1-9)
	準備学習と時間	準備学習: 20分 基礎歯科理工学の歯科技術概論 p9, 歯科技工関連材料 p68-78, 金属の加工法 p181-191 を参考に講義テーマについて学習する。	
6月3日	五十嵐健輔	ろう付けと熱処理	1) ろう付けの方法を説明する。(B-3-1, D-5-3-1-9) 2) ろう材を列挙する。(B-3-1, D-5-3-1-9) 3) 熱処理硬化性を有する歯科用合金を列挙する。(B-3-1, D-5-3-1-9) 4) 熱処理の方法を説明する。(B-3-1, D-5-3-1-9)
	準備学習と時間	準備学習: 20分 基礎歯科理工学の接合技術 p224-228, 歯科用貴金属合金の時効硬化機構 p295-299 を参考に講義テーマについて学習する。	
6月17日	五十嵐健輔	陶材焼成	1) 陶材を用いた修復物を列挙する。(B-3-1, D-5-3-1-9) 2) 陶材を用いた修復物の構造を説明する。(B-3-1) 3) 陶材の成形方法を説明する。(B-3-1) 4) 陶材の焼成方法を説明する。(B-3-1)
	準備学習と時間	準備学習: 20分 基礎歯科理工学の歯科技術概論 p9-11, セラミックスの成形法 p203-207 を参考に講義テーマについて学習する。	
6月24日	五十嵐健輔	成形修復 (1)	1) 齲蝕の進行と治療について説明する。 2) 成形修復の方法について説明する。(B-2-1, D-5-2-1-3) 3) 成形修復の順序について説明する。(B-2-1) 4) 成形修復材の所要性質について説明する。(B-2-1)
	準備学習と時間	準備学習: 20分 基礎歯科理工学の歯科材料の用途別分類 p5, 歯科生体材料 p79-80 を参考に講義テーマについて学習する。	
7月1日	五十嵐健輔	成形修復 (2)	1) 成形修復材の機械的性質について説明する。(B-2-1) 2) 成形修復の技術的特徴について述べる。(B-2-1, D-5-2-1-3) 3) 歯との接着について説明する。(B-2-1, D-5-2-1-3)
	準備学習と時間	準備学習: 20分 基礎歯科理工学の歯科生体材料 p86-87, 接合結合 p214-221 を参考に講義テーマについて学習する。	
7月8日	五十嵐健輔	成形修復 (3)	1) フィラーの目的について説明する。(B-2-1) 2) フィラーの種類について説明する。(B-2-1) 3) シランカップリング処理について説明する。(B-2-1)
	準備学習と時間	準備学習: 20分 基礎歯科理工学の歯科生体材料 p82-86 を参考に講義テーマについて学習する。	
7月15日	五十嵐健輔	合着・接着 (1)	1) 合着・接着の定義と界面に働く結合力について述べる。(B-2-3) 2) 接着と濡れの関係について述べる。(B-2-3) 3) 合着・接着材の所要性質を説明する。(B-2-3, D-5-3-1-12) 4) 接着強さと接着力の関係を説明する。(B-1-1, B-2-3)
	準備学習と時間	準備学習: 20分 基礎歯科理工学の接合技術 p210-213 を参考に講義テーマについて学習する。	
7月22日	五十嵐健輔	合着・接着 (2)	1) 機能性モノマーの特徴を説明する。(B-1-2, B-2-3) 2) エナメル質に対する接着の特徴と被着面処理方法について述べる。(B-2-3, D-5-2-1-4) 3) 象牙質に対する接着の特徴と被着面処理方法について述べる。(B-2-3, D-5-2-1-4) 4) セラミックスに対する接着の特徴と被着面処理方法について述べる。(B-2-3, D-5-3-1-12) 5) 金属に対する接着の特徴と被着面処理方法について述べる。(B-2-3, D-5-3-1-12)
	準備学習と時間	準備学習: 20分 基礎歯科理工学の接合技術 p214-224 を参考に講義テーマについて学習する。	
7月29日	大熊 一夫	切削・研磨	1) 切削・研削について説明する。(B-3-4, D-5-2-1-1-6) 2) 歯質の切削, 修復物・補綴物の研削について述べる。(B-3-4) 3) 切削工具・研削材・切削器械の種類と特徴について述べる。(B-3-4) 4) 診療器械・器具の用途と特徴について説明する。(B-3-4) 5) 歯科用器械の用途と特徴について説明する。(B-3-2)
	準備学習と時間	準備学習: 20分 基礎歯科理工学の切削・研削・研磨 p233-240 を参考に講義テーマについて学習する。	

# 生体機能調節学

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
森田 貴雄	2	前期	月曜日	14:40～16:00	512 番教室

## 科目の到達目標 (GIO)

生体の恒常性維持 (ホメオスタシス) に中心的な役割を果たす内分泌系, 神経系, 血液について, 形態, 機能および分子機構の面から総合的な知識を習得し, 歯科医師に必要な人体の恒常性維持機構に関する知識を身につける。

	著者・編者	書名	版	出版社
教科書	牛木辰男 (著)	入門組織学	改訂第2版	南江堂
	林 典夫, 廣野治子 (監修)	シンプル生化学	改訂第7版	南江堂
	鈴木邦明 (監修)	現代歯科薬理学	第7版	医歯薬出版
参考書	藤山尚男, 藤山恒夫 (原著)	標準組織学	第5版	医学書院
	坂井建雄・河原克雅 (編)	カラー図解 人体の正常構造と機能	改訂第2版	日本医事新報社
	池尾 隆 他 (編)	スタンダード生化学・口腔生化学	第3版	学建書院
	早川太郎・須田立雄 他 (編)	口腔生化学	第6版	医歯薬出版
	岩田幸一 他 (編)	基礎歯科生理学	第7版	医歯薬出版

## 学習方略 (重複可)

- 講義     示説     グループ討議 (PBL, TBL を含む)     実習  
 その他 (                      )

## 成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (100%)     論述試験 (    %)     口頭試験 (    %)     レポート (    %)  
 実地試験 (    %)     ポートフォリオ (    %)     シミュレーションテスト (    %)  
 観察記録 (    %)     態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (    %)

## 成績評価方法

一般目標で示した項目についての多選択肢形式客観試験 (100%) により評価を行う。

## オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日: 月曜日 時間帯: 17:00～18:00 場所: 各講義担当者の部屋 (5号館3階, 8号館3階もしくは短大)

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
4月13日	森田 貴雄	概論: 恒常性維持のメカニズム	1) 内分泌器官の構造と機能を理解している。A-3-1-9-1 2) 恒常性維持と内分泌系, 神経系の機能相関を理解している。A-3-1-9-3
	準備学習と時間	準備学習: 30分 事前講義資料をダウンロードし, 各教科書の該当ページを読んで要点を確認する。	
4月20日	辻村麻衣子	内分泌系 (1): 内分泌器官の体内分布と内分泌細胞の形態的特徴	1) 内分泌器官構造と機能を説明する。A-3-1-9-1 2) ホルモンの種類と作用を説明する。A-3-1-9-2
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 (入門組織学) の該当ページを読んで要点を確認する。	
5月11日	辻村麻衣子	内分泌系 (2): 視床下部, 脳下垂体	1) 内分泌器官構造と機能を説明する。A-3-1-9-1 2) ホルモンの種類と作用を説明する。A-3-1-9-2
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 (入門組織学) の該当ページを読んで要点を確認する。	
5月18日	辻村麻衣子	内分泌系 (3): 甲状腺, 上皮小体, 胸腺	1) 内分泌器官構造と機能を説明する。A-3-1-9-1 2) ホルモンの種類と作用を説明する。A-3-1-9-2
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 (入門組織学) の該当ページを読んで要点を確認する。	
5月20日 (水)	辻村麻衣子	内分泌系 (4): 副腎, 松果体, 膵臓	1) 内分泌器官構造と機能を説明する。A-3-1-9-1 2) ホルモンの種類と作用を説明する。A-3-1-9-2
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 (入門組織学) の該当ページを読んで要点を確認する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
5月25日	辻村麻衣子	内分泌系 (5)：胃・腸，生殖腺	1) 内分泌器官構造と機能を説明する。A-3-1-9-1 2) ホルモンの種類と作用を説明する。A-3-1-9-2
	準備学習と時間	準備学習：30分 教科書（入門組織学）の該当ページを読んで要点を確認する。	
6月4日(木)	森田 貴雄	血液の成分	1) アミノ酸とタンパク質の構造，機能及び代謝を理解している。A-1-2-1 2) 血液・リンパと循環器系を理解している。A-3-1-4
	準備学習と時間	準備学習：30分 事前講義資料をダウンロードし，シンプル生化学 p377-381 を読んで要点を確認する。	
6月8日	森田 貴雄	血液凝固と線溶	1) アミノ酸とタンパク質の構造，機能及び代謝を理解している。A-1-2-1 2) 血液・リンパと循環器系を理解している。A-3-1-4 3) 血液の構成要素と役割を理解している。A-3-1-4-5
	準備学習と時間	準備学習：30分 事前講義資料をダウンロードし，シンプル生化学 p377-381 を読んで要点を確認する。	
6月15日	今井あかね	細胞間情報伝達	1) 真核細胞の全体像と細胞膜，核，細胞小器官及び細胞骨格の構造と機能を理解している。A-1-4-1 2) 細胞内外間の物質の移動のしくみを理解している。A-1-4-2 3) シナプス伝達の機序と神経伝達物質を理解している。A-3-1-5-8
	準備学習と時間	準備学習：20分 講義資料をダウンロードし，教科書・参考書を参照して要点を確認する。	
6月22日	今井あかね	受容体と情報伝達 (1)	1) 受容体を介するホルモン，成長因子，サイトカイン等による細胞間及び細胞内の情報伝達機構を理解している。A-1-5-2
	準備学習と時間	準備学習：20分 講義資料をダウンロードし，教科書・参考書を参照して要点を確認する。	
6月29日	今井あかね	受容体と情報伝達 (2)	1) 受容体を介するホルモン，成長因子，サイトカイン等による細胞間及び細胞内の情報伝達機構を理解している。A-1-5-2
	準備学習と時間	準備学習：20分 講義資料をダウンロードし，教科書・参考書を参照して要点を確認する。	
7月6日	今井あかね	血清カルシウム濃度の調節機構	1) ビタミン・ミネラルの種類と作用を理解している。A-1-2-6 2) ホルモンの種類，作用及び異常を理解している。A-3-1-9-2
	準備学習と時間	準備学習：20分 講義資料をダウンロードし，教科書・参考書を参照して要点を確認する。	
7月13日	森田 貴雄	神経系による生体機能の調節	1) 末梢神経系の種類，走行及び支配領域を理解している。 A-3-1-5-1, A-3-1-5-4 2) 自律神経系（交感神経系と副交感神経系）の構造と機能を理解している。 A-3-1-5-3
	準備学習と時間	準備学習：30分 事前講義資料をダウンロードし，教科書の該当箇所を読んで要点を確認する。	
7月27日	森田 貴雄	総括：授業全体に関する 要点のまとめ	要点まとめ
	準備学習と時間	準備学習：30分 事前講義資料や講義後資料，教科書の該当箇所を読んで要点を確認する。	

# 基礎医学演習

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
佐藤 聡	2	前期	火曜日	10:40~12:00 13:00~14:20	512 番教室

## 科目の到達目標 (GIO)

モデルコアカリキュラムに則った基礎系科目を中心に、1年次～2年次の内容を総合的に理解する。

	著者・編者	書名	版	出版社
教科書	小熊恵二 他	シンプル微生物学	第6版	南江堂
	大谷啓一 他	現代歯科薬理学	第7版	医歯薬出版
	林典男, 広野治子 編	シンプル生化学	第7版	南江堂
	牛木辰男 著	入門組織学	第2版	南山堂
	岩田幸一 他	基礎歯科生理学	第7版	医歯薬出版
	前田健康, 天野修, 他 編	口腔解剖学	第3版	医歯薬出版
参考書	早川太郎 他 監修	口腔生化学	第6版	医歯薬出版

## 学習方略 (重複可)

- 講義     示説     グループ討議 (PBL, TBL を含む)     実習  
 その他 (                      )

## 成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (100%)     論述試験 (   %)     口頭試験 (   %)     レポート (   %)  
 実地試験 (   %)     ポートフォリオ (   %)     シミュレーションテスト (   %)  
 観察記録 (   %)     態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (   %)

## 成績評価方法

年度末に実施される第2学年総合試験として、多肢選択式問題の客観試験を行い、66点以上で単位を認定する。(なお、当該科目は後期日程にも記載してある。)

## オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日：月～金曜日    時間：17:00～18:00    場所：各科目講座研究室

授業日 時限:2限	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
4 月 14 日	三上 正人	免疫系の概要	1) 免疫担当細胞の種類と機能を説明する。(A-4-2-1, A-4-2-2)
	準備学習と時間	準備学習: 30分    シンプル微生物学 p85-91 を読み、要点を確認する。	
4 月 21 日	三上 正人	自然免疫	1) 補体活性化を説明する。(A-4-2-1) 2) パターン認識分子を説明する。(A-4-2-1) 3) 貪食細胞の機能を説明する。(A-4-2-1)
	準備学習と時間	準備学習: 30分    シンプル微生物学 p92-103 を読み、要点を確認する。	
5 月 12 日	三上 正人	獲得免疫 (1) 体液性免疫	1) 抗原の提示と認識の機構について説明する。(A-4-2-3) 2) 抗体産生機構について説明する。(A-4-2-2) 3) 抗体の種類と機能を説明する。(A-4-2-2)
	準備学習と時間	準備学習: 30分    シンプル微生物学 p103-105 を読み、要点を確認する。	
5 月 19 日	三上 正人	獲得免疫 (2) 細胞性免疫	1) 細胞性免疫の種類と機序を説明する。(A-4-2-2)
	準備学習と時間	準備学習: 30分    口腔微生物学 p252-257 を読み、要点を確認する。	

授業日 時限:2限	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
5月26日	三上 正人	抗原提示と認識	1) 抗原提示細胞について説明する。(A-4-2-2) 2) 抗原の提示と認識の機構について説明する。(A-4-2-3)
	準備学習と時間	準備学習:30分 シンプル微生物学 p105, 口腔微生物学 p227-231 を読み, 要点を確認する。	
6月2日	三上 正人	アレルギー, ワクチン	1) アレルギーの分類と発症機序を説明する。(A-4-2-6) 2) ワクチンの原理と種類を説明する。(A-4-2-7)
	準備学習と時間	準備学習:30分 シンプル微生物学 p117-120, 123-125 を読み, 要点を確認する。	
6月9日	森田 貴雄	血液成分と生化学検査	1) 血液の構成要素(タンパク質, 糖質, 脂質, 酵素)の代謝を説明する。(A-3-1-4-5, A-1-2-1, 2, 3, 5) 2) 血液生化学検査の結果及び血中成分の代謝異常を説明する。(E-2-3-7)
	準備学習と時間	準備時間:30分 事前講義資料をダウンロードし, シンプル生化学の該当項目(事前資料参照)を読んで要点を確認する。	
6月16日	森田 貴雄	コラーゲンの生化学	1) 主な細胞外マトリックス分子であるコラーゲンの種類, 構造, 合成と分解を説明する。(A-1-5-3, A-1-5-4) 2) 結合組織の分類, 構成する細胞と細胞間質を説明する。(A-3-1-2-2)
	準備学習と時間	準備時間:30分 事前講義資料をダウンロードし, 口腔生化学第6版 p87-101, 119-123 を読んで要点を確認する。	
6月23日	原 基	腎臓の基本的生理機能 腎臓に作用する薬物	1) 腎臓の機能を理解し, 説明する。(A-3-1-10-1) 2) 利尿薬と抗利尿薬の分類と特徴を説明する。(A-6-1-1) 3) 利尿薬と抗利尿薬の作用機序を説明する。(A-6-2-2) 4) 利尿薬と抗利尿薬の適応症および副作用を説明する。(A-6-4-1)
	準備学習と時間	準備学習:20分 現代歯科薬理学第7版(医歯薬出版)の21章 p185-190 腎臓に作用する薬物を読む。	
6月30日	原 基	自律神経の基本的生理機能 自律神経に作用する薬物	1) 自律神経の基礎的な解剖学を説明する。(A-3-1-5-3) 2) 自律神経の基礎的な組織学を説明する。(A-3-1-5-3) 3) 自律神経の基礎的な生理学を説明する。(A-3-1-5-3) 4) 交感神経作用薬と副交感神経作用薬の特徴を説明する。(A-6-1-1)
	準備学習と時間	準備学習:30分 現代歯科薬理学第7版(医歯薬出版)の17章 p116-133 末梢神経に作用する薬物を読む。	
7月7日	横須賀宏之	(組織学各論) 器官 1. 消化管の組織学的構造 咽頭~小腸~大腸	1) 消化管の基本形態及び組織学的木構造を説明する。(A-3-1-7-1)
	準備学習と時間	準備学習:30分 教科書 p148-183 を一読する。	
7月14日	横須賀宏之	2. 消化腺の組織学的構造 肝臓, 膵臓	1) 肝臓と胆道系の組織学的構造を説明する。(A-3-1-7-2) 2) 膵臓(内分泌及び外分泌部の)組織学的構造を説明する。(A-3-1-7-2)
	準備学習と時間	準備学習:30分 教科書 p183-198 を一読する。	
7月21日	横須賀宏之	4. 呼吸器系の組織学的構造 鼻腔~喉頭~気管~肺	1) 気道系(鼻腔, 喉頭, 気管, 気管支)の組織学的構造を説明する。(A-3-1-8-1) 2) 肺の組織学的構造を説明する。(A-3-1-8-2)
	準備学習と時間	準備学習:30分 教科書 p199-226 を一読する。	
7月28日	横須賀宏之	6. 生殖器の組織学的構造 男性及び女性生殖器	1) 男性及び女性生殖器の組織構造を説明する。(A-3-1-11-1)
	準備学習と時間	準備学習:40分 教科書 p227-265 を一読する。	

授業日 時限:3限	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
4月14日	河上 淳一	骨学 (2) 頭蓋骨の形態	1) 頭蓋骨の構成と構造を説明する。(A-3-2-2)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p113-139 を読み, 要点を確認する。	
4月21日	河上 淳一	骨学 (4) 頭蓋骨の形態	1) 頭蓋骨の構成と構造を説明する。(A-3-2-2)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p113-139 の要点を確認する。	
5月12日	河上 淳一	骨学 (6) 体幹の骨格	1) 骨の基本構造を説明する。(A-3-1-2-1)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p9-19 の要点を確認する。	
5月19日	河上 淳一	筋学 (2) 咀嚼筋	1) 生体を構成する主な筋を列挙する。(A-3-2-3)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p140-146 の要点を確認する。	
5月26日	河上 淳一	筋学 (4) 腹部の筋	1) 生体を構成する主な筋を列挙する。(A-3-1-3-3)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p20-33 の要点を確認する。	
6月5日 2限	高橋 睦 6月2日(火) 3限と入替	感覚機能 (1) 受容器と感覚の分類	1) 体性感覚の受容器の機能を説明する。(A-3-1-6-1)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p180-189 の要点を確認する。	
6月16日	高橋 睦	感覚機能 (4) 上行性伝導路	1) 表面感覚の伝導路を説明する。(A-3-1-5-4) 2) 疼痛の種類, 発生機序及び制御機構を説明する。(A-3-1-6-4)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p189-191, 214-218 の要点を確認する。	
6月19日 2限	高橋 睦 6月9日(火) 3限と入替	感覚機能 (6) 視覚, 嗅覚, 味覚 (1)	1) 視覚を説明する。(A-3-1-6-1) 2) 嗅覚を説明する。(A-3-1-6-1) 3) 味覚を説明する。(A-3-3-3)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p192-199, 322-326, 343-355 をの要点を確認する。	
6月30日 1限	河上 淳一 6月23日(火) 3限と入替	末梢神経 (3) 脳神経 (VII)	1) 末梢神経系の種類, 走行及び支配領域を説明する。(A-3-1-5-1)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p178-193 の要点を確認する。	
6月30日	河上 淳一	末梢神経 (5) 脳神経 (XI, XII)	1) 末梢神経系の種類, 走行及び支配領域を説明する。(A-3-1-5-1)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p178-193 の要点を確認する。	
7月7日	河上 淳一	末梢神経 (7) 脊髄神経 (腕神経叢)	1) 体性神経系の構造と機能を説明する。(A-3-1-5-3) 2) 自律神経系 (交感神経系と副交感神経系) の構造と機能を説明する。 (A-3-1-5-3)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p193-195 を読み, 要点を確認する。	

授業日 時限:3限	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
7 月 14 日	鳥海 拓	中枢神経 (2)	1) 終脳について説明する。(A-3-1-5-4) 2) 大脳基底核について説明する。(A-3-1-5-4)
	準備学習と時間	準備学習:30分 教科書 p66-79 を読み, 要点を確認する。	
7 月 21 日	鳥海 拓	中枢神経 (4)	1) 脊髄について説明する。(A-3-1-5-4) 2) 各種伝導路について説明する。(A-3-1-5-5) 3) 副交感神経の神経核について説明する。(A-3-1-5-3)
	準備学習と時間	準備学習:30分 教科書 p66-79 の要点を確認する。	
7 月 28 日	鳥海 拓	感覚器 (1)	1) 外皮について構造を説明する。(A-3-1-6-2) 2) 嗅覚器について構造を説明する。(A-3-1-6-1) 3) 味覚器について構造を説明する。(A-3-1-6-1)
	準備学習と時間	準備学習:30分 教科書 p89-96, 205-207 の要点を確認する。	



## 第2学年 後期授業科目 目次

英 語 会 話	52
社 会 歯 科 入 門	54
基 礎 口 腔 保 健 学	56
口 腔 生 化 学	58
解 剖 学	60
解 剖 学 実 習	62
口 腔 組 織 学	66
生 理 学	68
感 染 微 生 物 学	70
病 理 学	72
歯 科 薬 物 療 法 学	76
歯 科 理 工 学	78
歯 科 理 工 学 実 習	82
専 門 歯 科 治 療 概 論	84
医 療 統 計 学	86
顎 口 腔 運 動 制 御 学	88
唾 液 と 唾 液 腺	90
健 康 科 学 II	92
基 礎 医 学 演 習	94

# 英語会話

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
ティモシー・フィニー	2	後期	火曜日	14:40～16:00	512 番教室

## 科目の到達目標 (GIO)

To continue using speaking, listening and reading skills in order to communicate with friends, strangers and patients. 患者, 友人, 初対面の人と英語でコミュニケーションするために, スピーキング, リスニング, リーディング能力の向上をめざす。

	著者・编者	書名	版	出版社
教科書				
参考書				

## 学習方略 (重複可)

- 講義     示説     グループ討議 (PBL, TBL を含む)     実習  
 その他 (                    )

## 成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (40%)     論述試験 (   %)     口頭試験 (20%)     レポート (20%)  
 実地試験 (   %)     ポートフォリオ (   %)     シミュレーションテスト (   %)  
 観察記録 (   %)     態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (20%)

## 成績評価方法

学期に2回筆記試験を行う。筆記試験は多肢選択式, 空所補充などの形式で実施する。学期の最後に, グループ対話の台本を作成し, パワーポイントのスライドとともに, 発表するパフォーマンステストを行う。

## オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

非常勤のため, 教務部に問い合わせる。

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
9月29日	Timothy Finney	Conversation practice: Group work and teacher-student interaction	英語でコミュニケーションする。
10月6日	Timothy Finney	Listening practice	英語で聞き取りをする。
10月13日	Timothy Finney	Game and puzzle activities including speaking practice	英語でコミュニケーションする。
10月20日	Timothy Finney	Learning about Halloween through various activities, including watching an American animation program.	ハロウィーンの題材をつかって, 語彙力, リスニング力を増強する。

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
10月27日	Timothy Finney	Reading various related stories and discussing them in groups, then consolidating the information and checking for understanding.	英語でコミュニケーションする。
	準備学習と時間	準備学習：15分 事前に示された資料を予習する。	
11月10日	Timothy Finney	A quiz regarding the previous week's information	英語でコミュニケーションする。
	準備学習と時間	準備学習：30分 前時の復習をし、質問に答えられるようにする。	
11月17日	Timothy Finney	Dentist/Patient Role Playing. Begin presentation preparation.	1) 英語で患者との会話をシミュレーションする。 2) 歯科医療の対話の台本をグループで書きはじめる。
	準備学習と時間	準備学習：15分	
11月24日	Timothy Finney	Presentation preparations continue.	1) 歯科医療の対話の台本を書く。 2) スライドの準備をする。
	準備学習と時間	準備学習：15分 グループで歯科医療の対話の台本を書く。	
12月1日	Timothy Finney	Final preparations for presentations. Groups meet with the teacher and check the script..	1) 歯科医療の対話の台本のチェックを受ける。 2) 歯科医療の対話のプレゼンの最終準備をする。
	準備学習と時間	準備学習：60分 グループで歯科医療の対話の台本を仕上げ、講師に送る。	
12月8日	Timothy Finney	Dentist/Patient Role Playing Presentations..	グループで歯科医療の対話のプレゼンをする。
	準備学習と時間	準備学習：30分 グループで歯科医療の対話の発表の練習をする。	
12月15日	Timothy Finney	Dentist/Patient Role Playing Presentations.	グループで歯科医療の対話のプレゼンをする。
	準備学習と時間	準備学習：30分 グループで歯科医療の対話の発表の練習をする。	
1月12日	Timothy Finney	Sequential art studies.	アートを英語で説明する。
	準備学習と時間	準備学習：15分 事前に示された資料を予習する。	
1月19日	Timothy Finney	Test Preparation	筆記試験に向けて学習する。
	準備学習と時間	準備学習：15分	
1月26日	Timothy Finney	Final test.	筆記試験を受ける。
	準備学習と時間	準備学習：45分 テストに備えて学習する。	



授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
10月28日	石井 瑞樹	医療保険制度	1) 医療保険制度の仕組み・構造を説明する。PS-10, SO-01, (C-4-3-2) 2) 健康保険法を説明する。(C-4-3-2) 3) 国民健康保険法を説明する。(C-4-3-2) 4) 高齢者の医療の確保に関する法を説明する。(C-4-3-2)
	準備学習と時間	準備学習：15分 教科書 p171-185 (医療保険) を事前に読む。	
11月4日	石井 瑞樹	介護保険制度と社会福祉制度	1) 保健・医療・福祉・介護の連携を説明する。(C-4-3-6) 2) 介護におけるチーム医療を説明する。(C-1-3-3) 3) 介護保険制度における歯科医師の役割を説明する。PS-10, (C-1-3-3) 4) 介護保険制度における介護サービス計画を説明する。(C-1-3-3)
	準備学習と時間	準備学習：15分 教科書 p185-195 (介護保険) を事前に読む。	
11月11日	石井 瑞樹	医療提供体制と医療経済	1) 医療費の仕組みを説明する。(C-4-3-3) 2) 医療提供制度を説明する。(C-4-3-1) 3) 社会福祉制度を説明する。SO-01, (C-4-3-2)
	準備学習と時間	準備学習：15分 教科書 p201-242 を事前に読む。	

# 基礎口腔保健学

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
小野 幸絵	2	後期	火曜日	13:00 ~ 14:20	512 番教室

## 科目の到達目標 (GIO)

健康科学, 社会歯科学, 基礎系歯科医学での知識を基本として口腔疾患の予防と口腔機能の保持増進の意義を理解し, 口腔保健を向上させるために, 必要となる基本的知識と技法について習得する。

	著者・編者	書名	版	出版社
教科書	松久保 隆 他	口腔衛生学 2026	第 1 版	一世出版
参考書	小松崎 明 他	歯学生のための健康科学	第 4 版	一世出版

## 学習方略 (重複可)

- 講義     示説     グループ討議 (PBL, TBL を含む)     実習  
 その他 (                      )

## 成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (40%)     論述試験 (50%)     口頭試験 (   %)     レポート (   %)  
 実地試験 (   %)     ポートフォリオ (   %)     シミュレーションテスト (   %)  
 観察記録 (   %)     態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (10%)

## 成績評価方法

一般目標で示した項目についての客観試験 (40%) と論述形式 (50%) の筆記試験と, 毎回の講義の遅刻, 欠席の態度 (10%) により評価を行う。

## オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日: 火曜日 時間: 16:30 ~ 17:30 場所: 衛生学講座研究室 (4号館3階)

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
9月29日	小松崎 明	口腔保健学概説	1) 口腔保健学の意義を述べる。 2) ヘルスプロモーションと口腔保健の関係を説明する。(C-5-3) 3) 8020 運動, 健康日本 21, 新健康フロンティア戦略について説明する。 4) 疾病の自然史と歯科疾患の関係を説明する。(C-4-1)-2
		準備学習と時間	準備学習: 30分 「口腔衛生学 2026」を読み要点を確認する。
10月6日	小松崎 明	口腔環境	1) 唾液の作用について説明する。 2) 歯の沈着物について説明する。 3) 歯垢・歯石の形成, 病原性について説明する。(D-3-2)-4 4) 歯垢微生物について説明する。
		準備学習と時間	準備学習: 30分 「口腔衛生学 2026」を読み要点を確認する。
10月13日	小松崎 明	齲蝕とその予防 (1) (発生要因, 齲蝕活動性)	1) 齲蝕の発生要因を列举する。 2) 齲蝕の発生機序について述べる。 3) ミュータンス連鎖球菌, 不溶性グルカンについて説明する。 4) 齲蝕活動性試験を説明する。
		準備学習と時間	準備学習: 30分 「口腔衛生学 2026」を読み要点を確認する。
10月20日	小松崎 明	齲蝕予防へのフッ化物応用 (1)	1) 自然界および体内のフッ素について説明する。 2) フッ素の吸収・排泄について説明する。 3) フッ素の毒性について説明する。 4) フッ素の急性中毒時の対応について述べる。 5) 歯のフッ素症について説明する。
		準備学習と時間	準備学習: 30分 「口腔衛生学 2026」を読み要点を確認する。
10月27日	小松崎 明	口腔の発育と機能	1) 正常な摂食・嚥下機能について説明する。 2) 嚥下障害について説明する。 3) 歯の萌出・交換について述べる。 4) 歯の萌出・交換と口腔保健との関係を説明する。
		準備学習と時間	準備学習: 30分 「口腔衛生学 2026」を読み要点を確認する。

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
11月10日	小松崎 明	疫学の応用 疫学指標 (1)	1) 歯科疫学の考え方を説明する。 2) 齲蝕・歯周疾患の疫学的特性について述べる。(C-6-1)-3 3) 疫学指標の条件について述べる。 4) 齲蝕の指標 (DMF) について説明する。 5) 歯式表記について列挙する。
	準備学習と時間	準備学習: 30分 「健康科学第4版2章」を読み疫学の概要について確認する。	
11月17日	鴨田 剛司	疫学指標 (2)	1) 口腔疾患の疫学的指標を説明する。 2) 歯周疾患の指標 (PMA, GI, PDI, PI, CPI) について述べる。 3) 口腔清掃状態の指標 (OHI, OHI-S, PII, PHP, PCR) について述べる。 4) 歯周疾患の指標, 口腔清掃状態の指標について使用することができる。
	準備学習と時間	準備学習: 30分 「口腔衛生学 2026」を読み要点を確認する。	
11月24日	鴨田 剛司	口腔保健の現状	1) 歯科疾患実態調査について説明する。(C-6-2)-2 2) 現在歯数の状況について述べる。 3) 歯の寿命の状況について述べる。 4) 齲蝕・歯周疾患の状況について述べる。 5) フッ化物塗布状況について述べる。
	準備学習と時間	準備学習: 30分 主な保健統計調査について調べる。	
12月1日	小野 幸絵	齲蝕とその予防 (2) (間食, 代用甘味料)	1) ステファン曲線について説明する。 2) 間食回数 (食生活) と齲蝕の関係性について説明する。 3) ショ糖・キシリトールと齲蝕の関係性について説明する。 4) フィッシャーシーラントについて説明する。
	準備学習と時間	準備学習: 30分 「口腔衛生学 2026」を読み要点を確認する。	
12月8日	田中とも子 (東京校 教授)	交換講義 口腔清掃の意義と種類 口腔清掃法 (1)	1) 口腔清掃法を分類する。 2) 口腔清掃法の術式を説明する。 3) 補助的清掃用具の使い方を説明する。 4) 歯磨剤について説明する。
	準備学習と時間	準備学習: 30分 「口腔衛生学 2026」を読み要点を確認する。	
12月15日	小野 幸絵	齲蝕予防へのフッ化物応用 (2)	1) 齲蝕予防におけるフッ化物の応用方法を説明する。 2) フッ化物の全身的・局所的応用法を説明する。 3) 地域でのフッ化物応用法について述べる。 4) 家庭でのフッ化物応用法について述べる。 5) 診療所でのフッ化物応用法について述べる。
	準備学習と時間	準備学習: 30分 「口腔衛生学 2026」を読み要点を確認する。	
1月12日	高塩 智子	口臭の予防	1) 口臭の予防について説明する。
	準備学習と時間	準備学習: 30分 口臭の種類について調べる。	
1月19日	小野 幸絵	口齲蝕予防へのフッ化物応用 (3)	1) フッ化物の応用方法について説明する。 2) フッ化物の容積・重量・濃度の関係について説明する。 3) フッ化物の全身的応用の算定方法を演習する。 4) フッ化物の局所的応用の算定方法を演習する。
	準備学習と時間	準備学習: 30分 「口腔衛生学 2026」を読み要点を確認する。	
1月26日	小野 幸絵	口腔清掃法 (2) 生活習慣と口腔保健 歯周疾患, その他疾患の予防, まとめ	1) PMTCについて説明する。 2) 口腔疾患のリスクファクターを分類できる。 3) 歯周疾患, 不正咬合, 顎関節症の予防について説明する。
	準備学習と時間	準備学習: 30分 歯科疾患の予防法について調べる。	

# 口腔生化学

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
森田 貴雄	2	後期	金曜日	9:00 ~ 10:20	512 番教室

## 科目の到達目標 (GIO)

生命現象を分子生物学的に説明できる歯科医となるために、遺伝子の発現機構・遺伝性疾患・細胞周期・癌化の機序と、先端医療である再生医療の分子生物学的基盤について理解する。また、歯科医療における基礎知識、および口腔組織と口腔疾患の分子の基盤を説明するために、結合組織 (細胞外マトリックス)、硬組織 (骨・歯)、カルシウム代謝と炎症、齲蝕についての分子メカニズムを理解する。

	著者・編者	書名	版	出版社
教科書	早川太郎, 須田立雄 (監修)	口腔生化学	第 6 版	医歯薬出版
参考書	林 典夫, 廣野治子 (監修)	シンプル生化学	改訂第 7 版	南江堂
	池尾 隆 他 (編)	スタンダード生化学・口腔生化学	第 4 版	学建書院
	金森孝雄	口腔生化学 サイドリーダー	第 6 版	学建書院
	前野正夫, 磯川桂太郎 / 著	はじめの一步の生化学・分子生物学	第 3 版	羊土社

## 学習方略 (重複可)

- 講義     示説     グループ討議 (PBL, TBL を含む)     実習  
 その他 (課題)

## 成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (50%)     論述試験 (40%)     口頭試験 ( %)     レポート (5%)  
 実地試験 ( %)     ポートフォリオ ( %)     シミュレーションテスト ( %)
- 観察記録 ( %)     態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (5%)

## 成績評価方法

到達目標で示した項目についての多選択肢形式 (50%) および記述式 (40%) 筆記試験と、毎回の講義内容の課題プリントの提出 (5%), 授業態度 (5%) により評価を行う。

## オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日:月曜日 時間:16:00 ~ 18:00 (在室時) 場所:生化学教授室 (8号館3階) または生化学研究室 (5号館3階)  
 (事前に連絡があればこの限りではない) 問合せメールアドレス: ga-seika(at)ml.ngt.ndu.ac.jp

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
10月2日	森田 貴雄	遺伝子発現制御と遺伝子工学の基本	1) 遺伝子発現 (転写) の調節機構を説明する。(A-1-3-3) 2) 遺伝性疾患の発生機序を説明する。(A-1-3-4) 3) SNP とゲノムの多様性及び体質との関係を説明する。 4) 遺伝子解析や遺伝子工学技術を説明する。(A-1-3-5)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 事前講義資料をダウンロードし, 口腔生化学第6版 p1-9, 18-19, シンプル生化学第7版 p346-357 を読んで要点を確認する。	
10月9日	森田 貴雄	遺伝子工学技術の応用	1) 遺伝子解析や遺伝子工学技術を説明する。(A-1-3-5) 2) DNA 配列決定を含むゲノム解析技術を説明する。(A-1-3-6) 3) 多能性幹細胞と再生医療への応用について説明する。(A-2-1-5)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 事前講義資料をダウンロードし, 口腔生化学第6版 p16-27, シンプル生化学第7版 p349-350, 356-365 を読んで要点を確認する。	
10月23日	竹澤 晴香	細胞周期と細胞死, 遺伝子変異, がんの生化学	1) 細胞周期と細胞分裂を説明する。(A-1-4-4) 2) 細胞死の種類と基本的機序を説明する。(A-1-4-5) 3) 遺伝性疾患の発生機序を説明する。(A-1-3-4)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 事前講義資料をダウンロードし, 口腔生化学第6版 p29-64, シンプル生化学第7版 p315-320 を読んで要点を確認する。	
11月2日 (月) 1限	森田 貴雄	炎症の生化学	1) 炎症の定義と機序を説明する。(A-5-5-1) 2) 炎症に関与する細胞の種類と機能を説明する。(A-5-5-2) 3) 炎症のケミカルメディエーターとサイトカインの種類と機能を説明する。(A-5-5-1)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 事前講義資料をダウンロードし, 口腔生化学第6版 p307-317 を読んで要点を確認する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
11月6日	森田 貴雄	結合組織の生化学 (1) 線維成分とプロテオグリカン	1) 主な細胞外マトリックス分子の種類、構造及び機能を説明する。(A-1-5-3) 2) 主な細胞外マトリックス分子の合成を説明する。(A-1-5-4) 3) 結合組織の細胞間質 (細胞外マトリックス) を説明する。(A-3-1-2-2)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 事前講義資料をダウンロードし、口腔生化学第6版 p87-111 を読んで要点を確認する。	
11月13日	森田 貴雄	結合組織の生化学 (2) 接着タンパク質とECMの分解	1) 細胞接着の機構を説明する。(A-1-5-1) 2) 接着性タンパク質を説明する。(A-1-5-1) 3) 主な細胞外マトリックス分子の分解を説明する。(A-1-5-4)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 事前講義資料をダウンロードし、口腔生化学第6版 p111-125 を読んで要点を確認する。	
11月20日	森田 貴雄	硬組織の有機成分	1) 硬組織を構成する有機成分の種類と機能を説明する。(A-3-1-2-5)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 事前講義資料をダウンロードし、口腔生化学第6版 p127-151 を読んで要点を確認する。	
11月27日	森田 貴雄	硬組織の無機成分と石灰化	1) 硬組織の石灰化の機序を説明する。(A-3-1-2-5) 2) 石灰化の促進及び抑制因子を説明する。(A-3-1-2-5)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 事前講義資料をダウンロードし、口腔生化学第6版 p155-178 を読んで要点を確認する。	
12月4日	森田 貴雄	硬組織の形成と吸収	1) 骨発生 (軟骨内骨化と膜内骨化)、骨成長及びリモデリングの機序と調節機構を説明する。(A-3-1-2-4) 2) 硬組織形成と吸収に関する細胞及び分子機構を説明する。(A-3-1-2-4)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 事前講義資料をダウンロードし、口腔生化学第6版 p181-203 を読んで要点を確認する。	
12月11日	森田 貴雄	カルシウム代謝	1) カルシウムの恒常性維持機構を説明する。(A-3-1-9-3) 2) カルシウム調節ホルモンの種類、作用及び異常を説明する。(A-3-1-9-2) 3) カルシウム調節ホルモンの細胞内情報伝達機構を説明する。(A-1-5-2)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 事前講義資料をダウンロードし、口腔生化学第6版 p205-228 を読んで要点を確認する。	
12月18日	竹澤 晴香	口腔に関係する全身疾患の生化学	1) 口腔・顎顔面領域に症状を現す全身疾患と遺伝子変異との関連を説明する。(D-2-4-1, A-5-1-1, A-1-3-4, A-1-2-6) 2) 口腔・顎顔面領域に症状を現す疾患の分子機序を説明する。(D-3-1-1-1)
	準備学習と時間	準備時間: 30分 事前講義資料をダウンロードし、要点を確認する。	
1月15日	森田 貴雄	歯と歯周組織の疾患 (1) ペリクルとプラーク・う蝕・口臭	1) 齶蝕における糖質の関与を説明する。(D-3-2-1, A-1-2-2) 2) 齶蝕に対する唾液の関与を説明する。(A-3-3-6) 3) 口臭とアミノ酸代謝の関連性を説明する。(A-1-2-1)
	準備学習と時間	準備時間: 30分 事前講義資料をダウンロードし、口腔生化学第6版 p250-291 を読んで要点を確認する。	
1月22日	森田 貴雄	歯と歯周組織の疾患 (2) 歯肉組織破壊と歯槽骨吸収	1) 歯周組織破壊の分子機序を説明する。(D-3-2-3, A-1-5-4, A-1-2-1) 2) 歯槽骨吸収の分子機序を説明する。(D-3-2-3, A-3-1-2-4)
	準備学習と時間	準備時間: 30分 事前講義資料をダウンロードし、口腔生化学第6版 p323-339 を読んで要点を確認する。	
1月29日	森田 貴雄	復習と総括	口腔生化学の講義で学習した内容を復習する。
	準備学習と時間	準備時間: 30分 事前講義資料や講義後資料、口腔生化学第6版の該当箇所を読んで要点を確認する。	

# 解剖学

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
鳥海 拓	2	後期	月曜日	9:00～10:20	512 番教室

## 科目の到達目標 (GIO)

歯科医師として必須である人体の形態と構造を理解するために、各器官系別に基本的な解剖学的知識を修得する。

	著者・編者	書名	版	出版社
教科書	前田健康ら(編) 平田幸男 訳	口腔解剖学 解剖学アトラス	第3版 原著第10版	医歯薬出版 文光堂
参考書	山田英智 監訳	図解 解剖学辞典	第3版	医歯薬出版

## 学習方略 (重複可)

- 講義     示説     グループ討議 (PBL, TBL を含む)     実習  
 その他 ( )

## 成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (70%)     論述試験 ( %)     口頭試験 ( %)     レポート ( %)
- 実地試験 ( %)     ポートフォリオ ( %)     シミュレーションテスト ( %)
- 観察記録 ( %)     態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (30%)

## 成績評価方法

行動目標で示した項目について、多選択形式の定期試験 (70%)、復習小テスト (※) (筆記) を含めた授業に対する関心・意欲・態度を総合的に判断した平常点 (30%) で評価を行う。

※ 10月5日から1月25日の講義冒頭を実施する。

範囲は前の回の講義内容である。例) 10月5日実施の復習テストは9月28日の講義内容に関するものを問う。

## オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日：水曜日 時間：16:30-17:30 場所：解剖学第1講座教授室 (鳥海4号館3階)  
事前の予約は必要なく、自由に来室可。

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
9月28日	鳥海 拓	脈管学 (1) 体幹・上下肢の動脈	1) 体幹と四肢の主要な動脈を説明する。(A-3-1-4-2)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 口腔解剖学 p46-50 を読み、要点を確認する。	
10月5日	鳥海 拓	脈管学 (2) 頭頸部の動脈	1) 主要な動脈を説明する。(A-3-1-4-2) 2) 頭頸部の動脈系を説明する。(A-3-2-5)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 口腔解剖学 p155-161 を読み、要点を確認する。	
10月16日 (金)	鳥海 拓	脈管学 (3) 体幹・上下肢の静脈	1) 体幹と四肢の主要な静脈を説明する。(A-3-1-4-2)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 口腔解剖学 p50-52 (胎児循環は除く) を読み、要点を確認する。	
10月19日	鳥海 拓	脈管学 (4) 頭頸部の静脈・リンパ	1) 主要な静脈を説明する。(A-3-1-4-2) 2) 頭頸部の静脈系を説明する。(A-3-2-5) 3) リンパ性器官の構造とリンパ系を説明する。 (A-3-1-4-6, A-3-2-5)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 口腔解剖学 p60-65, p161-169 を読み、要点を確認する。	
10月26日	鳥海 拓	内臓学総論	1) 内臓, 器官と器官系を説明する。(A-3-1-7-1) 2) 漿膜と外膜, 体腔, 間膜の構造を説明する。(A-3-1-7-1) 3) 内臓の発生 (特に消化管) を説明する。(A-2-1-4)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 口腔解剖学 p97-105 を読み、要点を確認する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
10月30日(金)1限	春原 正隆 (生命歯学部)	口腔機能の理解に必要な解剖学的基礎知識	1) 内臓, 器官と器官系を説明する。(A-3-1-7-1) 2) 口腔の区分と構造を説明する。(A-3-3-1) 3) 口蓋の筋と支配神経を説明する。(A-3-2-4, A-3-3-4) 4) 舌の構造と神経支配を説明する。(A-3-3-3) 5) 頸部の筋の起始, 停止, 作用, 神経支配を説明する。 (A-3-1-3-3, A-3-2-3) 6) 咽頭と喉頭の構造を説明する。 (A-3-2-12, A-3-2-13, A-3-2-14, A-3-2-15)
	11月2日(月)1限と入替	準備学習と時間	準備学習: 30分 口腔解剖学 p208-230 を読み, 要点を確認する。
11月9日	鳥海 拓	呼吸器 (1)	1) 鼻腔, 副鼻腔, 喉頭の構造と機能を説明する。(A-3-1-8-1)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 口腔解剖学 p227-233 を読み, 要点を確認する。	
11月16日	鳥海 拓	呼吸器 (2)	1) 気管, 気管支と肺の構造と機能を説明する。(A-3-1-8-1) 2) 呼吸運動を説明する。(A-3-1-8-1)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 口腔解剖学 p233-234, 解剖学アトラス p278-284 を読み, 要点を確認する。	
11月25日(水)	河上 淳一	消化管 (1)	1) 咽頭, 食道, 胃の構造と機能を説明する。(A-3-1-7-1)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 口腔解剖学 p208-217, 223-226, 解剖学アトラス p304-306, 311-313 を読み, 要点を確認する。	
11月30日	河上 淳一	消化管 (2)	1) 小腸と大腸の構造と機能を説明する。(A-3-1-7-1)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 解剖学アトラス p314-321 を読み, 要点を確認する。	
12月7日	河上 淳一	消化腺	1) 肝臓の構造と機能および胆汁の分泌を説明する。(A-3-1-7-2) 2) 膵臓(外分泌部と内分泌部)の構造と機能を説明する。(A-3-1-7-2)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 解剖学アトラス p322-329 を読み, 要点を確認する。	
12月14日	河上 淳一	内分泌器	1) 外分泌腺と内分泌腺の構造と機能を説明する。 (A-3-1-1-3, A-3-1-9-1, A-3-1-9-3) 2) 下垂体, 甲状腺, 上皮小体, 膵島と副腎の構造と分泌するホルモンを説明する。(A-3-1-9-2)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 口腔解剖学 p234-239, 解剖学アトラス p383-398 を読み, 要点を確認する。	
1月18日	河上 淳一	泌尿器	1) 腎臓の構造と機能を説明する。(A-3-1-10-1) 2) 尿管・膀胱・尿道の構造と機能を説明する。(A-3-1-10-1)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 解剖学アトラス p330-337, 345 を読み, 要点を確認する。	
1月25日	河上 淳一	生殖器	1) 男性生殖器の構造と機能を説明する。(A-3-1-11-1) 2) 女性生殖器の構造と機能を説明する。(A-3-1-11-1)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 解剖学アトラス p338-358, 400-401 を読み, 要点を確認する。	

# 解剖学実習

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
鳥海 拓	2	後期	木曜日 金曜日	13:00～17:40	新潟病院地下 解剖学実習室

## 科目の到達目標 (GIO)

人体の形態形成を理解するために、人体の正常な形態と構造を詳細に観察して解剖学的知識を体系化するとともに、医療従事者として必要な医の倫理を身につけるために、生命の尊厳を尊重し、献体者およびそのご家族への感謝の気持ちを醸成する。

	著者・編者	書名	版	出版社
教科書	解剖学第1講座編	解剖学実習書 (日本歯科大学)	2026年	日本歯科大学
参考書	平田幸男 監訳 山田英智 監訳	解剖学アトラス 図解 解剖学辞典	原著第10版 第3版	文光堂 医歯薬出版

## 学習方略 (重複可)

- 講義     示説     グループ討議 (PBL, TBL を含む)     実習  
 その他 (精密スケッチ)

## 成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (35%)     論述試験 ( %)     口頭試験 (15%)     レポート (25%)  
 実地試験 ( %)     ポートフォリオ ( %)     シミュレーションテスト ( %)
- 観察記録 (15%)     態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (15%)

## 成績評価方法

一般目標で示した項目についての観察記録・実習感想文の提出 (15%), 精密スケッチ (20%), 多選択肢形式筆記試験 (35%), 口頭試問 (15%), および実習に対する関心・意欲・態度・予習・出席状況 (15%) により評価を行う。

体調不良等でやむを得ず欠席する場合は、必ず教務部へ事前に連絡すること。無断欠席は一切認めない。なお、1/3以上の欠席、感想文の未提出、または納棺に参加しない者に対する評価はできない。

## オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日：水曜日 時間：16:30-17:30 場所：解剖学第1講座教授室 (鳥海 4号館3階301)  
事前の予約は必要なく、自由に来室可。

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
10月1日	鳥海 拓 河上 淳一 小島 龍平 影山 幾男 非常勤講師	オリエンテーション 背面 (1) 背面の皮切, 皮剥ぎ  <3限は512番教室に集合>	1) 献体および死体解剖保存法を理解する。(C-1-1, C-1-2) 2) ご遺族の気持ちに寄り添う。(C-1-1, C-1-2) 3) 皮膚と粘膜の基本構造と機能を説明する。(A-3-1-1-2)
		準備学習: 45分 解剖学実習書 ページ i-x vi および p1-3 を読み、要点を確認する。	
10月2日		背面 (2) 背面浅層の剖出 口頭試問	1) 皮膚と粘膜の基本構造と機能を説明する。(A-3-1-1-2) 2) 主な動脈と静脈を説明する。(A-3-1-4-2) 3) 末梢神経系の走行および支配領域を説明する。(A-3-1-5-1)
		準備学習: 45分 解剖学実習書 p1-8 を精読し要点を理解する。わからない箇所は自ら調べて実習書に記入するとともに図の穴埋めをする。	
10月8日		背面 (3) 背面中層の剖出	1) 骨格筋の構造, 作用および神経支配を説明する。(A-3-1-3-3) 2) 主な動脈と静脈を説明する。(A-3-1-4-2) 3) 末梢神経系の走行および支配領域を説明する。(A-3-1-5-1)
		準備学習: 45分 解剖学実習書 p9-16 を精読し要点を理解する。わからない箇所は自ら調べて実習書に記入するとともに図の穴埋めをする。	
10月9日		背面 (4) 背面中層の剖出 口頭試問	1) 骨格筋の構造, 作用および神経支配を説明する。(A-3-1-3-3) 2) 主な動脈と静脈を説明する。(A-3-1-4-2) 3) 末梢神経系の走行および支配領域を説明する。(A-3-1-5-1)
		準備学習: 45分 解剖学実習書 p9-16 を精読し要点を理解する。わからない箇所は自ら調べて実習書に記入する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
10月22日	鳥海 拓 河上 淳一 小島 龍平 影山 幾男 非常勤講師	背面 (5) 背面深層の剖出  口頭試問	1) 骨格筋の構造, 作用および神経支配を説明する。(A-3-1-3-3) 2) 主な動脈と静脈を説明する。(A-3-1-4-2) 3) 末梢神経系の走行および支配領域を説明する。(A-3-1-5-1)
		準備学習: 45分 解剖学実習書 p17-21 を精読し要点を理解する。わからない箇所は自ら調べて実習書に記入するとともに図の穴埋めをする。	
10月23日		井出吉信先生 (東京歯科大学理事長) 特別講義 (予定)  前面 (11) 内頭蓋底	1) 脳神経の走行および支配領域を説明する。(A-3-1-5-1) 2) 主な動脈と静脈を説明する。(A-3-1-4-2) 3) 内頭蓋底の構造を説明する。(A-3-1-5-4)
		準備学習: 45分 解剖学実習書 p82-84 を精読し, 要点を理解する。わからない箇所は自ら調べて実習書に記入する。	
10月29日		背面 (6) 背面深層の剖出	1) 骨格筋の構造, 作用および神経支配を説明する。(A-3-1-3-3) 2) 主な動脈と静脈を説明する。(A-3-1-4-2) 3) 末梢神経系の走行および支配領域を説明する。(A-3-1-5-1)
		準備学習: 45分 解剖学実習書 p22-40 を精読し要点を理解する。わからない箇所は自ら調べて実習書に記入するとともに図の穴埋めをする。	
10月30日		前面 (1) 前面の皮切, 皮剥ぎ  口頭試問	1) 皮膚と粘膜の基本構造と機能を説明する。(A-3-1-1-2) 2) 骨格筋の構造, 作用および神経支配を説明する。(A-3-1-3-3) 3) 主な動脈と静脈を説明する。(A-3-1-4-2) 4) 末梢神経系の走行および支配領域を説明する。(A-3-1-5-1)
		準備学習: 45分 解剖学実習書 p22-40 を精読し要点を理解する。わからない箇所は自ら調べて実習書に記入する。	
11月5日	前面 (2) 広頭筋と脊髄神経前枝  口頭試問	1) 骨格筋の構造, 作用および神経支配を説明する。(A-3-1-3-3) 2) 主な動脈と静脈を説明する。(A-3-1-4-2) 3) 末梢神経系の走行および支配領域を説明する。(A-3-1-5-1)	
	準備学習: 45分 解剖学実習書 p41-44 を精読し要点を理解する。わからない箇所は自ら調べて実習書に記入するとともに図の穴埋めをする。		
11月6日	前面 (3) 胸鎖乳突筋の切断, 反転  口頭試問	1) 骨格筋の構造, 作用および神経支配を説明する。(A-3-1-3-3) 2) 主な動脈と静脈を説明する。(A-3-1-4-2) 3) 末梢神経系の走行および支配領域を説明する。(A-3-1-5-1)	
	準備学習: 45分 解剖学実習書 p45-56 を精読し要点を理解する。わからない箇所は自ら調べて実習書に記入するとともに図の穴埋めをする。		
11月12日	前面 (4) 鎖骨抜きと頸動脈鞘	1) 骨格筋の構造, 作用および神経支配を説明する。(A-3-1-3-3) 2) 主な動脈と静脈を説明する。(A-3-1-4-2) 3) 末梢神経系の走行および支配領域を説明する。(A-3-1-5-1)	
	準備学習: 45分 解剖学実習書 p52-62 を精読し要点を理解する。わからない箇所は自ら調べて実習書に記入するとともに図の穴埋めをする。		
11月13日	前面 (5) 頸神経叢と腕神経叢  口頭試問	1) 骨格筋の構造, 作用および神経支配を説明する。(A-3-1-3-3) 2) 主な動脈と静脈を説明する。(A-3-1-4-2) 3) 末梢神経系の走行および支配領域を説明する。(A-3-1-5-1)	
	準備学習: 45分 解剖学実習書 p52-62 を精読し要点を理解する。わからない箇所は自ら調べて実習書に記入する。		
11月19日	前面 (6) 外腹斜筋, 内腹斜筋, 大腿の剖出	1) 骨格筋の構造, 作用および神経支配を説明する。(A-3-1-3-3) 2) 主な動脈と静脈を説明する。(A-3-1-4-2) 3) 末梢神経系の走行および支配領域を説明する。(A-3-1-5-1)	
	準備学習: 45分 解剖学実習書 p63-70 を精読し, 要点を理解する。わからない箇所は自ら調べて実習書に記入するとともに図の穴埋めをする。		

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
11月20日	鳥海 拓 河上 淳一 小島 龍平 影山 幾男 非常勤講師	前面 (7) 腹直筋鞘, 深胸筋, 肋骨・胸骨抜き  口頭試問	1) 骨格筋の構造, 作用および神経支配を説明する。(A-3-1-3-3) 2) 主な動脈と静脈を説明する。(A-3-1-4-2) 3) 末梢神経系の走行および支配領域を説明する。(A-3-1-5-1)
		準備学習: 45分 解剖学実習書 p63-70 を精読し, 要点を理解する。わからない箇所は自ら調べて実習書に記入する。	
11月26日		前面 (8) 表情筋と顔面の脈管・神経  口頭試問	1) 皮膚と粘膜の基本構造と機能を説明する。(A-3-1-1-2) 2) 骨格筋の構造, 作用および神経支配を説明する。(A-3-1-3-3) 3) 主な動脈と静脈を説明する。(A-3-1-4-2) 4) 末梢神経系の走行および支配領域を説明する。(A-3-1-5-1)
		準備学習: 45分 解剖学実習書 p71-78 を精読し, 要点を理解する。わからない箇所は自ら調べて実習書に記入するとともに図の穴埋めをする。	
11月27日		前面 (9) 顔面神経と縦隔, 胸膜・心 膜  口頭試問	1) 骨格筋の構造, 作用および神経支配を説明する。(A-3-1-3-3) 2) 主な動脈と静脈を説明する。(A-3-1-4-2) 3) 末梢神経系の走行および支配領域を説明する。(A-3-1-5-1)
		準備学習: 45分 解剖学実習書 p71-78 を精読し, 要点を理解する。わからない箇所は自ら調べて実習書に記入する。	
12月3日		前面 (10) 顔面神経・顎下三角  口頭試問	1) 脳神経の走行および支配領域を説明する。(A-3-1-5-1) 2) 主な動脈と静脈を説明する。(A-3-1-4-2)
		準備学習: 45分 解剖学実習書 p79-84 を精読し, 要点を理解する。わからない箇所は自ら調べて実習書に記入するとともに図の穴埋めをする。	
12月4日	前面 (12) 胸部内臓摘出  口頭試問	1) 肺と心臓の構造を説明する。 (A-3-1-4-1, A-3-1-8-1, A-3-1-8-2) 2) 骨格筋の構造, 作用および神経支配を説明する。(A-3-1-3-3) 3) 主な動脈と静脈を説明する。(A-3-1-4-2) 4) 末梢神経系の走行および支配領域を説明する。(A-3-1-5-1)	
	準備学習: 45分 解剖学実習書 p85-92 を精読し, 要点を理解する。わからない箇所は自ら調べて実習書に記入するとともに図の穴埋めをする。		
12月10日	前面 (13) 頭部離断  口頭試問	1) 骨格筋の構造, 作用および神経支配を説明する。(A-3-1-3-3) 2) 主な動脈と静脈を説明する。(A-3-1-4-2) 3) 末梢神経系の走行および支配領域を説明する。(A-3-1-5-1)	
	準備学習: 45分 解剖学実習書 p85-92 を精読し, 要点を理解する。わからない箇所は自ら調べて実習書に記入する。		
12月11日	前面 (14) 咽頭・喉頭, 肺  口頭試問	1) 咽頭, 喉頭および肺の構造を説明する。 (A-3-2-12, A-3-2-13, A-3-2-14, A-3-2-15, A-3-1-8-2) 2) 骨格筋の構造, 作用および神経支配を説明する。(A-3-1-3-3) 3) 主な動脈と静脈を説明する。(A-3-1-4-2) 4) 末梢神経系の走行および支配領域を説明する。(A-3-1-5-1)	
	準備学習: 45分 解剖学実習書 p93-105 を精読し, 要点を理解する。わからない箇所は自ら調べて実習書に記入するとともに図の穴埋めをする。		
12月17日	前面 (15) 頭部正中断, 心臓  口頭試問	1) 舌, 軟口蓋の構造および心臓の構造を説明する。 (A-3-3-3, A-3-3-4) 2) 骨格筋の構造, 作用および神経支配を説明する。(A-3-1-3-3) 3) 主な動脈と静脈を説明する。(A-3-1-4-2) 4) 末梢神経系の走行および支配領域を説明する。(A-3-1-5-1)	
	準備学習: 45分 解剖学実習書 p93-105 を精読し, 要点を理解する。わからない箇所は自ら調べて実習書に記入する。		

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
12月18日	鳥海 拓 河上 淳一 小島 龍平 影山 幾男 非常勤講師	前面 (16) 咀嚼筋, 腹部内臓  口頭試問	1) 骨格筋の構造, 作用および神経支配を説明する。(A-3-1-3-3) 2) 消化管の構造を説明する。(A-3-1-7-1) 3) 主な動脈と静脈を説明する。(A-3-1-4-2) 4) 末梢神経系の走行および支配領域を説明する。(A-3-1-5-1)
		準備学習: 45分 解剖学実習書 p106-124 を精読し, 要点を理解する。わからない箇所は自ら調べて実習書に記入するとともに図の穴埋めをする。	
1月14日		前面 (17) 下顎管, 顎動脈, 下顎神経, 肝臓  口頭試問 実習感想文提出	1) 骨格筋の構造, 作用および神経支配を説明する。(A-3-1-3-3) 2) 主な動脈と静脈を説明する。(A-3-1-4-2) 3) 末梢神経系の走行および支配領域を説明する。(A-3-1-5-1) 4) 肝臓, 胆嚢および膵臓の構造を説明する。(A-3-1-7-2)
		準備学習: 45分 解剖学実習書 p106-124 を精読し, 要点を理解する。わからない箇所は自ら調べて実習書に記入する。	
1月15日		前面 (18) 腹腔動脈, 門脈  口頭試問	1) 骨格筋の構造, 作用および神経支配を説明する。(A-3-1-3-3) 2) 主な動脈と静脈を説明する。(A-3-1-4-2) 3) 末梢神経系の走行および支配領域を説明する。(A-3-1-5-1)
		準備学習: 45分 解剖学実習書 p125-136 を精読し, 要点を理解する。わからない箇所は自ら調べて実習書に記入するとともに図の穴埋めをする。	
1月21日	前面 (19) 鼻腔, 消化管, 腸管の一括 摘出  口頭試問	1) 消化管および消化腺の構造を説明する。(A-3-1-7-1, A-3-1-7-2) 2) 鼻腔・副鼻腔の構造を説明する。(A-3-3-8) 3) 骨格筋の構造, 作用および神経支配を説明する。(A-3-1-3-3) 4) 主な動脈と静脈を説明する。(A-3-1-4-2) 5) 末梢神経系の走行および支配領域を説明する。(A-3-1-5-1)	
	準備学習: 45分 解剖学実習書 p125-136 を精読し, 要点を理解する。わからない箇所は自ら調べて実習書に記入する。		
1月22日	前面 (20・21・22) 翼口蓋神経節, 耳神経節, 舌の構造, 眼窩, 上顎洞, 鼓索神経の剖出, 腹膜後器 官の剖出 (腎臓, 副腎), 骨 盤内臓  口頭試問	1) 末梢神経系の走行および支配領域を説明する。(A-3-1-5-1) 2) 舌の構造を説明する。(A-3-3-3) 3) 視覚器構造と機能を説明する。(A-3-1-6-1) 4) 上顎洞の構造を説明する。(A-3-3-8) 5) 腎・尿路系, 副腎の構造を説明する。(A-3-1-10-1, A-3-1-9-1) 6) 男女の生殖器の構造を説明する。(A-3-1-11-1)	
	準備学習: 45分 解剖学実習書 p137-150 を精読し, 要点を理解する。わからない箇所は自ら調べて実習書に記入するとともに図の穴埋めをする。		
1月28日	最終実習試験 ※詳細は別途指示する。	最終実習試験の準備および受験を通して, 人体解剖学を総括する。	
	準備学習: 60分 解剖学実習書の全頁の内容から要点を確認し, 最終試験に向けて準備する。		
1月29日	納棺	1) ご本人とご遺族の気持ちに寄り添う。(C-1-1, C-1-2) 2) 献体制度および死体解剖保存法を再確認する。(C-1-1, C-1-2)	
	準備学習: 60分 最終実習試験の復習をする。そして, 解剖学実習における自らの学修状況と態度を振り返り, 「歯科医師になる」という気持ちを明確にする。		

# 口腔組織学

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
辻村 麻衣子	2	後期	木曜日	9:00 ~ 10:20	512 番教室

## 科目の到達目標 (GIO)

臨床歯科医学を理解するために、口腔の発生と組織構造の基礎的知識を修得する。

	著者・編者	書名	版	出版社
教科書	前田健康・網塚憲生・中村浩彰 編	口腔組織・発生学	第3版	医歯薬出版
参考書	田畑 純 著	口腔の発生と組織	第4版	南山堂
	牛木辰夫 著	入門組織学	改訂第2版	南江堂
	Antonio Nanci 編著 (川崎堅三 監訳)	Ten Cate 口腔組織学	原著第6版	医歯薬出版

## 学習方略 (重複可)

- 講義     示説     グループ討議 (PBL, TBL を含む)     実習  
 その他 (                      )

## 成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (90%)     論述試験 (   %)     口頭試験 (   %)     レポート (   %)  
 実地試験 (   %)     ポートフォリオ (   %)     シミュレーションテスト (   %)  
 観察記録 (   %)     態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (10%)

## 成績評価方法

到達目標の達成度をはかるための試験 (多肢選択式) (90%) と、平常点 (授業参加状況や講義時に行うソクラテステストなどにより総合的に授業に対する態度を判断) (10%) により評価を行う。

## オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日: 木曜日 時間帯: 16:00 ~ 17:00 場所: 解剖学第2講座教授室 (8号館3階)  
事前にメールで要予約

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
10月1日	辻村麻衣子	歯と歯周組織の発生①	1) 歯の定義を説明する。(A-3-4-4) 2) 歯と歯周組織の構造を説明する。(A-3-4-4, A-3-4-5, A-3-4-7) 3) 歯の初期発生を説明する。(A-2-4-1, A-3-4-1)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p4-6 (第1章IIIII), p12, 13 (第2章I3) 及び p22-24 (第2章II1-4) を読み, 要点を確認する。	
10月8日	辻村麻衣子	歯と歯周組織の発生②	1) 歯冠形成を説明する。(A-3-4-1) 2) エナメル質と象牙質の形成を説明する。(A-3-4-1) 3) エナメル質と象牙質の石灰化を説明する。(A-3-1-2-5, A-3-4-1)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p25-39 (第2章II5-IV) を読み, 要点を確認する。	
10月22日	辻村麻衣子	歯と歯周組織の発生③	1) 歯根形成を説明する。(A-3-4-1) 2) 歯周組織の形成を説明する。(A-3-4-1) 3) 歯の萌出過程を説明する。(A-3-4-1) 4) 歯の交換の過程を説明する。(A-3-4-1)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p39-44 (第2章V), p159-166 (第7章I-V) を読み, 要点を確認する。	
10月29日	辻村麻衣子	エナメル質①	1) エナメル質の組成を説明する。(A-3-1-2-5, A-3-4-4) 2) エナメル質形成を説明する。(A-3-4-1) 3) エナメル芽細胞の特徴を説明する。(A-3-1-2-5, A-3-4-1)
	準備学習と時間	準備学習: 20分 教科書 p6-9 (第1章V), p50-51 (第3章I) を読み, 要点を確認する。	
11月5日	辻村麻衣子	エナメル質②	1) エナメル小柱を説明する。(A-3-4-4) 2) エナメル質の組織構造を説明する。(A-3-4-4) 3) エナメル質の成長線を説明する。(A-3-4-4) 4) エナメル質の加齢変化を説明する。(A-2-4-8, A-3-4-4)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p51-61 (第3章II) を読み, 要点を確認する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
11月12日	辻村麻衣子	象牙質①	1) 象牙質の組成を説明する。(A-3-1-2-5, A-3-4-4) 2) 象牙芽細胞の特徴を説明する。(A-3-4-4, A-3-4-5) 3) 象牙質の成長線を説明する。(A-3-4-4) 4) 象牙質の石灰化の機序を説明する。(A-3-1-2-5, A-3-4-1)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p62-70 (第4章I II 1-12), p73 (第4章III 2) を読み, 要点を確認する。	
11月19日	辻村麻衣子	象牙質②	1) 象牙質の組織構造を説明する。(A-3-4-4) 2) 象牙質を分類する。(A-3-4-4) 3) 象牙質の加齢変化を説明する。(A-2-4-8, A-3-4-4) 4) 象牙質と歯髄の関係を説明する。(A-3-4-4, A-3-4-5)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p64-72 (第4章I II 3-14) を読み, 要点を確認する。	
11月26日	辻村麻衣子	歯髄	1) 歯髄の組織構造を説明する。(A-3-4-5) 2) 歯髄の機能を説明する。(A-3-4-5) 3) 歯髄の加齢変化を説明する。(A-2-4-8)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p72-76 (第4章III), p122-133 (第6章I II) を読み, 要点を確認する。	
11月30日(月) 4限	菊池憲一郎 (生命歯学部) 12月3日(木) 1限と入替	歯根膜	1) 歯周組織の発生を説明する。(A-3-4-1) 2) 歯根膜の機能を説明する。(A-3-4-7) 3) 歯根膜の細胞と線維を説明する。(A-3-4-7) 4) 歯根膜の血管と神経を説明する。(A-3-4-7)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p6 (第1章IV), p93-101 (第5章III), p133-135 (第6章III 1, 2) 及び p144, 147 (第6章V 1-3), V 2-2) を読み, 要点を確認する。	
12月10日	辻村麻衣子	セメント質	1) セメント質の組織構造を説明する。 (A-3-1-2-5, A-3-4-4, A-3-4-7) 2) セメント芽細胞とセメント細胞の特徴を説明する。(A-3-4-7) 3) セメント質の線維を説明する。(A-3-4-7) 4) セメント質の加齢変化を説明する。(A-2-4-8)
	準備学習と時間	準備学習: 20分 教科書 p88-92 (第5章II) を読み, 要点を確認する。	
12月17日	辻村麻衣子	歯槽骨	1) 歯槽骨の組織構造を説明する。(A-3-1-2-5, A-3-4-7) 2) 骨を構成する細胞を説明する。(A-3-1-2-3) 3) 骨発生と骨リモデリングを説明する。(A-3-1-2-4)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p101-107 (第5章IV) と p221-233 (第10章I) を読み, 要点を確認する。	
1月14日	辻村麻衣子	歯肉	1) 歯肉の組織構造を説明する。(A-3-4-7) 2) 歯肉の上皮を列挙し、比較する。(A-3-4-7) 3) 歯肉の血管と神経を説明する。(A-3-4-7)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p107-108 (第5章V) と p140-143 (第6章IV, V 1-2), V 2-3) を読み, 要点を確認する。	
1月21日	辻村麻衣子	口腔粘膜	1) 消化管の粘膜の組織構造を説明する。(A-3-1-1-1, A-3-1-7-1) 2) 口腔粘膜の組織構造を説明する。 (A-3-1-1-1, A-3-1-1-2, A-3-3-2) 3) 口腔粘膜を分類する。(A-3-3-2) 4) 口腔粘膜と口腔周囲の粘膜の特徴を説明する。 (A-3-3-2, A-3-3-4, A-3-3-8)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p186 (第9章I 1) と p187-191 (第9章II) を読み, 要点を確認する。	
1月28日	辻村麻衣子	舌	1) 舌の組織構造を説明する。(A-3-3-3) 2) 舌乳頭を説明する。(A-3-3-2, A-3-3-3) 3) 味蕾を説明する。(A-3-3-2, A-3-3-3) 4) 舌腺を説明する。(A-3-3-3, A-3-3-7) 5) 舌扁桃を説明する。(A-3-2-16, A-3-3-3)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p186 (第9章I 3), p201-207 (第9章IV) 及び p208-209 (第9章V 4) を読み, 要点を確認する。	



授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
10月27日	那須 輝顕	循環器系 (2) 刺激伝導系と心電図	1) 刺激伝導系について説明する。(A-3-1-4-1) 2) 心電図波形の形成メカニズムと標準12誘導法について説明する。(A-3-1-4-1)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p81-83 を読解し, 学ぶ内容を確認する。	
11月10日	那須 輝顕	循環器系 (3) 末梢循環と血行力学	1) 血行力学の基礎について説明する。(A-3-1-4-3) 2) 血圧測定法の原理について説明する。(A-3-1-4-3)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p83-94 を読解し, 学ぶ内容を確認する。	
11月17日	那須 輝顕	循環器系 (4) 循環調節機構	1) 筋ポンプ・呼吸ポンプについて説明する。(A-3-1-4-4) 2) 循環器系における調節機構 (神経性・液性) について説明する。(A-3-1-4-4)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p94-102 を読解し, 学ぶ内容を確認する。	
11月24日	那須 輝顕	腎泌尿器系 (1) 腎臓の構造と尿生成機構	1) 腎泌尿器系の構造と機能を説明する。(A-3-1-10-1) 2) 尿生成機構 (糸球体ろ過・再吸収・尿濃縮) を説明する。(A-3-1-10-1)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p51-52, 59-64 を読解し, 学ぶ内容を確認する。	
12月1日	那須 輝顕	腎泌尿器系 (2) 体液恒常性の調節と膀胱の構造と機能	1) 体液 (水分量・電解質濃度・浸透圧, pH) の調節機構を説明する。(A-3-1-10-2) (A-3-1-10-3) 2) 排尿の調節機構について説明する。(A-3-1-10-1)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p64-75 を読解し, 学ぶ内容を確認する。	
12月8日	那須 輝顕	呼吸器系 (1) 呼吸器と換気運動	1) 気道系の構造と機能を説明する。(A-3-1-8-1) 2) 換気運動と換気力学について説明する。(A-3-1-8-1) 3) 肺機能検査と換気障害の分類を説明する。(A-3-1-8-1)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p103-110 を読解し, 学ぶ内容の概要を確認する。	
12月15日	佐伯 周子 (交換講義)	呼吸器系 (2) ガス交換と呼吸の調節	1) ガス交換・ガス運搬と呼吸運動の調節機構を説明する。(A-3-1-8-2)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p110-121 を読解し, 学ぶ内容を確認する。	
1月12日	那須 輝顕	消化器系 (1) 消化器系の構造 胃・小腸での消化・吸収	1) 胃の消化機能及び調節機構を説明する。(A-3-1-7-1) 2) 小腸の機能及び調節機構を説明する。(A-3-1-7-1)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p157-173 を読解し, 学ぶ内容を確認する。	
1月19日	那須 輝顕	消化器系 (2) 大腸での消化吸収 肝・胆・膵の構造と機能	1) 大腸の消化機能及び調節機構を説明する。(A-3-1-7-1) 2) 肝・胆・膵の構造と機能について説明する。(A-3-1-7-2)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p173-179 を読解し, 学ぶ内容を確認する。	
1月26日	那須 輝顕	生殖器系	1) 男性生殖器と女性生殖器の構造と機能を説明する。(A-3-1-11-1) 2) 生理機能における性差を知る。(A-3-1-11-1)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p151-156 を読解し, 学ぶ内容を確認する。	

# 感染微生物学

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
三上 正人	2	後期	金曜日	10:40 ~ 12:00	512 番教室

## 科目の到達目標 (GIO)

感染症に対応できる歯科医師となるために、微生物の種類と特性、感染症の概念とその予防・対処方法を理解する。

著者・編者	書名	版	出版社
教科書 小熊恵二他	シンプル微生物学	改訂第6版	南江堂
参考書 石原和幸他	口腔微生物学	第8版	学建書院

## 学習方略 (重複可)

- 講義     示説     グループ討議 (PBL, TBL を含む)     実習  
 その他 (                      )

## 成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (80%)     論述試験 (   %)     口頭試験 (   %)     レポート (   %)  
 実地試験 (   %)     ポートフォリオ (   %)     シミュレーションテスト (   %)  
 観察記録 (   %)     態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (20%)

## 成績評価方法

一般目標で示した項目についての多選択肢形式, 空所補充形式の筆記試験 (80%) と, 毎回の講義の際の小テストを含めた授業に対する関心・意欲・態度 (20%) により評価を行う。

## オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日: 金曜日 時間: 17:00 ~ 18:00 場所: 微生物学実習室 (4号館2階)  
 ※事前にメールで要予約 (メールアドレスは授業中に提示する。)

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
10月2日	三上 正人	ウイルス学総論 (3) ウイルス感染症の伝播経路, 予防及び治療	1) ウイルスの伝播経路を説明する。(C-4-1)-②) 2) ウイルス感染症の予防法を説明する。(C-4-1)-③) 3) ウイルス感染症の治療法を説明する。(C-4-1)-③)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 シンプル微生物学 p265-280 を読み, 要点を確認する。	
10月9日	三上 正人	ウイルス学各論 (1) DNA ウイルス	1) ウイルスの性状を説明する。(A-4-1-1) 2) ウイルス感染症の発症機序を説明する。(A-4-1-2) 3) ウイルス感染症の診断, 治療, 予防法を説明する。A-4-1-3)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 シンプル微生物学 p281-295 を読み, 要点を確認する。	
10月23日	三上 正人	ウイルス学各論 (2) RNA ウイルス 1	1) ウイルスの性状を説明する。(A-4-1-1) 2) ウイルス感染症の発症機序を説明する。(A-4-1-2) 3) ウイルス感染症の診断, 治療, 予防法を説明する。A-4-1-3)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 シンプル微生物学 p296-307 を読み, 要点を確認する。	
10月30日	三上 正人	ウイルス学各論 (3) RNA ウイルス 2	1) ウイルスの性状を説明する。(A-4-1-1) 2) ウイルス感染症の発症機序を説明する。(A-4-1-2) 3) ウイルス感染症の診断, 治療, 予防法を説明する。(A-4-1-3)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 シンプル微生物学 p308-326 を読み, 要点を確認する。	
11月6日	三上 正人	ウイルス学各論 (4) RNA ウイルス 3, 肝炎ウイルス	1) ウイルスの性状を説明する。(A-4-1-1) 2) ウイルス感染症の発症機序を説明する。(A-4-1-2) 3) ウイルス感染症の診断, 治療, 予防法を説明する。(A-4-1-3)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 シンプル微生物学 p327-350 を読み, 要点を確認する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
11月13日	三上 正人	ウイルス学各論 (5) 遅発性ウイルス感染症, プリオン病	1) 遅発性ウイルス感染症の発症機序を説明する。(A-4-1-3) 2) プリオンの性状を説明する。(A-4-1-1) 3) プリオン病の伝播経路と症状を説明する。(A-4-1-2, A-4-1-3)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 シンプル微生物学 p343-350 を読み, 要点を確認する。	
11月20日	三上 正人	真菌学 (1) 真菌の形態・構造・増殖・病原因子	1) 真菌の形態と構造を説明する。(A-4-1-1) 2) 真菌の増殖機構を説明する。(A-4-1-1) 3) 真菌の病原因子を説明する。(A-4-1-2)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 シンプル微生物学 p350-356 を読み, 要点を確認する。	
11月27日	三上 正人	真菌学 (2) 真菌感染症	1) 真菌感染症の分類と病態を説明する。(A-4-1-3) 2) 真菌感染症の治療法を説明する。(A-4-1-3)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 シンプル微生物学 p357-367 を読み, 要点を確認する。	
12月4日	三上 正人	原虫学・蠕虫学	1) 寄生虫の分類と形態を説明する。(A-4-1-1) 2) 寄生虫の感染機構と病原性を説明する。(A-4-1-2) 3) 寄生虫感染症の症状と治療法を説明する。(A-4-1-3)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 シンプル微生物学 p367-379 を読み, 要点を確認する。	
12月11日	三上 正人	口腔環境の特徴と常在微生物叢, バイオフィルムの形成	1) 口腔内の環境と細菌叢の特徴を説明する。(A-4-1-5) 2) プラークと歯石の形成機序を説明する。(A-4-1-2)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 口腔微生物学 p265-280 を読み, 要点を確認する。	
12月18日	三上 正人	う蝕原性細菌の性状, う蝕病原因子	1) う蝕原性細菌の種類と病原因子を説明する。(A-4-1-2) 2) う蝕の病態を説明する。(A-4-1-3)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 口腔微生物学 p282-299 を読み, 要点を確認する。	
1月15日	三上 正人	歯周病原細菌の性状, 歯周病原因子	1) 歯周病原細菌の種類と病原因子を説明する。(A-4-1-2) 2) 歯周疾患の病態を説明する。(A-4-1-3)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 口腔微生物学 p300-307, p321-331 を読み, 要点を確認する。	
1月22日	三上 正人	その他の口腔感染症, 口腔と全身疾患, 口腔の感染予防機構	1) 口腔疾患の原因微生物の種類と病態を説明する。(A-4-1-3) 2) 口腔疾患と全身疾患の関連を説明する。(A-4-1-5) 3) 口腔内の感染防御機構を説明する。(A-4-2-1, A-4-2-2)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 口腔微生物学 p308-320, p332-350 を読み, 要点を確認する。	
1月29日	三上 正人	感染症の予防と対策, 滅菌と消毒	1) 滅菌と消毒の定義を説明する。(A-4-1-8) 2) 滅菌と消毒の種類と方法を説明する。(A-4-1-8)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 口腔微生物学 p351-368 を読み, 要点を確認する。	

# 病理学

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
岡田 康男	2	後期	木曜日	10:40 ~ 12:00	512 番教室

## 科目の到達目標 (GIO)

歯科医師として必要な口腔・顎顔面領域に発現する疾患の病態・病理について、全身と関連づけた知識を習得するために、総論として一般病理学的に理解する。

	著者・編者	書名	版	出版社
教科書	高田 隆 監修	歯学生のための基礎病理学	第1版	医歯薬出版
参考書	槻木恵一, 岡田康男 編著	新スタンダード口腔病理学	第2版	学建書院

## 学習方略 (重複可)

- 講義     示説     グループ討議 (PBL, TBL を含む)     実習  
 その他 ( )

## 成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (70 ~ 90%)     論述試験 ( %)     口頭試験 ( %)     レポート ( %)
- 実地試験 ( %)     ポートフォリオ ( %)     シミュレーションテスト ( %)
- 観察記録 ( %)     態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (10 ~ 30%)

## 成績評価方法

行動目標で示した項目についての客観試験 (90%) と毎回の講義の際の小テストを含めた授業に対する関心・意欲・態度 (10%) により評価を行うことを基本とする。但し、1/4 (4回) 以上欠席した場合 (公休等除く) の比重は、客観試験 (75%) と毎回の講義の際の小テストを含めた授業に対する関心・意欲・態度 (25%) とし、態度の評価は0点とする。1/3 (5回) 以上欠席した場合 (公休等除く) や出席不正行為の場合の比重は、客観試験 (70%) と毎回の講義の際の小テストを含めた授業に対する関心・意欲・態度 (30%) とし、授業に対する関心・意欲・態度の評価は0点とする。

## オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日: 水曜日 時間帯: 17:00 ~ 18:00 場所: 病理学講座 (新潟病院3階)  
 事前にメールで要予約 (メールアドレスは開講日に通知する)

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
10月1日	岡田 康男	先天異常, 奇形, 加齢	1) 病理学の役割と診断に必要な検査を知り, 先天異常, 奇形, 遺伝性疾患や症候群の概念とその病態・病理について説明する。 (A-5-1-1, D-3-1-1~4, D-3-1-8-1, D-3-1-10-5) 2) ゲノム, 染色体, 遺伝子の多様性と遺伝性疾患の発生について説明する。 (A-1-3-1~3, A-5-1, D-3-1-10-5) 3) 加齢に伴う全身諸組織の構造・機能変化の病態・病理について説明する。 (A-2-3-1, 2, 4) 4) 加齢に伴う口腔諸組織の構造・機能変化の病態・病理について説明する。 (A-2-4)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書の Chapter 1「病理学とは」, Chapter 8「染色体・遺伝子および発生の異常」, Chapter 10「臓器別疾患」のⅢ「上気道・口腔・感覚器の疾患」および参考書で講義テーマについて学習する。	
10月8日	佐野 拓人	細胞・組織の障害, 反応性増殖, 再生, 修復, 化生, 器質化	1) 病因 (内因や外因) と関連した疾患の発生, 病期, 病型の病態・病理について説明する。(A-5-2-1~3, D-3-1-10-8, 9) 2) 生物・化学・物理的損傷による創傷の基本的な修復と治癒に影響する因子や治癒過程の病態・病理について説明する。 (A-5-2-1, 2, A-5-3-1, 2, 4, 5, D-3-1-2-1) 3) 細胞傷害と組織傷害について説明する。(A-5-2-1, 2) 4) 壊死の多様性, 原因, 意義および形態的所見の特徴について説明する。 (A-5-2-3) 5) アポトーシスと疾患の関連性について説明する。(A-5-2-3) 6) 壊死とアポトーシスの違いについて説明する。(A-5-2-3) 7) 修復と再生について説明する。(A-5-3-1) 8) 化生について説明する。(A-5-3-3) 9) 創傷治癒に関与する細胞と治癒過程について説明する。(A-5-3-1, 4) 10) 器質化について説明する。(A-5-3-5)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書の Chapter 2「細胞・組織の損傷と修復」と参考書で講義テーマについて学習する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
10月22日	佐野 拓人	炎症, 感染症 (1)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 不特定抗原に対する生体防御機構としての炎症性反応の局所的や全身的变化, 病期と出現する滲出細胞や肉芽の役割と病態・病理について説明する。(A-4-1-2~5, 9, A-5-5, D-3-1-3-2, 3, 4, 6, D-3-1-10-2)</li> <li>2) 炎症の定義について説明する。(A-5-5-1)</li> <li>3) 炎症に関与する細胞の種類と機能について説明する。(A-5-5-2)</li> <li>4) 滲出性炎の種類と病理組織学的特徴および経時の変化について説明する。(A-5-5-3)</li> <li>5) 肉芽腫性炎の種類と病理組織学的特徴および経時の変化について説明する。(A-5-5-4, D-3-1-3-7)</li> <li>6) 病理組織検査の目的と適応について説明する。(D-2-6)</li> </ol>
	準備学習と時間	準備学習:30分 教科書の Chapter 4「炎症」, Chapter 7「感染症」および参考書で講義テーマについて学習する。	
10月29日	佐野 拓人	感染症 (2), 免疫とアレルギー	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 不特定抗原に対する生体防御機構としての炎症性反応の局所的や全身的变化, 病期と出現する滲出細胞や肉芽の役割と病態・病理について説明する。(A-4-1-2~5, 9, A-4-2-1~6, D-3-1-3-3, D-3-1-4-2, D-3-1-10-3)</li> <li>2) 特定抗原に対する生体防御機構におけるアレルギー, 免疫異常等を通して生体防御機構の病態・病理について説明する。(A-4-2-6, D-3-1-10-3)</li> <li>3) 自然免疫, 獲得免疫, 細胞性免疫および体液性免疫について説明する。(A-4-2-1~5)</li> <li>4) 免疫担当細胞の種類と機能について説明する。(A-4-2-1~3)</li> <li>5) 自己と非自己の識別機構と免疫寛容について説明する。(A-4-2-1~5)</li> <li>6) アレルギーの分類, 免疫・アレルギー疾患の種類と発生機序について説明する。(A-4-2-6, D-3-1-4, D-3-1-8-7, D-3-1-10-3)</li> <li>7) 病理組織検査の目的と適応について説明する。(D-2-6)</li> </ol>
	準備学習と時間	準備学習:30分 教科書の Chapter 7「感染症」, Chapter 5「免疫とその異常 (免疫系疾患)」および参考書で講義テーマについて学習する。	
11月5日	束理 頼亮	代謝障害, 医原性疾患	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 代謝障害の病態・病理について説明する。(A-5-2-5, D-3-1-10-8)</li> <li>2) 医原性疾患の病態・病理について説明する。(A-4-1-9, A-6-4-1, 2, C-1-2-4, C-3-1-1)</li> <li>3) 薬物の副作用, 有害作用について説明する。(A-6-4-1~4, D-3-1-10-7)</li> <li>4) 歯科治療に伴う合併症の病態・病理について説明する。(D-1-1-1, D-1-2-1-5, D-1-2-3-3, D-3-1-10-7, D-5-4-2)</li> <li>5) 病理組織検査の目的と適応について説明する。(D-2-6)</li> </ol>
	準備学習と時間	準備学習:30分 教科書の Chapter 6「代謝障害」, Chapter 3「循環障害」と Chapter 5「免疫とその異常 (免疫系疾患)」の「アナフィラキシーショック」, Chapter 8「染色体・遺伝子および発生の異常」の「発生異常」, Chapter 10「臓器別疾患」のXIII「造血器の疾患」の「再生不良性貧血」, Chapter 1「病理学とは」の「医原病」および参考書で講義テーマについて学習する。	
11月12日	佐藤 浩一	特別講義:循環障害	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 虚血, 充血, うっ血, 出血, 浮腫の種類, 原因, 徴候および転帰について説明する。(A-5-4-1, 2, 5)</li> <li>2) 血栓, 塞栓, 梗塞の種類, 原因, 特徴および転帰について説明する。(A-5-4-3, 4)</li> <li>3) ショック, 血圧異常の種類, 原因および特徴について説明する。(A-5-4-6)</li> </ol>
	準備学習と時間	準備学習:30分 教科書の Chapter 3「循環障害」, Chapter 10「臓器別疾患」のIV「心臓・血管の疾患」および参考書で講義テーマについて学習する。	
11月19日	岡田 康男	腫瘍 (1)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 腫瘍の病因, 成立機序と分類を理解し, 腫瘍の良性・悪性の病態・病理について総論的に説明する。(A-5-6-1~5, D-3-1-6-1~3)</li> <li>2) 腫瘍の定義と発生について説明する。(A-5-6-1)</li> <li>3) 異形成について説明する。(A-5-6-3, 6, D-3-1-6-5, 6)</li> <li>4) 病理組織検査の目的と適応について説明する。(D-2-6)</li> </ol>
	準備学習と時間	準備学習:30分 教科書の Chapter 9「腫瘍」と参考書で講義テーマについて学習する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
11月26日	岡田 康男	腫瘍 (2)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 腫瘍の異型性と組織学的分化度について説明する。(A-5-6-3)</li> <li>2) 良性腫瘍と悪性腫瘍の異同について説明する。(A-5-6-4, D-3-1-6-2, 3)</li> <li>3) 局所における腫瘍の増殖, 浸潤および転移について説明する。(A-5-6-2, D-3-1-10-4)</li> <li>4) 病理組織検査の目的と適応について説明する。(D-2-6)</li> </ol>
	準備学習と時間	準備学習:30分 教科書の Chapter 9「腫瘍」と参考書で講義テーマについて学習する。	
12月3日	岡田 康男	血液・造血器, リンパ節, 循環器疾患	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 口腔領域の疾患と血液・造血器, リンパ節, 循環器の疾患との関連を理解し説明する。(A-5-4, A-5-6-5, D-3-1-10-1~4, D-6-1-1)</li> <li>2) 血液・造血器, リンパ節, 循環器疾患について説明する。(A-5-4-1~4, 6, A-5-6-5, D-3-1-10-1~4, D-6-1-1)</li> <li>3) 浮腫の種類, 原因, 徴候および転帰について説明する。(A-5-4-5, D-3-1-10-5, D-6-1-1)</li> <li>4) 病理組織検査の目的と適応について説明する。(D-2-6)</li> </ol>
	準備学習と時間	準備学習:30分 教科書の Chapter 3「循環障害」, Chapter 10「臓器別疾患」のIV「心臓・血管の疾患」, X III「造血器の疾患」および参考書で講義テーマについて学習する。	
12月10日	大野 淳也	呼吸器疾患	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 口腔領域の疾患と呼吸器疾患との関連を理解し説明する。(A-4-1-3, 4, A-4-2-6, A-5-1, A-5-5-3~5, A-5-6-5, D-3-1-10-2~5, D-6-1-1)</li> <li>2) 呼吸器の感染症および炎症性疾患について説明する。(A-4-1-3, 4, A-4-2-6, A-5-5-3~5, D-3-1-10-2, 3, D-6-1-1)</li> <li>3) 呼吸器の腫瘍および腫瘍類似疾患について説明する。(A-5-6-5, D-3-1-10-4, D-6-1-1)</li> <li>4) 呼吸器の発生異常と発育障害について説明する。(A-5-1, D-3-1-10-5, D-6-1-1)</li> <li>5) 病理組織検査の目的と適応について説明する。(D-2-6)</li> </ol>
	準備学習と時間	準備学習:30分 教科書の Chapter 10「臓器別疾患」のIII「上気道・口腔・感覚器の疾患」の1「上気道」, V「呼吸器(肺)の疾患」と参考書で講義テーマについて学習する。	
12月17日	束理 頼亮	消化管, 肝・胆・膵疾患	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 口腔領域の疾患と消化管, 肝・胆・膵疾患との関連を理解し説明する。(A-4-1-3, 4, A-4-2-6, A-5-1, A-5-5-3~5, A-5-6-5, D-3-1-10-2~5, D-6-1-1)</li> <li>2) 消化管, 肝・胆・膵の感染症および炎症性疾患について説明する。(A-4-1-3-4, A-4-2-6, A-5-5-3~5, D-3-1-10-2, 3, D-6-1-1)</li> <li>3) 消化管, 肝・胆・膵の腫瘍および腫瘍類似疾患について説明する。(A-5-6-5, D-3-1-10-4, D-6-1-1)</li> <li>4) 消化管, 肝・胆・膵の発生異常と発育障害について説明する。(A-5-1, D-3-1-10-5, D-6-1-1)</li> <li>5) 病理組織検査の目的と適応について説明する。(D-2-6)</li> </ol>
	準備学習と時間	準備学習:30分 教科書の Chapter 10「臓器別疾患」のVI「上部消化管(食道・胃)の疾患」, VII「下部消化管(小腸・大腸)」, VIII「肝臓・胆道・膵臓の疾患」および参考書で講義テーマについて学習する。	
1月14日	大野 淳也	腎・尿路系, 男性生殖器, 婦人科・乳腺疾患	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 口腔領域の疾患と腎・尿路系, 男性生殖器, 婦人科・乳腺疾患との関連を理解し説明する。(A-4-1-3, 4, A-4-2-6, A-5-1, A-5-5-3~5, A-5-6-5, D-3-1-10-2~5, D-6-1-1)</li> <li>2) 腎・尿路系, 男性生殖器, 婦人科領域・乳腺の感染症および炎症性疾患について説明する。(A-4-1-3, 4, A-4-2-6, A-5-5-3~5, D-3-1-10-2, 3, D-6-1-1)</li> <li>3) 腎・尿路系, 男性生殖器, 婦人科領域・乳腺の腫瘍および腫瘍類似疾患について説明する。(A-5-6-5, D-3-1-10-4, D-6-1-1)</li> <li>4) 腎・尿路系, 男性生殖器, 婦人科領域・乳腺の発生異常と発育障害について説明する。(A-5-1, D-3-1-10-5, D-6-1-1)</li> <li>5) 病理組織検査の目的と適応について説明する。(D-2-6)</li> </ol>
	準備学習と時間	準備学習:30分 教科書の Chapter 10「臓器別疾患」のIX「腎臓・泌尿器・男性生殖器の疾患」, X「子宮・卵巣の疾患」, XI「乳腺疾患」および参考書で講義テーマについて学習する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
1月21日	大野 淳也	脳・神経疾患, 内分泌疾患	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 口腔領域の疾患と脳・神経疾患, 内分泌疾患との関連を理解し説明する。 (A-4-1-3, 4, A-4-2-6, A-5-1, A-5-2, A-5-4-1~5, A-5-5-3~5, A-5-6-5, D-3-1-10-2~5, D-6-1-1)</li> <li>2) 下垂体, 甲状腺および副腎の機能異常について説明する。(A-5-2)</li> <li>3) 脳の循環障害と頭部外傷について説明する。 (A-5-4-1~5, D-3-1-2-1, 5, D-6-1-1)</li> <li>4) 脳・神経の感染症および炎症性疾患について説明する。 (A-4-1-3, 4, A-4-2-6, A-5-5-3~5, D-3-1-10-2, 3, D-6-1-1)</li> <li>5) 脳・神経の腫瘍および腫瘍類似疾患について説明する。 (A-5-6-5, D-3-1-10-4, D-6-1-1)</li> <li>6) 脳・神経の発生異常と発育障害について説明する。 (A-5-1, D-3-1-10-5, D-6-1-1)</li> <li>7) 病理組織検査の目的と適応について説明する。(D-2-6)</li> </ol>
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書の Chapter 10「臓器別疾患」の I「脳神経系の疾患」, II「甲状腺・副甲状腺・副腎・下垂体の疾患」および参考書で講義テーマについて学習する。	
1月28日	岡田 康男	皮膚, 骨・軟部疾患	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 口腔領域の疾患と皮膚, 骨・軟部疾患との関連を理解し説明する。 (A-4-1-3, 4, A-4-2-6, A-5-5-3~5, A-5-6-5, D-3-1-10-2~6, D-6-1-1)</li> <li>2) 皮膚と骨の感染症および炎症性疾患について説明する。 (A-4-1-3, 4, A-4-2-6, A-5-5-3~5, D-3-1-10-2, 3, D-6-1-1)</li> <li>3) 皮膚と骨・軟部の腫瘍および腫瘍類似疾患について説明する。 (A-5-6-5, D-3-1-10-4, D-6-1-1)</li> <li>4) 系統的骨疾患について説明する。(D-3-1-10-5, 6, D-6-1-1)</li> <li>5) 病理組織検査の目的と適応について説明する。(D-2-6)</li> </ol>
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書の Chapter 10「臓器別疾患」の XII「骨軟部組織の疾患」, XIV「皮膚疾患」および参考書で講義テーマについて学習する。	

# 歯科薬物療法学

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
二宮 一智	2	後期	月曜日	10:40 ~ 12:00	512 番教室

## 科目の到達目標 (GIO)

臨床において薬物療法を実践するために、歯科治療で使用する薬物の作用機序、副作用、相互作用などの薬理作用を理解し、歯科薬物療法における適正使用を習得する。

	著者・编者	書名	版	出版社
教科書	鈴木邦明 ほか	現代歯科薬理学	第7版	医歯薬出版
参考書	石田 甫 ほか	歯科薬理学	第5版	医歯薬出版

## 学習方略 (重複可)

- 講義     示説     グループ討議 (PBL, TBL を含む)     実習  
 その他 ( )

## 成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (80%)     論述試験 ( %)     口頭試験 ( %)     レポート (10%)  
 実地試験 ( %)     ポートフォリオ ( %)     シミュレーションテスト ( %)
- 観察記録 ( %)     態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (10%)

## 成績評価方法

客観試験 (80%) レポート (10%) 態度 (10%) を総合して評価する。

## オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日：月曜日 時間：16:00 ~ 17:00 場所：薬理学講座教授室 (8号館3階)

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
9月28日	原 基	全身麻酔薬	1) 全身麻酔の概念, 生体反応について説明する。 (A-3-1-5-4, D-1-2-3-1) 2) 全身麻酔薬の種類, 作用機序, 副作用を説明する。 (A-6-2-1, A-6-2-2, A-6-4-1, D-1-2-3-2)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書第19章 I・II p142-147 全身麻酔薬, アルコールを読む。	
10月5日	原 基	中枢神経疾患治療薬	1) 中枢神経疾患 (不眠症, うつ病, てんかん, 統合失調症, Parkinson 病, 認知症) について説明する。(A-3-1-5-4, D-6-1-1) 2) 催眠薬鎮静薬, 抗うつ薬の種類, 作用機序, 副作用を説明する。 (A-6-2-1, A-6-2-2, A-6-4-1, D-6-1-2) 3) 抗てんかん薬, 抗うつ薬の種類, 作用機序, 副作用を説明する。 (A-6-2-1, A-6-2-2, A-6-4-1, D-6-1-2) 4) Parkinson 病治療薬, 認知症治療薬の種類, 作用機序, 副作用を説明する。 (A-6-2-1, A-6-2-2, A-6-4-1, D-6-1-2)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書第19章 IV-VI p155-170 催眠鎮静薬・抗不安薬, 抗てんかん薬, 向精神薬, VIII p172-173 Parkinson 病治療薬, X p174 認知症治療薬を読む。	
10月16日 (金)	原 基	循環器作用薬 (高血圧症, 心不全, 不整脈)	1) 循環器疾患 (高血圧, 心不全, 不整脈) について説明する。 (A-3-1-5-4, D-6-1-1) 2) 高血圧症治療薬の種類, 作用機序, 副作用を説明する。 (A-6-2-1, A-6-2-2, A-6-4-1, D-6-1-2) 3) 不整脈治療薬の種類, 作用機序, 副作用を説明する。 (A-6-2-1, A-6-2-2, A-6-4-1, D-6-1-2) 4) 心不全治療薬の種類, 作用機序, 副作用を説明する。 (A-6-2-1, A-6-2-2, A-6-4-1, D-6-1-2)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書第20章 I-III p175-183を読む。	
10月19日	原 基	循環器作用薬 (狭心症) 代謝性疾患治療薬 (糖尿病)	1) 循環器疾患 (狭心症) について説明する。(A-3-1-5-4, D-6-1-1) 2) 狭心症治療薬の種類, 作用機序, 副作用を説明する。 (A-6-2-1, A-6-2-2, A-6-4-1, D-6-1-2) 3) 糖尿病について説明する。(A-3-1-9, D-6-1-1) 4) 糖尿病治療薬の種類, 作用機序, 副作用を説明する。 (A-6-2-1, A-6-2-2, A-6-4-1, D-6-1-2)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書第20章 IV p183, 27章 I p236-238を読む。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
10月26日	福井佳代子	呼吸器系作用薬 消化器系作用薬	1) 喘息について説明する。(D-6-1-1) 2) 喘息治療薬の種類と作用機序, 適用法, 副作用について説明する。(D-6-1-2, 3, A-6-2-2, A-6-4-1) 3) 消化性潰瘍の発症原因(ピロリ菌を含む)を説明する。(D-6-1-1) 4) 消化性潰瘍治療薬の種類, 作用機序, 適用法について説明する。(A-6-2-2, D-6-1-2, 3)
		準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書22章, 23章を参考に講義テーマについて学習する。
11月2日	福井佳代子	硬組織に作用する薬物 う蝕予防薬	1) 歯, 骨に影響を与えるホルモン, ビタミン, 薬物の種類を説明する。A-6-2-1 2) 生理的, 薬理的作用を説明する。A-6-2-2 3) 骨粗鬆症治療薬の種類, 作用機序, 副作用について説明する。A-6-4-1, 2 4) う蝕症, う蝕予防薬に使用される歯科用局所応用薬の作用と性質を説明する。A-6-2-1, 2
		準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p239-250, 37章を参考に講義テーマについて学習する。
11月9日	福井佳代子	滅菌法, 消毒薬	1) 滅菌法と消毒薬の意義, 原理を説明する。A-4-1-8 2) 滅菌法の種類と特徴を類別する。 3) 消毒薬の種類, 薬理作用と特徴を説明する。A-6-2-2 4) 消毒薬の用法を説明する。A-6-3-1, D-5-4-4
		準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書32章を参考に講義テーマについて学習する。
11月16日	福井佳代子	歯科用局所応用薬	1) 歯内療法薬の種類, 特性を説明する。A-6-2-1, 2 2) 歯周疾患治療薬の種類, 特性を説明する。A-6-2-1, 2
		準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書35章, 36章を参考に講義テーマについて学習する。
11月25日 (水)	二宮一智	止血薬, 抗血栓薬	1) 生体における止血機構と抗血栓機構を説明する。(C-3-4)-(4)-7) 2) 止血薬の種類と作用機序を説明する。(C-6-1)-1, C-6-2)-2) 3) 抗血栓薬の種類と作用機序について説明する。(C-6-1)-1, C-6-2)-2)
		準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書第15章 p175-188を読む。
11月30日	二宮一智	鎮痛薬, 抗炎症薬	1) ステロイド性抗炎症薬の種類, 作用機序, 副作用について説明する。(C-5-5)-1, C-6-1)-1, C-6-2)-2, C-6-4)-1, A-6-2-1, 2, A-6-4-1 2) 非ステロイド性抗炎症薬の種類, 作用機序, 副作用について説明する。(C-6-1)-1, C-6-2)-25, C-6-4)-1), A-6-2-1, 2, A-6-4-1 3) 歯科における鎮静薬の使い分けを説明する。(A-6-2-2)
		準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書28章, 29章を参考に講義テーマについて学習する。
12月7日	二宮一智	抗感染症薬	1) 抗菌スペクトルとMICを理解する。A-6-2-2, 3 2) 抗菌薬投与による血中濃度, 抗菌作用の関係を説明する。A-6-2-2, 3 3) 抗菌薬の種類, 作用機序, 副作用について説明する。A-6-4-1, A-6-2-1, 2 4) ライフステージ毎に抗菌薬投与の注意事項を説明する。A-6-4-1 5) 薬剤耐性 AMR に配慮した抗菌薬使用を説明する。A-6-4-6 6) 抗真菌薬の分類, 作用機序について説明する。(A-6-1)-1, A-6-2)-2) 7) 疾患毎の抗ウイルス薬の分類, 作用機序について説明する。(A-6-1)-1, A-6-2)-2)
		準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書第31, 34章を読む。
12月14日	二宮一智	抗腫瘍薬	1) 悪性腫瘍の治療法, 副作用改善法について説明する。A-6-2-2, A-6-4-1 2) 抗腫瘍薬の分類, 特徴, 代表的副作用について説明する。A-6-2-1, 3, A-6-4-1, 2
		準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書第26章を読む。
1月18日	福井佳代子	歯科における漢方薬	1) 漢方の基本概念と種類を説明する。A-6-2-1, 2 2) 漢方薬の種類と副作用を説明する。A-6-4-1, 2 3) 歯科治療における漢方薬の使い分けを説明する。A-6-3-1
		準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書38章を参考に講義テーマについて学習する。
1月25日	二宮一智	総括	
		準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書全てを読む。

# 歯科理工学

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
大熊 一夫	2	後期	月曜日	13:00 ~ 14:20	512 番教室

## 科目の到達目標 (GIO)

歯科材料を適切に選択し、取り扱うことのできる歯科医師となるために、各種歯科材料の種類と用途、基本組成、構造、性質を把握し、適正な材料の選択基準ならびに取扱い方法を理解する。

	著者・編者	書名	版	出版社
教科書	宮坂 平, 遠藤一彦, 玉置幸道, 服部雅之 編, 大熊一夫 他著	基礎歯科理工学	第1版	医歯薬出版
参考書	新谷明一, 中嶋 裕, 宮崎 隆, 米山隆之, 大熊一夫 他編	スタンダード歯科理工学	第8版	学建書院
	日本歯科理工学会 編	歯科理工学教育用語集	第4版	医歯薬出版

## 学習方略 (重複可)

- 講義     示説     グループ討議 (PBL, TBL を含む)     実習  
 その他 ( )

## 成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (45%)     論述試験 (45%)     口頭試験 ( %)     レポート ( %)  
 実地試験 ( %)     ポートフォリオ ( %)     シミュレーションテスト ( %)  
 観察記録 ( %)     態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (10%)

## 成績評価方法

行動目標で示した項目についての客観試験 (45%), 論述試験 (45%) と、毎回の講義の際の小テストを含めた授業に対する関心・意欲・態度 (10%) により評価を行う。

## オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日: 木曜日 時間帯: 17:00 ~ 18:00 場所: 歯科理工学教授室 (5号館3階)  
 事前にメールで要予約 (メールアドレスは開講日に通知する)

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
9月28日	五十嵐健輔	印象材 (1)	1) 印象材の分類方法を説明する。(B-2-1, D-5-3-1-5) 2) ハイドロコロイド印象材の特徴を説明する。(B-2-1) 3) 寒天印象材の成分と特徴, 取扱い方法を説明する。(B-2-1) 4) アルジネート印象材の成分と特徴, 取扱い方法を説明する。(B-2-1)
	準備学習と時間	準備学習: 10分 基礎歯科理工学の印象材 p30-46 を参考にハイドロコロイド印象材の種類と特徴について学習する。	
10月5日	五十嵐健輔	印象材 (2)	1) ゴム質印象材の特徴を説明する。(B-2-1, D-5-3-1-5) 2) シリコンゴム印象材の成分と特徴, 取扱い方法を説明する。(B-2-1) 3) ポリエーテルゴム印象材の成分と特徴, 取扱い方法を説明する。(B-2-1) 4) ポリサルファイドゴム印象材の成分と特徴, 取扱い方法を説明する。(B-2-1)
	準備学習と時間	準備学習: 10分 基礎歯科理工学の印象材 p46-51 を参考にゴム質印象材の種類と特徴について学習する。	
10月16日 (金)	五十嵐健輔	印象材 (3)	1) モデリングコンパウンドの成分と特徴, 取扱い方法を説明する。(B-2-1, D-5-3-1-5) 2) 酸化亜鉛ユージノール印象材の成分と特徴, 取扱い方法を説明する。(B-2-1) 3) 印象用ワックスの成分と特徴, 取扱い方法を説明する。(B-2-1) 4) アクリル系機能印象材の成分と特徴, 取扱い方法を説明する。(B-2-1)
	準備学習と時間	準備学習: 10分 基礎歯科理工学の印象材 p51-54 を参考に非弾性印象材の種類と特徴について学習する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
10月19日	五十嵐健輔	模型材 (1)	1) 模型材の種類を列挙する。(B-2-1, D-5-3-1-9) 2) 石膏の硬化反応を説明する。(B-2-1) 3) 石膏の特性を説明する。(B-2-1) 4) 石膏の特性に影響をおよぼす因子を列挙する。(B-2-1)
	準備学習と時間	準備学習: 10分 基礎歯科理工学の模型材 p54-60 を参考に模型材の種類と特性を学習する。	
10月26日	五十嵐健輔	模型材 (2)	1) 歯科用石膏を列挙する。 2) 歯科用焼石膏の特性と用途を説明する。(B-2-1) 3) 硬質石膏の特性と用途を説明する。(B-2-1) 4) 超硬質石膏の特性と用途を説明する。(B-2-1) 5) レジン系模型材の特性と用途を説明する。(B-2-1)
	準備学習と時間	準備学習: 10分 歯科基礎理工学の模型材 p54-60 を参考に模型材の用途を学習する。	
11月2日	五十嵐健輔	歯科用ワックス (1)	1) 歯科用ワックスの種類を列挙する。 2) インレーワックスの成分と特性, 用途を説明する。(B-2-1, D-5-3-1-9) 3) インレーワックスの変形の原因と対策を説明する。(B-2-1) 4) パターン材料の種類を列挙する。
	準備学習と時間	準備学習: 10分 基礎歯科理工学のワックス p60-66 を参考にワックスの特徴を学習する。	
11月9日	五十嵐健輔	歯科用ワックス (2)	1) パラフィンワックスの成分と特性, 用途を説明する。(B-2-1) 2) シートワックスの成分と特性, 用途を説明する。(B-2-1) 3) レディキャストワックスの成分と特性, 用途を説明する。(B-2-1) 4) スティックワックスの成分と特性, 用途を説明する。(B-2-1) 5) ユーティリティワックスの成分と特性, 用途を説明する。(B-2-1)
	準備学習と時間	準備学習: 10分 基礎歯科理工学のワックス p66-68 を参考にワックスの用途を学習する。	
11月16日	五十嵐健輔	鑄造用埋没材	1) 耐熱材について説明する。(B-2-1, D-5-3-1-9) 2) 鑄造用埋没材の種類について述べる。(B-2-1, D-5-3-1-9) 3) 鑄造用埋没材の組成および性質について述べる。(B-2-1) 4) 鑄造用埋没材の用途について説明する。(B-2-1)
	準備学習と時間	準備学習: 10分 基礎歯科理工学の歯科技工関連材料 p68-78 を参考に講義テーマについて学習する。	
11月25日(水)	五十嵐健輔	成形修復材 (1)	1) 成形修復材の種類, 用途, 組成について述べる。(B-2-1, D-5-2-1-3) 2) 成形修復材の硬化機構について述べる。(B-2-1) 3) 成形修復材の硬化体の構造について述べる。(B-2-1) 4) 成形修復材の使用法について説明する。(B-2-1)
	準備学習と時間	準備学習: 10分 基礎歯科理工学の歯科生体材料 p79-80 を参考に講義テーマについて学習する。	
11月30日	五十嵐健輔	成形修復材 (2)	1) コンポジットレジンの性質について述べる。(B-2-1, D-5-2-1-3) 2) コンポジットレジンの接着技法について述べる。(B-2-3, D-5-2-1-9)
	準備学習と時間	準備学習: 10分 基礎歯科理工学の歯科生体材料 p80-88 を参考に講義テーマについて学習する。	
12月7日	五十嵐健輔	成形修復材 (3), 歯冠修復用レジン・ レジン歯	1) グラスアイオノマーセメントの性質について述べる。(B-2-1, D-5-2-1-3) 2) コンポジットレジンおよびグラスアイオノマーセメントの使用法について説明する。(B-2-1) 3) フィッシャーシーラントの性質・使用法について説明する。(B-2-1) 4) 歯冠修復用レジンおよびレジン歯の使用法について説明する。(B-2-1)
	準備学習と時間	準備学習: 10分 基礎歯科理工学の歯科生体材料 p88-96 を参考に講義テーマについて学習する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
12月14日	大熊 一夫	合着・接着材 (1)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 合着用セメントの所要性質を述べる。(B-2-3, D-5-3-1-12)</li> <li>2) 合着用セメントの諸性質の意義について説明する。(B-2-3)</li> <li>3) リン酸亜鉛セメントの基本組成と硬化機構について説明する。(B-2-3)</li> <li>4) リン酸亜鉛セメントの用途, 性質, および取扱い方法について説明する。(B-2-3)</li> </ol>
	準備学習と時間	準備学習: 10分 基礎歯科理工学の歯科生体材料 p121-124, 128-129 を参考に講義テーマについて学習する。	
1月18日	大熊 一夫	合着・接着材 (2)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) ポリカルボキシレートセメントの基本組成と硬化機構について説明する。(B-2-3, D-5-3-1-12)</li> <li>2) ポリカルボキシレートセメントの用途, 性質, および取扱い方法について説明する。(B-2-3)</li> <li>3) EBAセメントの用途, 基本組成と硬化機構, 特徴について述べる。(B-2-3)</li> <li>4) ケイリン酸塩セメントの基本組成と特徴を述べる。(B-2-3)</li> <li>5) グラスアイオノマーセメントの基本組成と硬化機構について説明する。(B-2-3)</li> </ol>
	準備学習と時間	準備学習: 10分 基礎歯科理工学の歯科生体材料 p125-127, 129-132 を参考に講義テーマについて学習する。	
1月25日	大熊 一夫	合着・接着材 (3)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) グラスアイオノマーセメントの用途, 性質, 取扱い方法について説明する。(B-2-3, D-5-3-1-12)</li> <li>2) 接着性レジンセメントの用途, 基本組成と硬化機構, および特徴について説明する。(B-2-3)</li> <li>3) 接着性レジンセメントでPMMA系とコンポジットレジン系の相違点を述べる。(B-2-3)</li> <li>4) レジン添加型グラスアイオノマーセメントの用途, 基本組成と硬化機構, および特徴について説明する。(B-2-3)</li> </ol>
	準備学習と時間	準備学習: 10分 基礎歯科理工学の歯科生体材料 p124-127 を参考に講義テーマについて学習する。	



# 歯科理工学実習

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
大熊 一夫	2	後期	水曜日	13:00 ~ 17:00	理工学・生化学実習室 (5号館2階)

## 科目の到達目標 (GIO)

歯科材料を適切に選択し、取り扱うことのできる歯科医師となるために、歯科材料の使用工程と基本的な取扱い方法を習得するとともに、各種歯科材料の種類、使用条件による物性の変化を理解する。

	著者・編者	書名	版	出版社
教科書	新谷明一, 大熊一夫 編	新版 歯科理工学実習指針	第2版	医歯薬出版
参考書	宮坂 平, 遠藤一彦, 玉置幸道, 服部雅之 編, 大熊一夫 他著	基礎歯科理工学	第1版	医歯薬出版
	新谷明一, 中嶋 裕, 宮崎 隆, 米山隆之, 大熊一夫 他編	スタンダード歯科理工学	第8版	学建書院

## 学習方略 (重複可)

- 講義     示説     グループ討議 (PBL, TBL を含む)     実習  
 その他 (学生は4グループに分かれ、印象・模型、重合、鋳造、合着・成形充填材の4テーマの実験をローテーションしながら行う。従って次頁の実施月日の学習内容は、1及び14回を除き、所属するグループによって異なることになる。)

## 成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 ( %)     論述試験 (10%)     口頭試験 ( %)     レポート (80%)  
 実地試験 ( %)     ポートフォリオ ( %)     シミュレーションテスト ( %)
- 観察記録 ( %)     態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (10%)

## 成績評価方法

行動目標で示した項目についての毎回の課題 (レポート) (80%), 毎回の実習に対する関心・意欲・態度 (10%) および論述試験 (10%) により評価を行う。

## オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日: 木曜日 時間帯: 17:00 ~ 18:00 場所: 歯科理工学教授室 (5号館3階)  
 事前にメールで要予約 (メールアドレスは開講日に通知する)

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
9月30日	大熊 一夫 五十嵐健輔 後藤 真一 小出 未来 三村 博史 五十嵐将宏	ガイダンス	1) 個々の実習日に行う実習テーマと実施テーブル・担当教員を具体的に述べる。 2) 実習開始までに行っておくことを説明する。 3) 減点対象となる行為について述べる。 4) この実習独自の採点法について説明する。
準備学習: 10分 新版 歯科理工学実習指針で実習内容について確認する。			
10月7日		印象と模型 (1)	1) アルジネート印象材の適切な練和操作をする。(B-2-1, D-5-3-1-5) 2) シリコンゴム印象材の適切な練和操作をする。(B-2-1) 3) 弾性ひずみによって示される印象材の弾性的性質を説明する。(B-2-1) 4) 永久ひずみによって示される印象材の弾性的性質を説明する。(B-2-1)
準備学習: 10分 新版 歯科理工学実習指針の印象材 p9-12 を参考に実習のテーマについて学習する。			
10月14日		印象と模型 (2)	1) アルジネート印象材を適切に操作する。(B-2-1, D-5-3-1-5) 2) シリコンゴム印象材を適切に操作する。(B-2-1) 3) 模型用石膏を適切に操作する。(B-2-1) 4) 模型の精度に影響する印象材の性質を説明する。(B-2-1)
準備学習: 10分 新版 歯科理工学実習指針の印象材 p9-12 を参考に実習のテーマについて学習する。			
10月21日		印象と模型 (3)	1) 模型用石膏を適切に操作する。(B-2-1, D-5-3-1-5) 2) 模型用石膏の硬化時の状態変化と硬化時間との関係を述べる。(B-2-1) 3) 硬質石膏と超硬質石膏との硬化膨張の違いを説明する。(B-2-1) 4) 模型用石膏の硬化膨張と模型の寸法精度との関係を説明する。(B-2-1)
準備学習: 10分 新版 歯科理工学実習指針の石膏 p1-2 を参考に実習のテーマについて学習する。			

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
10月28日	大熊 一夫 五十嵐健輔 後藤 真一 小出 未来 三村 博史 五十嵐将宏	加熱重合レジン (1)	1) 温度が異なる環境時における加熱重合レジンの粉・液の膨潤状態を調べる。(B-2-1, D-5-3-2-2) 2) 加熱重合レジンの重合機序について説明する。(B-2-1) 3) 填入に適した膨潤状態について説明する。(B-2-1) 4) 重合収縮に対する改善方法を説明する。(B-2-1)
		準備学習: 10分 新版 歯科理工学実習指針の歯科用レジン p27-28 を参考に実習のテーマについて学習する。	
11月4日		加熱重合レジン (2)	1) 加熱重合レジンの湿・乾重合時の温度上昇を測定する。(B-2-1, D-5-3-2-2) 2) 異なる条件で重合したくさび状加熱重合レジンの気泡の発生状態を調べる。(B-2-1) 3) 重合したくさび状レジンから, 気泡の発生理由を説明する。(B-2-1) 4) キュアリングサイクルについて説明する。(B-2-1)
		準備学習: 10分 新版 歯科理工学実習指針の歯科用レジン p27-28 を参考に実習のテーマについて学習する。	
11月11日		常温重合レジン	1) 常温重合レジンの硬化時間, 温度上昇, 重合収縮率を測定する。(B-2-1, D-5-3-2-2) 2) 常温重合レジンの重合機序について説明する。(B-2-1) 3) 硬化時間と重合度について説明する。(B-2-1) 4) 重合収縮とフィルラーの関連について説明する。(B-2-1)
		準備学習: 10分 新版 歯科理工学実習指針の歯科用レジン p27-28 を参考に実習のテーマについて学習する。	
11月18日		ワックスパターンの変形	1) ワックスを操作する。(B-2-1, D-5-3-1-9) 2) クラウン型のワックスパターンの作製に熟練する。(B-2-1) 3) 放置環境によるワックスパターンの変形量の違いを調べる。(B-2-1) 4) 変形の少ないワックスパターンの取扱い方法を説明する。(B-2-1)
		準備学習: 10分 新版 歯科理工学実習指針のワックス p44-46 を参考に実習のテーマについて学習する。	
12月2日		歯科精密鑄造 (1)	1) クラウン型のワックスパターンを作製する。(B-2-1, D-5-3-1-9) 2) ワックスパターンを植立する。(B-2-1) 3) ワックスパターンを埋没する。(B-2-1) 4) 鑄造操作について説明する。(B-2-1)
		準備学習: 10分 新版 歯科理工学実習指針の歯科精密鑄造 p64-66 を参考に実習のテーマについて学習する。	
12月9日		歯科精密鑄造 (2)	1) ワックスを焼却して鑄型を作製する。(B-2-1, D-5-3-1-9) 2) ブローパイプ炎で合金を溶解して, 鑄造する。(B-2-1) 3) クラウンの鑄造収縮を測定する。(B-2-1) 4) 鑄造収縮の補償理論について説明する。(B-2-1)
		準備学習: 10分 新版 歯科理工学実習指針の歯科精密鑄造 p64-66 を参考に実習のテーマについて学習する。	
12月16日		成形充填材 (1)	1) 牛の歯に成形充填用の窩洞を2個形成する。(B-2-3, D-5-2-1-3) 2) 窩洞に2種類の成形充填材を填塞する。(B-2-3) 3) 過剰充填材を削除し, 窩洞辺縁を明示する。(B-2-3) 4) 成形充填材の取扱い方法を具体的に述べる。(B-2-3)
		準備学習: 10分 新版 歯科理工学実習指針の成形充填材 p79-81 を参考に実習のテーマについて学習する。	
1月13日	合着用セメント	1) 異なる粉液比で練和したガラスアイオノマーセメントの稠度を測定する。(B-2-3) 2) リン酸亜鉛セメントを練和して円柱状試験片を作製し, その圧縮強さを測定する。(B-2-3, D-5-2-1-3) 3) セメントの取扱い方法を述べるとともに, その違いが稠度に及ぼす影響について説明する。(B-2-3) 4) 合着用セメントの圧縮強さの意義を述べるとともに, 圧縮強さに及ぼす各種因子の影響について説明する。(B-2-3)	
	準備学習: 10分 新版 歯科理工学実習指針の合着材・接着材 p97-102 を参考に実習のテーマについて学習する。		
1月20日	成形充填材 (2)	1) 充填した窩洞の表面から窩底まで2分割する。(B-2-3) 2) 窩壁を傷つけずに充填材を窩洞から撤去する。(B-2-3) 3) 窩壁における辺縁漏洩状態をスケッチするとともに, 辺縁漏洩の深さを測定する。(B-2-3) 4) 辺縁封鎖性に影響を及ぼす要因を説明する。(B-2-3, D-5-2-1-4)	
	準備学習: 10分 新版 歯科理工学実習指針の成形充填材 p79-81 を参考に実習のテーマについて学習する。		
1月27日	実習総括試験	1) 使用した実習器具を整備する。 2) 実習室を清掃する。 3) 実習を通して学んだことについての質問に回答する。	
	準備学習: 10分 9月30日~1月20日に行った範囲について学習する。		

# 専門歯科治療概論

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
海老原 隆	2	後期	火曜日	9:00～10:20	512 番教室

## 科目の到達目標 (GIO)

歯科疾患で悩む患者の様々なニーズに対応するために、日本歯科大学新潟病院の診療科、センター、特殊外来における専門性の高い歯科医療に関する基本的知識を習得する。

著者・編者	書名	版	出版社
教科書			
参考書	中原 泉, 藤井一維	常用歯科辞典	第4版 医歯薬出版

## 学習方略 (重複可)

- 講義     示説     グループ討議 (PBL, TBL を含む)     実習  
 その他 ( )

## 成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (90%)     論述試験 ( %)     口頭試験 ( %)     レポート ( %)  
 実地試験 ( %)     ポートフォリオ ( %)     シミュレーションテスト ( %)  
 観察記録 ( %)     態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (10%)

## 成績評価方法

行動目標で示した項目についての客観試験, 授業態度 (課題の提出, 欠席, 等) により評価を行う。

## オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日: 火曜日 時間帯: 17:30～18:00 場所: 総合診療科医局 (海老原 新潟病院 3階)  
 事前にメールで連絡すること (ga-soshin3(at)ngt.ndu.ac.jp)

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
9月29日	海老原 隆	変色歯の基本的対処法	1) 歯の変色の原因を外因性と内因性に区別し列記する。(D-3-2-1, D-5-2-2-6) 2) テトラサイクリン系抗菌薬の副作用による歯の変色原因および分類を説明する。(D-3-2-1) 3) 漂白法の種類と特徴を説明する。(D-5-2-1-1) 4) 知覚過敏に対する対処法を列記する。(D-5-2-1-1)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 事前に配布した資料の用語について, 常用歯科辞典を用いて学習する。	
10月6日	高橋 靖之	歯科診療時の緊張がもたらす弊害とリラクスの効果	1) バイタルサインの意義とそのモニタリングの方法を理解している。(D-2-3-2) 2) 精神鎮静法の特徴と目的及び種類を理解している。(D-1-2-2-1) 3) 吸入鎮静法に使用する。薬剤と適応, 禁忌及び合併症を理解している。(D-1-2-2-2) 4) 局所麻酔の特徴と目的及び種類を理解している。(D-1-2-1-1)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 事前に配布した資料の用語について, 常用歯科辞典を用いて学習する。	
10月13日	中谷 佑哉	口腔乾燥症(ドライマウス)の原因, 検査, 治療法	1) 口腔乾燥の原因, 診察, 検査, 診断及び治療方針を理解している。(D-3-1-11-5)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 事前に配布した資料の用語について, 常用歯科辞典を用いて学習する。	
10月20日	水橋 史	顎関節症の原因, 診査, 治療 ブラキシズムの特徴	1) 顎関節症の分類, 特徴を説明する。(D-3-1-7-1) 2) 顎関節症の症状, 診断法を説明する。(D-3-1-7-2) 3) 顎関節症の治療法を説明する。(D-3-1-7-2) 4) ブラキシズムの特徴を説明する。(D-3-1-7-1)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 事前に配布した資料の用語について, 常用歯科辞典を用いて学習する。	
10月27日	吉岡 裕雄	摂食嚥下障害に対する診査 診断と対応, 周術期口腔機能管理・口腔ケア概論	1) 摂食嚥下障害の原因, 診察, 検査, 診断及び治療方針を理解している。(D-3-1-11-2) 2) 周術期の管理の目的と意義を理解している。(D-5-4-6)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 事前に配布した資料の用語について, 常用歯科辞典を用いて学習する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
11月10日	小根山隆浩	歯科アレルギー治療概論	1) アレルギー性疾患, 自己免疫疾患, 免疫不全症の種類, 発症機序及び病態を理解している。(A-4-2-6) 2) 口腔, 顎顔面領域に症状を現すアレルギー性疾患, 膠原病, 免疫異常の症状を理解している。(D-3-1-10-3)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 事前に配布した資料の用語について, 常用歯科辞典を用いて学習する。	
11月17日	三瓶 伸也	障害児・者歯科診療の概要	1) 障害児・者の身体的・精神的・心理的特徴を説明する。(D-5-8-1) 2) 障害児・者の行動調整(行動管理)を説明する。(D-5-8-2) 3) 障害児・者の歯科治療に必要な注意点を説明する。(D-5-8-2) 4) 障害児・者の歯科治療の特殊性を説明する。(D-5-8-3)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 事前に配布した資料の用語について, 常用歯科辞典を用いて学習する。	
11月24日	水谷 太尊	顎変形症概論	1) 顎変形症の病態を概説する。(D-3-1-1-3) 2) 顎変形症の診断を概説する。(D-3-1-1-3) 3) 顎変形症の治療法を概説する。(D-3-1-1-3)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 事前に配布した資料の用語について, 常用歯科辞典を用いて学習する。	
12月1日	高橋 睦	スポーツ歯科概論	1) スポーツにおける歯と口腔周囲の健康管理や安全対策を説明する。(E-5-2-8) 2) 歯科領域のスポーツ外傷, 障害を説明する。(C-5-7) 3) マウスガードの目的, 種類, 製作方法, 取り扱い方法を説明する。(C-5-7, D-5-1-7)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 事前に配布した資料の用語について, 常用歯科辞典を用いて学習する。	
12月8日	猪子 芳美	睡眠医学および睡眠時無呼吸と歯科医療の関わり	1) 睡眠の機序, 種類, 機能を述べる。(D-6-1) 2) 小児や高齢者の睡眠の特徴を述べる。(D-6-1) 3) 睡眠障害の種類や治療法について述べる。(D-6-1) 4) 睡眠時無呼吸の原因, 診察, 検査, 診断及び治療方針を理解している。(D-3-1-11-6)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 事前に配布した資料の用語について, 常用歯科辞典を用いて学習する。	
12月15日	高塩 智子	口臭の原因, 口臭症の分類と検査	1) 口臭の原因物質について説明する。(D-3-1) 2) 口臭の検査方法について説明する。(D-2-2) 3) 口臭症の分類について説明する。(D-4-2-3)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 事前に配布した資料の用語について, 常用歯科辞典を用いて学習する。	
1月12日	小林英三郎	MRONJの原因, 検査, 治療法	1) 骨粗鬆症の特徴及び服用している薬物を説明できる。(A-2-3-2, D-6-1-1, A-6-2-1, D-6-1-2, D-5-7-2) 2) 悪性腫瘍の骨転移を説明する。(A-5-6-2) 3) 口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す薬物の副作用を説明する。(A-6-4-1, A-6-4-2, D-3-1-10-7) 4) 主な炎症(顎骨炎, 下顎骨髄炎)の検査, 治療法を説明する。(D-3-1-3-6)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 事前に配布した資料の用語について, 常用歯科辞典を用いて学習する。	
1月19日	廣安 一彦	口腔インプラント治療概要	1) 口腔インプラントの種類, 特徴, 目的及び意義を理解している。(D-5-3-3-1) 2) 口腔インプラントの適応症と合併症を理解している。(D-5-3-3-2) 3) 口腔インプラントに必要な診察と検査, 治療手順を理解している。(D-5-3-3-3)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 事前に配布した資料の用語について, 常用歯科辞典を用いて学習する。	
1月26日	白野 美和	訪問歯科診療概要	1) 訪問歯科診療の社会的背景を説明する。(C-4-3-6) 2) 在宅医療の目的を説明する。(C-4-3-7) 3) 高齢者における口腔健康管理の目的と意義を説明する。(D-6-2-4) 4) 訪問歯科診療の進め方を説明する。(D-5-7-7, D-6-2-3)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 事前に配布した資料の用語について, 常用歯科辞典を用いて学習する。	

# 医療統計学

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
石井 瑞樹	2	後期	水曜日	10:40 ~ 12:00	512 番教室

## 科目の到達目標 (GIO)

保健・医療分野における予防の基礎と応用を身につけるために、広く保健・医療を学ぶうえで必要となる統計学の基礎および疫学調査の基礎を学び、データの種類や特徴、統計学的解釈について習得するとともに、人間集団における疾病分布と発生要因との関連を研究する「疫学」について理解する。

著者・編者	書名	版	出版社
教科書 日本疫学会 監修	はじめて学ぶ やさしい疫学	改訂第4版	南江堂
参考書			

## 学習方略 (重複可)

- 講義     示説     グループ討議 (PBL, TBL を含む)     実習  
 その他 ( )

## 成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (90%)     論述試験 ( %)     口頭試験 ( %)     レポート ( %)
- 実地試験 ( %)     ポートフォリオ ( %)     シミュレーションテスト ( %)
- 観察記録 ( %)     態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (10%)

## 成績評価方法

一般目標で示した項目についての多選択肢形式筆記試験 (90%) と、講義への出席および態度 (10%) により評価を行う。

## オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日: 水曜日    時間帯: 16:00 ~ 17:00    場所: 新潟病院・病院情報処理室 (新潟病院 1 階総合受付内)

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
11月18日	石井 瑞樹	調査方法および変数の種類とその特徴, 記述統計 (1)	1) 保健分野に関連する調査方法を説明する。(C-6-2-2) 2) 標本抽出方法の種類と特徴を説明する。(C-6-2-4) 3) 全数調査と標本調査の違いを説明する。(C-6-2-4) 4) 変数および尺度の種類と性質を説明する。(C-6-2-4) 5) データの視覚化の方法を列挙する。(C-6-2-4)
		準備学習と時間	準備学習: 15分 教科書 2章 p10-12 (C), 8章 p94-98 (B および C), 10章 p117-120 (E) を事前に読む。
12月2日	石井 瑞樹	記述統計 (2), 相関関係	1) 度数分布表およびヒストグラムを説明する。(C-6-2-4) 2) データの集計方法を列挙する。(C-6-2-4) 3) 代表値を列挙し特徴を説明する。(C-6-2-4) 4) 正規分布の特徴を列挙する。(C-6-2-1) 5) 変数間の相関関係を説明する。(C-6-2-4)
		準備学習と時間	準備学習: 15分 教科書 10章 p105-109 (A), 114-115 (C) を事前に読む。
12月9日	石井 瑞樹	推測統計, 仮設検定	1) 複数の変数を用いた統計学的分析方法を分類し説明する。(C-6-2-4) 2) 主な有意差検定の方法を分類し説明する。(C-6-2-1) 3) 有意差検定で得られた結果の意義を説明する。(C-6-2-1)
		準備学習と時間	準備学習: 15分 教科書 10章 p109-115 (B および C) を事前に読む。
12月16日	石井 瑞樹	疫学指標とスクリーニング	1) 疫学調査の手順を記述する。(C-6-1-1) 2) 疫学で用いられる基本指標を説明する。(C-6-1-1) 3) 有病率と罹患率を説明する。(C-6-1-1) 4) スクリーニング検査と指標を説明する。(C-6-1-2)
		準備学習と時間	準備学習: 20分 教科書 2章 p12-17, 3章 p19-24 (A) を事前に読む。

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
1月13日	石井 瑞樹	疫学研究方法 (1)	1) 記述疫学と分析疫学の特徴を説明する。RE-02, (C-6-1-1) 2) 症例対照研究とコホート研究とを比較する。(C-6-1-1) 3) 疫学研究方法ごとの利点・欠点を説明する。(C-6-1-1) 4) 疾病異常に関連する疫学諸要因を分類する。(C-6-1-1)
		準備学習と時間	準備学習：20分 教科書 4章 p36-55 を事前に読む。
1月20日	石井 瑞樹	疫学研究方法 (2)	1) 介入研究の特徴を説明する。(C-6-1-1) 2) 疫学研究より得られる諸指標を説明し計算する。(C-6-1-3) 3) 疫学研究により生じるバイアスを列挙する。(C-6-1-1) 4) 根拠に基づいた医療< EBM >を説明する。(C-6-1-1)
		準備学習と時間	準備学習：15分 教科書 4章 p57-65 (介入研究) を事前に読む。
1月27日	石井 瑞樹	疫学研究と倫理	1) 研究者が守るべき基本的原則を説明する。RE-04, (C-1-1-5) 2) 個人情報保護と情報倫理を説明する。IT-01, (C-6-3-3) 3) 医学研究におけるインフォームドコンセントを説明する。(C-1-1-4)
		準備学習と時間	準備学習：15分 教科書 14章 p141-147 (疫学研究と倫理) を事前に読む。

# 顎口腔運動制御学

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
佐藤 義英	2	後期	水曜日	9:00～10:20	512 番教室

## 科目の到達目標 (GIO)

歯科領域で対象となる病態診断の基本事項を理解するために、顎口腔運動に関与する器官の構造とそのメカニズムに関する知識を習得する。

	著者・編者	書名	版	出版社
教科書	前田健康, 天野 修, 他 編	口腔解剖学	第3版	医歯薬出版
	岩田幸一, 井上富雄, 他 編	基礎歯科生理学	第7版	医歯薬出版
参考書	中村嘉男	咀嚼運動の生理学	第1版	医歯薬出版
	小出 馨, 井出吉信 編	チェアサイドで行う顎機能診査のための基本機能解剖	第7版	医歯薬出版

## 学習方略 (重複可)

- 講義     示説     グループ討議 (PBL, TBL を含む)     実習  
 その他 (                      )

## 成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (80%)     論述試験 (20%)                       口頭試験 (   %)     レポート (   %)  
 実地試験 (   %)     ポートフォリオ (   %)     シミュレーションテスト (   %)  
 観察記録 (   %)     態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (減点式)

## 成績評価方法

到達目標 (GIO) で示した項目についての客観試験 (多選択肢形式試験: 80%) と論述試験 (筆記試験: 20%) により評価を行う。遅刻, 欠席を含む態度は減点式とする。

## オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日: 火曜日 時間帯: 12:00～12:30  
場所: 生理学講座教授室 (5号館3階)

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
9月30日	河上 淳一	顎運動に関する筋と顎関節の構造	1) 関節の基本構造について説明する。(A-3-1-2-1) 2) 顎機能に関連した咀嚼筋を列挙する。(A-3-2-3) 3) 咀嚼筋の支配神経を説明する。(A-3-2-4, 5)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 口腔解剖学第3版 4, 10, 11, 13章の要点を確認する。	
10月7日	河上 淳一	咀嚼筋と前頸筋の機能	1) 咀嚼筋・前頸筋の構成と機能を説明する。(A-3-2-2, 3) 2) 咀嚼筋と前頸筋が下顎運動に果たす役割を説明する。(A-3-2-9) 3) 下顎の随意運動の基本を説明する。(A-3-2-9)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 口腔解剖学第3版 10, 11, 13章の要点を確認する。	
10月14日	河上 淳一	顎関節の機能	1) 顎関節の構造と機能を説明する。(A-3-2-8) 2) 関節円板組織構造について説明する。(A-3-2-8) 3) 顎関節と下顎運動との関係について説明する。(A-3-2-9)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 口腔解剖学第3版 12章の要点を確認する。	
10月21日	佐藤 義英	顎反射	1) 咀嚼筋の機能を説明する。(A-3-2-4) 2) 三叉神経の分布および線維構成を説明する。(A-3-2-4) 3) 下顎反射の機序を説明する。(A-3-2-9)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 基礎歯科生理学第7版 p364-368の要点を確認する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
10 月 28 日	佐藤 義英	咀嚼の役割と制御機構	1) 咀嚼の意義と制御機構を説明する。(A-3-2-10) 2) 咀嚼筋の機能を説明する。(A-3-2-4) 3) 脳神経の分布および線維構成を説明する。(A-3-1-5-1)
	準備学習と時間	準備学習：30分 基礎歯科生理学第7版20章の要点を確認する。	
11 月 4 日	佐藤 義英	嚥下	1) 嚥下の意義と制御機構を説明する。(A-3-2-10) 2) 脳神経の分布および線維構成を説明する。(A-3-1-5-1)
	準備学習と時間	準備学習：30分 基礎歯科生理学第7版21章の要点を確認する。	
11 月 11 日	佐藤 義英	発音・嘔吐・吸啜・舌運動	1) 構音器官としての口腔の機能を説明する。(A-3-2-14) 2) 舌の機能を説明する。(A-3-3-3) 3) 嘔吐と吸啜の機序を説明する。(A-3-2-10, 11)
	準備学習と時間	準備学習：30分 基礎歯科生理学第7版19章, 22章, 23章, 25章の要点を確認する。	

# 唾液と唾液腺

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
森田 貴雄	2	後期	水曜日	9:00～10:20	512 番教室

## 科目の到達目標 (GIO)

歯科医学と臨床歯科学を深く理解するために、唾液と唾液腺に関する基本的な重要事項を総合的に習得する。

	著者・編者	書名	版	出版社
教科書	前田健康, 天野修, 阿部伸一, 馬場麻人 (編)	口腔解剖学	第3版	医歯薬出版
	岩田幸一・井上富雄・船橋 誠・加藤隆史 (編集)	基礎歯科生理学	第7版	医歯薬出版
	大谷敬一 (監修)	現代歯科薬理学	第7版	医歯薬出版
	早川太郎, 須田立雄 (監修)	口腔生化学	第6版	医歯薬出版
参考書	牛木辰夫	入門組織学	第2版	南江堂
	斎藤一郎ら (著)	ドライマウスの臨床	第1版	医歯薬出版
	池尾 隆 他 (編)	スタンダード生化学・口腔生化学	第4版	学建書院

## 学習方略 (重複可)

- 講義     示説     グループ討議 (PBL, TBL を含む)     実習  
 その他 ( )

## 成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (48%)     論述試験 (52%)     口頭試験 ( %)     レポート ( %)  
 実地試験 ( %)     ポートフォリオ ( %)     シミュレーションテスト ( %)  
 観察記録 ( %)     態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) ( %)

## 成績評価方法

一般目標で示した項目についての多選択肢形式 (48%) および記述式 (52%) 筆記試験により評価を行う。

## オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日: 月曜日 時間: 16:00～18:00 (在室時) 場所: 生化学教授室 (8号館3階) または生化学研究室 (5号館3階), および各担当者の講座  
 (事前に連絡があればこの限りではない) 問合せメールアドレス: ga-seika(at)ml.ngt.ndu.ac.jp

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
11月18日	河上 淳一	唾液腺の解剖学的位置, 導管系と支配神経	1) 唾液腺の種類を説明する。(A-3-3-7) 2) 唾液腺の位置を説明する。(A-3-3-7) 3) 唾液腺の導管と開口部を説明する。(A-3-3-1) 4) 唾液腺の分泌を支配する神経を説明する。(A-3-3-7)
	準備学習と時間	準備時間:30分 口腔解剖学 第3版 p217-223 (2.唾液腺)を参考にし,口腔顎顔面解剖ノート第2版の p215(109大唾液腺), p217 (109小唾液腺), p167 (84耳神経節) および p169 (85顎下神経節) の穴埋めをする。講義時間中に準備学習の状況を確認する時間を設ける。	
12月2日	横須賀宏之	唾液腺の発生過程と組織構造を学習する。	1) 唾液腺の発生機序を説明する。(A-2-1-4) 2) 唾液腺の種類, 組織学的特徴を説明する。(A-3-3-7) 3) 唾液腺細胞の微細構造を説明する。(A-3-3-7)
	準備学習と時間	準備時間:5分 参考書「入門組織学」p154-158を一読し,理解に努める。	
12月9日	高橋 睦	唾液分泌調節機構	1) 唾液の分泌調節を説明する。(A-3-3-7) 2) 唾液の性状と役割を説明する。(A-3-3-6)
	準備学習と時間	準備時間:30分 基礎歯科生理学第7版24章を読み,要点を確認する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
12月16日	二宮 一智	唾液腺に作用する薬物の種類, 特徴, 薬理作用を習得し, 唾液腺疾患の薬物療法が適切に行える。	1) 唾液腺に作用する薬物の特徴を列挙する。(A-6-2-2) 2) 唾液腺に作用する薬物の種類を列挙する。(A-6-2-1) 3) 唾液腺への自律神経支配を理解し, 自律神経系に作用する薬物の唾液腺への作用機序を説明する。(A-3-3-7) 4) 唾液腺に作用する薬物の副作用と有害作用を説明する。(A-6-4-1, A-6-4-2)
	準備学習と時間	準備時間: 30分 現代歯科薬理学第7版第17章を読み要点を確認する。	
1月13日	森田 貴雄	唾液成分とその機能	1) 唾液の性状, 構成成分及び機能を説明する。(A-3-3-6) 2) 唾液の有機成分(タンパク質)及び酵素の機能を説明する。(A-1-2-1, A-1-2-4)
	準備学習と時間	準備時間: 30分 事前講義資料をダウンロードし, 口腔生化学第6版 p231-247 を読んで要点を確認する。	
1月20日	中谷 佑哉	口腔乾燥症	1) 口腔乾燥症の原因を説明する。(D-3-1-11-5) 2) 口腔乾燥症の症状を説明する。(D-3-1-11-5) 3) 口腔乾燥症の診断法を説明する。(D-3-1-11-5) 4) 口腔乾燥症の治療法を説明する。(D-3-1-11-5)
	準備学習と時間	準備時間: 30分 ドライマウスの臨床 p62-68, 84-127, 102, 104-121 を読んで要点を確認する。	
1月27日	中谷 佑哉	シェーグレン症候群	1) Sjögren 症候群の特徴を説明する。(D-3-1-8-7) 2) Sjögren 症候群の症状を説明する。(D-3-1-8-7) 3) Sjögren 症候群の診断法を説明する。(D-3-1-8-7) 4) Sjögren 症候群の治療法を説明する。(D-3-1-8-7)
	準備学習と時間	準備時間: 30分 ドライマウスの臨床 p9-18, 122-127 を読んで要点を確認する。	



授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
11月2日	鴨田 剛司	環境と健康, 感染症予防	1) 環境と健康の概念について説明する。(B-2-4)-1) 2) 環境基準と環境汚染を説明する。(B-2-4)-3) 3) ワクチンによる予防の体系を説明する。
	準備学習と時間	準備時間: 30分 「歯学生のための健康科学第4版」を参考に講義テーマについて学習する。	
11月9日	小野 幸絵	疾病予防概論	1) 疾病の概念, 種類および予防を説明する。(B-1-1)-3) 2) 第一次, 第二次及び第三次予防を説明する。(B-3-1)-1) 3) スクリーニング検査を説明する。(B-4-1)-2)
	準備学習と時間	準備時間: 30分 「歯学生のための健康科学第4版」を参考に講義テーマについて学習する。	

# 基礎医学演習

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
佐藤 聡	2	後期	月曜日	14:40～16:00	512 番教室

## 科目の到達目標 (GIO)

モデルコアカリキュラムに則った基礎系科目を中心に、1年次～2年次の内容を総合的に理解する。

著者・編者	書名	版	出版社
教科書	各分野で指定された教科書		
参考書			

## 学習方略 (重複可)

- 講義     示説     グループ討議 (PBL, TBL を含む)     実習  
 その他 (                      )

## 成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (100%)     論述試験 (    %)     口頭試験 (    %)     レポート (    %)  
 実地試験 (    %)     ポートフォリオ (    %)     シミュレーションテスト (    %)  
 観察記録 (    %)     態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (    %)

## 成績評価方法

年度末に第2学年総合試験として、多肢選択式問題の客観試験を行い、66点以上で単位を認定する。(なお、当該科目は、前期日程にも記載してある。)

## オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日：月～金曜日    時間：17:00～18:00    場所：各科目講座研究室

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
11月16日	小野 幸絵	口腔保健学概説	1) 齲蝕の発生要因を列挙する。(D-5-1-5) 2) 齲蝕の発生機序について述べる。(D-5-1-3) 3) 齲蝕の予防法について説明する。(D-5-1-2) 4) 歯科領域の疫学指標について説明する。(C-6-1-3)
	準備学習と時間	準備学習：30分 「口腔衛生学 2024」を参考に講義テーマについて学習する。	
11月25日(水)	鴨田 剛司	社会保障制度	1) 社会保障制度のしくみについて述べる。(C-4-3-2) 2) 保健制度の概要について説明する。(C-4-2-5) 3) 医療制度の概要について説明する。(C-4-2-1) 4) 福祉制度の概要について説明する。(C-4-3-4)
	準備学習と時間	準備学習：30分 「歯学生のための健康科学」を参考に講義テーマについて学習する。	
12月3日(木)1限	五十嵐健輔	理工 (1) 印象材, 模型材, ワックス	1) 印象材の成分と特性および用途を説明する。(B-1-1, B-1-2, D-5-3-1-5, D-5-3-2-4) 2) 石膏の特性を説明する。(B-1-1, B-1-2, D-5-3-1-10) 3) 歯科用ワックスの成分と特性および用途を説明する。(B-1-1, B-1-2, D-5-3-1-9, D-5-3-2-9)
	準備学習と時間	準備学習：30分 基礎歯科理工学の歯科技工関連材料 p30-78 を参考に講義テーマについて学習する。	
12月7日	五十嵐健輔	理工 (2) コンポジットレジン修復における接着技術	1) 成形修復材の歯質接着の3工程について説明する。(B-2-1, D-5-2-1-3) 2) 象牙質接着システムの変遷について説明する。(B-2-3, D-5-2-1-3) 3) 機能性モノマーについて説明する。(B-2-3, D-5-2-1-3)
	準備学習と時間	準備学習：30分 基礎歯科理工学の歯科生体材料 p215-221 を参考に講義テーマについて学習する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
12月14日	大熊 一夫	理工 (3) 有機材料の重合	1) レジンの重合について説明する。(B-1-1) 2) コンポジットレジンのマトリックスについて説明する。(B-2-3, D-5-2-1-3) 3) コンポジットレジンの硬化機構について説明する。(B-2-3, D-5-2-1-3)
	準備学習と時間	準備学習:30分 基礎歯科理工学の歯科生体材料 p83-86, p168-171 を参考に講義テーマについて学習する。	
1月18日	岡田 康男	病理 (1) 疾患の病因と病態	1) 細胞・組織の損傷と修復について説明する。(A-5-2, A-5-3) 2) 先天異常, 循環障害, 炎症, 感染症, 免疫異常, 代謝障害, 染色体・遺伝子・発生異常について説明する。(A-4, A-5-1, A-5-4, A-5-5, D-3-1-1, D-3-1-3, D-3-1-10-2, 5, 8)
	準備学習と時間	準備学習:30分 教科書の歯学生のための基礎病理学の Chapter 2「細胞・組織の損傷と修復」, Chapter 3「循環障害」, Chapter 4「炎症」, Chapter 5「免疫とその異常 (免疫系疾患)」, Chapter 6「代謝障害」, Chapter 8「染色体・遺伝子および発生の異常」を参考に講義テーマについて学習する。	
1月25日	岡田 康男	病理 (2) 口腔・顎顔面領域疾患について全身と関連づけた臨床病理学	1) 腫瘍の病因, 分類, 病態について説明する。(A-5-6, D-3-1-6) 2) 全身諸臓器の疾患や症候群の病因と病態について説明する。(A-4, A-5, D-6-1-1) 3) 口腔・顎顔面領域疾患と全身諸臓器の疾患の関連について説明する。(D-3-1-10, D-6-1-1) 4) 病理診断に必要な検査について説明する。(D-2-6)
	準備学習と時間	準備学習:30分 教科書の歯学生のための基礎病理学の Chapter 1「病理学とは」, Chapter 9「腫瘍」, Chapter 10「臓器別疾患」を参考に講義テーマについて学習する。	

